

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		一般小売店〔酒〕（経営者）	・3月6日でまん延防止等重点措置が解除される見込みであることから、その後は売上も徐々に回復することになる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が収束し、消費税の減税や廃止などの思い切った消費刺激策が講じられることになれば、景気はV字回復する。
		商店街（代表者）	・燃料の価格高騰の影響が小さくなる時期であるため、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、僅かながらに来街者数の増加が見込める。また、まん延防止等重点措置が解除されることで地元客の消費拡大に加えて、道内各都市からの旅行者などの増加に伴う売上アップも望める。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・これから春に向かうため、これ以上景気が悪くなることは考え難い。また、国内メーカーによる経口薬の開発にも期待している。
		百貨店（売場主任）	・北海道における新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあることに加えて、3月に入り気温が上昇すれば、雪害による交通障害も解消されるため、来客数の回復が見込める。
		百貨店（販売促進担当）	・今後、春を迎えるとともに、新規感染者数が減少してくることで、景気も回復基調になることが見込まれる。
		百貨店（営業販促担当）	・新規感染者数が落ち着き、まん延防止等重点措置が解除されることで、客足がある程度回復することになる。旅行シーズンが活性化する時期でもあるため、アパレルや雑貨などの需要が上向くことも期待できる。
		スーパー（店長）	・まん延防止等重点措置が解除され、雪解けも進むことから、客の動きが活発化することになる。
		スーパー（店長）	・ウィズコロナの考え方が広まりつつあるなか、前々年、前年は中止されていた学校行事、社会行事が小規模ながらも復活する傾向がみられる。特に修学旅行、運動会、入学、卒業式などの学校行事関連の商材は前年以上の売上になることが見込まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・まん延防止等重点措置が解除されると見込まれるため、消費行動は回復することになる。同様に、観光需要も現状から増えてくるため、今後の景気は回復に転じることになる。
		家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減ることが前提であるが、来客数及び電話依頼件数が増えることで景気が良くなるかとみている。
		家電量販店（店員）	・3月から少しずつ客足が伸びてくることを期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、新型車の発表を控えていることから、今後の景気は多少良くなる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・今後、新規感染者数のピークアウトに伴って宿泊、会食の需要が回復すると見込んでいる。
		旅行代理店（従業員）	・まん延防止等重点措置が解除されることで、航空機利用がビジネス需要から回復することになる。また、道民割やGo To Travelキャンペーンなどの需要回復策が再開されることになれば、観光需要が活性化することも期待できる。市町村レベルでもポストコロナを見据えて様々な対策が実施される予定であることから、春から初夏にかけての需要回復が見込まれる。
	旅行代理店（従業員）	・今よりも景気が悪くなれば国が破滅するほどのことになると、今後の景気は上向くことになる。ただ、劇的な改善までは考え難いため、水準としてはやや改善という程度になる。	
	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が減少に転じれば、旅行や商業施設の人流が現在よりも活性化することになる。	
	タクシー運転手	・今よりは景気が良くなることを望んでいる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（企画担当）	・新生活需要の増加が期待できるほか、まん延防止等重点措置の解除に伴って高齢者を始めとした来客数が回復し、通信機器の買換えが進むことも期待できる。
		観光名所（従業員）	・新規感染者数も減少傾向にあり、まん延防止等重点措置も解除されることが見込まれる。2～3か月後は春の陽気が感じられる時期であり、ゴールデンウィークもあるため、徐々に日常や余暇の活動が活発になっていくことが期待できる。
		美容室（経営者）	・徐々に新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきているため、今後、入出が活発になり、売上も上向くことになる。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・今後もまん延防止等重点措置が継続しないことが条件ではあるが、人、物の往来が増加することが見込まれる。
		商店街（代表者）	・ウクライナ情勢次第ではあるが、新型コロナウイルスが収束しない限り、景気は上振れしない。
		百貨店（マネージャー）	・3回目のワクチン接種が終わるまで厳しい状況が続くとみられるが、当地において4月29日からプレミアム付商品券の販売が始まるため、客の購買意欲につながり、景気が上向くことを期待している。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況について、まだ先が見通せないため、今後も景気は変わらない。原油やガソリンの価格動向によっても左右されてしまうことになる。
		コンビニ（エリア担当）	・小規模の小売店は業績低迷が続くことで品ぞろえができなくなり、じわじわと競争力が低下していくことが懸念される。全体的な景気が上向くか、店での何らかの打開策が出てこない限り、現状のまま推移する。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減ってこないことから、今後も景気は変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・メーカーから新車の需給状況は今年一杯変わらないとの見込みが出ていることから、今後も景気は大きく変わらない。ロシアによるウクライナ侵攻の影響が出てくることも懸念される。
		乗用車販売店（従業員）	・2月は大雪がひどかったが、2～3か月後になれば雪の影響はなくなる。また、新車種が出ることから、受注も盛り上がることになる。タイヤ交換シーズンを迎えて来場客も増えるため、商談が進むことも期待できる。これらのことから、今後の景気については新型コロナウイルス次第の面はあるが、少なくとも今よりは良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響による販売や物流の停滞などについてまだ回復しないとみられるため、今後も景気は変わらない。
		自動車備品販売店（店長）	・新型コロナウイルスがどう影響してくるかが大きいですが、3～4月と季節の変わり目での売上増加に期待できる部分もあることから、全体的な景気は変わらない。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株以降の感染リスク次第で変わってくる。このままインフルエンザ並みの感染状況に収まるのであれば影響は徐々に穏やかになっていく。
		その他専門店〔造花〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が収束しないことには今後の景気も変わらない。
		高級レストラン（スタッフ）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染状況も落ち着くとの見通しも一転し、感染拡大が進み、先を見通せない状況になっている。今後についてはゴールデンウィークに外出機会が増加することが見込まれるが、新株の発生や3回目のワクチン接種の鈍化などが懸念されるため、しばらくは同じような状況が繰り返されることになる。
		旅行代理店（従業員）	・感染が収束し、まん延防止等重点措置が解除されてもすぐに景気は回復しない。春から夏に掛けての感染状況次第とみられる。
		タクシー運転手	・今後もまん延防止等重点措置が延長されることになれば、タクシーの利用はまだ回復してこない。これから雪解けを迎え、暖かくなってくるとタクシーの利用が今以上に減少することになる。
		観光名所（職員）	・まん延防止等重点措置の影響により来場者が減少している。不可抗力による営業不振が続いているため、新型コロナウイルスオミクロン株の収束とその後の政府による適切な対応を待つばかりである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が収束していないため、今後も厳しい状況が続く。天候面では大雪などの悪天候が再び起きないことを願っている。
		商店街（代表者）	・ロシアのウクライナ侵攻をみると、景気が良くなるようには思えない。
		スーパー（企画担当）	・ウクライナ情勢の急展開に伴って、エネルギー価格や商材価格の高騰、為替や株式市場の混乱など、経済にどのような悪影響が生じるか予測も立たない状況である。消費者心理へのマイナスの影響も含めて、今後の消費動向は予断を許さない。
		スーパー（役員）	・電気代、ガソリン代などの一層の値上がりが見込まれるため、食料品の節約意識が高まることが懸念される。
		スーパー（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことが前提であるが、食料品の値上がりが相次ぐことで、消費意欲が低迷することになる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻に伴って原油価格の急騰が懸念されるため、先行きは不透明である。
		高級レストラン（スタッフ）	・これから気温が上がってくることで災害級の大雪による被害は少しずつ解消されることになるが、景気が上向いてくるとは考え難い。周囲の飲食店には経営を継続することの大切さを説いてきたが、支援金などの対策が世のためになるのか、飲食店の必要性を含めて分からなくなってきた。
		高級レストラン（スタッフ）	・今後については先行きが見えないことで不安が増大し、出費を抑えることに拍車がかかることになる。
		タクシー運転手	・タクシー業界はとにかく景気に左右される業種であり、コロナ禍が長引くほど経営環境が厳しくなる。今の状態をみる限り、新型コロナウイルスが収束に向かう気配もないため、この先について、とても不安である。
		美容室（経営者）	・このまま新型コロナウイルスについて感染が心配される状況が続くと、来客数の回復も、売上の増加も見込めない。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスだけではなく、ロシアによるウクライナ侵攻など、経済全体に影響を及ぼすような大きな不安要素が出てきていることから、今後の経済状況が見通せない状況になってきている。こうしたなか、分譲マンションの購入について様子見するような客が増えてくることが心配される。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスによる影響が今後も続く。また、世界情勢の悪化に伴うコストアップが懸念されることもマイナスである。
	×	商店街（代表者）	・観光業界においては2月の冬観光の機会を逃したことから、2年以上にもわたって最悪の状態が続いている。それにもかかわらず何の支援もないことから、もう再起もままならない店舗も出始めている。飲食店だけではなく、観光業にも補助金や融資期間の延長など、手厚い支援を行ってほしい。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響に加えて、ロシアのウクライナ侵攻の影響が生じることを懸念している。
	×	スーパー（企画担当）	・値上がりは商材だけにとどまらず、事務用品などの経費類にも及んでいる。商材の値上げについては売価を上げることで対応できるが、経費類の値上げについては自社努力の範囲を超えてくることから、今後の景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店（店長）	・前向きになれるようなニュースがない限り、今後も単価の高いスーツの買換えは進まない。
	×	スナック（経営者）	・現在、営業休止している状況であり、今後の景気がどうなるかも分からない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスについて、感染症法上の第5類への移行も見通せないことから、現状が長期にわたって継続することが懸念される。さらに、エネルギー価格の高騰が一層進行することで、物価上昇と景気低迷が現実になることも懸念される。これまで3年間、人流抑制の影響で苦しんできた観光業においては浮揚のチャンスさえない状況である。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの第7～8波も懸念されることから、今後、消費マインドが上向くとは考え難い。また、ロシアのウクライナ侵攻によって、燃料価格の一層の高騰が現実味を帯びたことから、物価高騰に備えた予防的な消費縮小にも拍車がかかることになる。
	×	美容室（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻による影響が懸念される。
企業		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
動向 関連 (北海道)		建設業（経営者）	・今後、公共工事の受注、契約が進むことになる。工事の稼働はまだ少ないとみられるが、マインドが上向くことになる。ただし、ウクライナ情勢の影響で、原油や電力の価格高騰、建設資材の値上がりが生じることが今後に向けての不安要素となっている。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・今後については、新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かうことで回復基調になる。一方、ロシアのウクライナ侵攻によって、世界的にどのような影響が生じるのかは想像も付かないが、少なくとも欧米や我が国の経済制裁への報復は覚悟しておく必要がある。ただ、3か月後の国内IT業界に与えるような影響はまだ出てこないとみられる。
		食料品製造業（従業員）	・この先の売上見通しも、現状と特に変わらないことから、今後も景気は変わらない。
		建設業（役員）	・新年度予算の早期成立で公共土木工事の新規受注が期待できる。ただし、新型コロナウイルスの感染状況やロシアのウクライナ侵攻に伴う燃料や原材料の価格高騰、品不足などが工事原価に影響を及ぼすことが懸念される。
		金融業（従業員）	・原油価格急騰は個人消費の足かせとなる。また、ウクライナ情勢の影響で世界的な投資マインドの悪化を招くことも見込まれるため、道内経済にも影響が波及することが懸念される。新型コロナウイルスの収束に伴って経済活動が活発化するというプラス要因も打ち消されるため、3か月後の道内経済は現状と変わらないまま推移する。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・長引く経済の停滞からの打開を図らなければならないが、新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ情勢の予測が難しいことから、引き続き不透明感が強いまま推移することになる。そのため、今後も不安定な経済活動が続く。
		家具製造業（経営者）	・今後に向けては原材料の価格高騰に伴う商材の価格変動とインフレが懸念される。ウクライナ情勢の影響も懸念材料である。
		建設業（従業員）	・都心の再開発事業が進むなか、施工会社の技術者が再開発事業に集中することで、そのほかの工事ができない状況が生じつつある。
		輸送業（支店長）	・ロシアへの経済制裁に伴って輸出入の取扱量が減少することや原油価格の上昇が懸念されることから、今後の景気は下向きとなる。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は少なくないが、これまで道内企業は政府の支援策や企業努力によって持ちこたえてきた。しかしながら、新型コロナウイルスの収束が不透明なところに、ウクライナ情勢も加わったことで、燃料価格や原材料費の高騰を中心に、先々の景況感への警戒が強まっている。総じてこの先の景況感はやや悪くなる。
		司法書士	・原油価格の高騰に伴ってガソリンや灯油が値上がりするなど、諸物価の価格が上昇しているなか、ロシアによるウクライナ侵攻が景気回復にブレーキを掛けることが懸念される。このような状態が続くことになれば、景気はやや悪くなる。
		司法書士	・ロシアのウクライナ侵攻に起因する原油価格の高騰などのマイナス要因が懸念されるため、今後の景気は少しずつ悪くなる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・景気が良くなるような要素が少ないため、今後の景気はやや悪くなる。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・鋼材の品不足や輸送コストの上昇などによって商材の価格が上がり始めた。今後の工期延期や遅れも考えられることから、半年程度は景気の動きが悪くなる。
	x	-	-
雇用 関連 (北海道)		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少とワクチンや経口薬の普及に伴って、観光業、飲食業の景気が引き上げられると期待している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・当地の基幹産業である農業、建設業については、今後も現在の好調を維持又は一層の伸びを見込める状況にある。新年度を迎えても、例年どおり手堅く推移することになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・当地における新規求人数は前年比で4.9%増加しているほか、月間有効求人数も10か月連続で前年を上回っており、全体としては回復の兆しがみられる。ただし、産業、業種によってその度合いは異なっており、今後の新型コロナウイルスの感染状況と経済活動、消費行動の状況によってはいまだ先を見通せない状態である。
		学校〔大学〕（就職担当）	・3月以降の人材会社などによるイベント開催の動きが良く、企業や学生の動きも活発になっている。一方向からの見方ではあるが、景気は上向いている。
		人材派遣会社（社員）	・企業の経営環境は現状を維持すると見込まれる。ウクライナ情勢の影響によっては燃料費などの物価上昇が波及してくることも懸念されるが、雇用情勢は底堅く推移することになる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスへの危機感はあるものの、慣れによって行動意欲が高まるとともに、行動変容も進むとみられるため、今後も景気は変わらない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・今後、新型コロナウイルスの新規感染者数が減っていくことが見込まれるが、原油高や原材料、資材の高騰、食品などの物価上昇がマイナス要因となりそうな懸念がある。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてきてはいるものの、まだ一定数は感染している状況にあるため、景気が明らかに良くなっていくとまでは言えない。ただし、ここ3か月程度であれば、大きな変化も起こらないとみられる。そのため、有効求人倍率は現状の水準のまま推移することになる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で雇用調整助成金の相談件数が増加傾向にある。
	x	*	*

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東北)		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染に注意をしながら社会生活が経済を回すようになり、出張や結婚式、葬式といった我々の業界に追い風になるような行事が行われるようになれば、これまでよりは良くなってくると考えている。
		旅行代理店（従業員）	・季節変化、新規感染者数減少、ブースター接種、経口薬の流通等、ポジティブ要素が複数あることから、心情面を含め良くなることを期待したい。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・3回目のワクチンが終わると、人の動きも出て少し良くなるとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・健康に関することに注意関心を持つ人が多くなっている。また、出掛けられないことによって、買物をしたいという欲求が強くなってきており、それが買物につながるものとみている。
		百貨店（売場主任）	・3回目のワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いて、消費が上向くものと期待する。
		百貨店（買付担当）	・3回目のワクチン接種が少しずつ進み、気温上昇とともに感染が落ち着けば状況は良くなると考える。
		百貨店（経営者）	・新規感染者数の減少傾向が前提となるが、前年の秋の消費動向と同じように、リベンジ消費の動きが、季節の変わり目や年度初めの人の動きに合わせて活発になっていくと期待している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染の収束はみえないが、人の動きはより活発になっており、当面は現状が続くと推測される。
		コンビニ（経営者）	・3回目のワクチン接種が始まっているので、ワクチン接種率の上昇に伴いある程度感染は落ち着いてくる。よって、人の動きも良くなり、景気は回復してくるとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染の状況にもよるが、暖かくなってくれば出掛ける気分にもなり、洋服の購買意欲につながるとみている。
		衣料品専門店（店長）	・3回目のワクチン接種が進み、新規感染者数が落ち着いてきた段階で消費が戻ってくるとみている。しかし、これまでの経緯から先行きは読めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染がピークアウトし、経口抗ウイルス薬が普及すれば、通常の生活に戻り、徐々に景気が回復することが予測される。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス感染者の重症者が減ってきているため、来客数が回復してくると予想している。
		乗用車販売店（従業員）	・新型の軽の電気自動車が発売されるので、個人の消費が伸びてくれればと期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・売上は新車在庫次第だが、新型車の発表もあり受注は良くなるとみている。メーカー決算期で宣伝も増え、来場も増加する。
		乗用車販売店（店長）	・ある程度新車の納車が進むとみられるため、収益の改善も見込まれる。新規納入が進めば下取りも進み、中古車在庫も改善が図られると考えている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・まん延防止等重点措置の適用が解除されれば動きが出てくるが、かなり緩やかな回復になることが想定される。良くなっても非常に厳しい状況が続くとみている。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・3回目のワクチン接種も進み、3月は少し落ち着くため、今月よりは良くなる。しかし、ここに来てロシアがウクライナに侵攻したことから、恐らく今後原材料費が上がり、値上げがどんどん進むとみている。悪いインフレで景気は後退するとみている。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・まん延防止等重点措置も解除となり、春も訪れることから新年度に向けて大きく動くことを期待している。世界的にも規制撤廃の動きがあるなか、まだ国内では大騒ぎしている状況に歯がゆい思いだが、いつまでもこのような状況が続くわけもなく必ず回復していく。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況に不確定要素はあるものの、ワクチン、飲み薬等の普及により、今後消費マインドが上向きになってくると考えられる。
		一般レストラン（経営者）	・3回目のワクチン接種が行き渡れば、ある程度客も安心して戻ってくるようになるという期待を持っている。
		旅行代理店（従業員）	・3月下旬以降の予約済みキャンセルは発生していないこともあり、まん延防止等重点措置の延長解除となれば、3月下旬からの観光人流は春休み後半と花のシーズンで動くものと想定している。また、4月以降もゴールデンウィークに向けて、先行予約が徐々に増加している。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりになってきており、2～3か月後には経済も持ち直し、景気はやや良くなるとみている。
		通信会社（営業担当）	・個人向けのインターネット商品の加入増加が見込めないため、マンション・アパートのオーナーや法人向けの商品に切り替えて営業を始めたところ、まとまった契約ができるようになってきた。B to CからB to B、Gへの展開により、少しずつではあるが契約増加を期待している。
		テーマパーク（職員）	・3か月後は新型コロナウイルスも収まり、出掛ける人が増えるとみている。何回も出されたまん延防止等重点措置などにより、通常の消費意欲は下がっているものの、少しぜいたくに過ごす意欲は上がってきている。
		競艇場（職員）	・春が近づくとつれ交通の不便さは解消されるので、いつもの客が戻ってくるとみている。
		美容室（経営者）	・3か月先は年配者のほとんどで3回目のワクチン接種が終了し、子供も1回目が終わるということで、安心感から客がまた店に戻ってきてくれるとみている。また、来店サイクルもどんどん長くなっているが、それも元に戻ってくると期待している。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かうと来場組数は増加するため、これまでの状況から推測するとやや良くなるとみている。
		商店街（代表者）	・今月、来月が底とみているが、そこから急激に良くなるとは考えていない。現実的には横ばいになると予想している。
		商店街（代表者）	・3回目のワクチン接種や5歳以上のワクチン接種、重症者数減少に加え、春がやってくることから、外出が増加すると予想している。しかし、ロシアのウクライナ侵攻などによる原油価格高騰や経済不安により、全ての商品が値上がりし、景気は横ばいとなる見込みである。
		商店街（代表者）	・当県では新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振っており沈静化がみえない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔書籍〕 (経営者)	・全体的に売上が良好なアイテムに乏しいため、変わらないとみている。しかし、新型コロナウイルスの感染状況によって、外に出てくる人が増えれば、上昇機運はあるかもしれない。
		一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染がどのような方向に向かうのが見通せないで、現在の悪い状態は続くともみている。ただし、感染力が弱まれば人々は繁華街へ戻り始めることも考えられる。
		一般小売店〔酒〕(経営者)	・まん延防止等重点措置が解除されても、販売量がほぼゼロに近い現状は変わらないとみている。今年は雪もひどく、雪害も多い。飲食店への支援はあってもその先の酒販店までには一切の補助がない現状では経営はひっ迫していきばかりである。
		一般小売店〔寝具〕 (経営者)	・新型コロナウイルス感染が落ち着いたら、客は心理的に物資を欲する気持ちになるとみている。それにより商品が動く可能性はあるが、第7波が出てくればどうなるか分からない状況である。
		百貨店(営業担当)	・感染状況次第ではあるが、来街者や旅行者の大幅回復は見込めない。
		スーパー(店長)	・商品の相次ぐ値上げもあり、来客数の減少に加え、買い控えの影響も大きくなっている。最近夕方早めに客が引ける傾向もあり、新型コロナウイルスの感染拡大の影響も少なからずあるとみられる。この状況はしばらく続くともみている。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルス新規感染者数の推移も急激に下がることはないともみられるため、現状の食生活や買物行動が継続されていくものと予測する。
		スーパー(店長)	・来店頻度は若干下がっているが客単価は上がっているため、売上向上に結び付いている状態である。
		スーパー(企画担当)	・新型コロナウイルスの影響はいまだあり、食品小売業の売上に関しては、前年ほどではないものの高水準で推移している。その状態はまだ続きそうなので、2～3か月後も変わらないとみている。
		スーパー(営業担当)	・新年度に向かって人の動きにどのような変化が起きるかがみえない。新規感染者数の動向による大きな変化はないとみており、景気の変化もないと予想している。
		コンビニ(経営者)	・依然として客単価や買上点数などは総じて底堅く、購買意欲はあるとみられる。しかし、新型コロナウイルスの影響で再び夜間、土日の客足が抑え込まれる状況が続くのであれば、停滞状態のまま推移するとみている。新型コロナウイルスに対する認識が変わるまでは回復は難しいと考える。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスオミクロン株が大半を占め、新規感染者数もかなり多くなっている。人の動きは3か月前も、まん延防止等重点措置が適用されても、平日は下げ止まったままそれほど変わっていない。人が土日に動かないことがかなり厳しい。行楽等に家族で動かないためそれが響いている。
		コンビニ(経営者)	・売上がいつ頃回復するのか今の段階では見当が付かない。ますます悪くなる可能性もある。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況次第なので何ともいえないが、収束してイベントや祭りが復活するのを願うばかりである。
		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスの感染状況や人流次第である。春夏に向けた動きに期待したい。
		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大の問題もあるが、人の動きが改善されないと売上改善にはつながらない。
		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が余りにも多く、先行きが見えない。
		衣料品専門店(経営者)	・3回目のワクチン接種が全年齢に早く行き渡るようにしてほしいが、期待しながら見守るしかない。年度末の特需に期待し、訪問販売を行っている。
		衣料品専門店(総務担当)	・新型コロナウイルスの感染が完全に終息するとは考えにくい。次から次と新たな変異株が現れ同じような繰り返しが続くともみている。
		家電量販店(従業員)	・新型コロナウイルスの感染収束が依然みえない状況で、客の活動自粛はまだまだ収まりそうにない。
		住関連専門店(経営者)	・現状のコロナ禍での営業活動がなかなかうまくいっておらず、受注量を取りにくいという状況に余り変わりはない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔靴〕 (従業員)	・回復の兆しがみえない。ウケチンを含め、有効な予防対策を期待する。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	・新型コロナウイルス感染対策の緩和があっても原油価格は高止まりが続くとみている。今後も販売量の回復は望めないため、景気回復もない。
		一般レストラン(経営者)	・第6波がいつ収束するのか、第7波がいつくるのか、全く見通せない。
		観光型ホテル(スタッフ)	・新型コロナウイルスオミクロン株の終息が見込めない。
		観光型旅館(経営者)	・新規感染者数がどこまで減るかによるが、行政支援策も打ち出しにくいとみられるため、大きく好転することへの期待が持てない。
		観光型旅館(スタッフ)	・全てにおいて先が見えない。また、新型コロナウイルス感染症の第7波が来ることが懸念される。
		旅行代理店(従業員)	・今が底で、新型コロナウイルスオミクロン株がピークアウトしてくれば変わるとみているが、2～3か月先では無理なのではないか。
		タクシー運転手	・現在、新型コロナウイルスオミクロン株の別系統が開始しているが、これまでのウイルス株もおおむね3か月程度の流行となっていることから、景気は現在と同様若しくは悪くなると推察する。
		通信会社(営業担当)	・ガソリン価格高騰、新型コロナウイルス感染症がすぐに収まることは考えられない。
		観光名所(職員)	・世の中の流れとして、感染状況に左右されながら自粛しているのではなく、自粛することが自然であるという流れに傾いているようである。特に県内はその傾向が強く、2～3か月で状況が良くなるかは疑問である。
		美容室(経営者)	・新型コロナウイルスの影響でいろいろな行事等、人が集まることが少なくなっている。
		設計事務所(経営者)	・今後の中長期の受注計画に沿った形で経営が進む見込みで、特に大きな変化はない。
		住宅販売会社(経営者)	・少ない集客のなかで獲得できる客層は若年層であり、客単価が上がらない。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルス次第であるが、飲食店の疲弊はひどく、閉店が急増している。
		一般小売店〔医薬品〕(経営者)	・国際情勢の悪化に伴うエネルギー価格の更なる上昇により、各種生活必需品の値上がりが予想される。必要最低限以外の出費は抑えられ、全体的に景気は悪化するとみている。
		スーパー(経営者)	・3月からはロシアへの経済制裁が始まるので、国内消費への影響も避けられない。いろいろな商品の価格が予想外に急騰したり、商品の入荷が遅れたり、なくなったりと、商品の供給網にも影響が出始めるとみている。消費者心理が弱くなり、買い控えが始まらないことを願っている。消費は現状よりやや悪くなるとみている。
		スーパー(経営者)	・ウクライナ情勢の行方次第ではあるが、様々なものが値上がりしているなかで、これ以上の値上がりは買い控えの心配がある。
		スーパー(営業担当)	・コロナ禍に加えて、ウクライナ情勢による値上げ、品不足など不安材料が大きくなっている。
		コンビニ(経営者)	・平日は客が戻っているが、土日に限っては新型コロナウイルスの影響で来客数、売上共に減少が著しくなっている。
		コンビニ(店長)	・ウクライナ情勢による原油高や物価の上昇に収入の上昇が付いていけない状況になっている。4月からは軒並み値上げになることが決まっているので、家計を相当圧迫するとみており、予断を許さない状況である。
		衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルス新規感染者数の上げ止まりがみられない状況のなかで、先行きがかなり不安である。
		乗用車販売店(従業員)	・新型コロナウイルス新規感染者数増加や半導体不足の問題が2～3か月先に収束するとは思えない。また、ウクライナ問題の影響も気になるところである。現状より悪くなる条件がそろっている。
		乗用車販売店(従業員)	・どの自動車メーカーも同じだと思うが、例年4～5月は販売に苦戦している印象を受ける。コロナ禍ということに鑑みても後退するとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		自動車備品販売店（経営者）	・家庭内感染、学校などでのクラスターが増加しており、前年同期と比べ感染者が多くなっている。よって、歓送迎会等は前年よりも自粛が進み、3～4月は特に飲食業は厳しいようである。
		住関連専門店（経営者）	・主に仏事商品の販売をしているが、新型コロナウイルスの影響により販売が縮小傾向になっている。新型コロナウイルス終息後も販売量の減少は続くともっており、それについては今後の課題になる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ガソリン価格の高騰や新型コロナウイルスなどで外出控えが増えると、店頭での販売量も減るとみている。
		高級レストラン（スタッフ）	・来客数の回復に時間が掛かるため、景気はやや悪くなる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・県民限定の宿泊割引キャンペーンも終了し、Go To キャンペーンも開始の予定がまだ決まっていないので好転する要素がない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株のみならず、ウクライナ情勢の影響が出てきそうである。
		遊園地（経営者）	・3月より再開し春の行楽シーズンを迎えるが、新型コロナウイルスの感染状況次第である。しかし、ウクライナ情勢、原油・原材料価格の上昇も懸念されることから、厳しい見通しである。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・3～4月は通常であれば人の動きも経済も活発な月だが、卒業式、入学式、送別会、年度末や年度当初の役員会、総会など、中止かリモート、出席制限となっており、まだまだしばらくは回復できそうにない。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・給湯器の納品時期が見通せない状況となっている。給湯器以外の商品にも納品遅れが出てきている。
	×	商店街（代表者）	・世界で起こっていることが影響すると感じている。
	×	スーパー（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻によりエネルギー価格、食料品価格の高止まりは続き、食品の値上がりは継続する。そのため、客の財布のひもが固い状況は続く。
	×	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの問題だけでなく、ウクライナ問題など国際情勢が絡んできて複雑になってきている。見通しが立たない状況である。原油高や日用品の価格上昇の影響で、客の生活において消費意欲が冷え込むような状況が続いている。買換え需要の家電製品の購入に慎重になってくるとみている。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束するかも分からないし、新型コロナウイルスの影響が薄れたとしても社会活動が以前のように戻るかどうか分らず先が見えない。したがって、良くなるとは思えない。
	×	一般レストラン（経営者）	・前年の11～12月は新型コロナウイルスの感染が収まったので売上が7～8割は戻ったが、この先新型コロナウイルスの新規感染者数はまだまだ増えそうであるため、悪くなるとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・最近の出前や仕出しの数字をみると、知らない人が配達に来ることを警戒してかテイクアウトが増えている。この状況からは、まだまだ来店してのアルコールを含んだ会食はできないと判断している。生活習慣も変わってきたようなので、飲食店としては不景気が続くともみている。
	×	タクシー運転手	・ガソリン代を始め、タクシーの燃料代が上昇している。また、公共料金が上がってきていることから、客の財布のひもも固くなってきている。これらのことから、タクシー業界の景気は悪くなる方向にあるともみている。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染収束とウクライナ情勢の落ち着きが見えない限り、2～3か月先の景気は悪くなる。今後税金が投入され国民負担が大きくなる。経済が厳しくなり労働生産は行き詰まると考える。
企業動向関連 (東北)		*	*
		食料品製造業（製造担当）	・人流が増え、特に県外客が動き出すものとみている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体製品の価格全般が若干上昇傾向であるため、今後、景気が良くなる方向にあると考えている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・大きく動く見込みはみえていないが、以前より設備の引き合いの情報は出てきている。
		建設業（従業員）	・春に向け、見積案件が増えてきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（従業員）	・年度初めに見込まれている案件があり、一定の受注契約は確保できるものと想定している。
		公認会計士	・今から2～3か月先は、新型コロナウイルスの感染が落ち着き消費者の購買活動も少し戻るとみている。小売、サービス、飲食は現在より業績回復が見込まれ、建設業なども極端に悪化する要因がないので、景気はやや良くなると予想している。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの第6波のピークアウトにより人出は戻ると予測している。
		農林水産業（従業者）	・この冬は今までにない大雪で寒かったが、春の暖かさは例年並みの予想であり、前年と同様、果物の開花は早くなると予想している。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が良くなり、人の動きが良くなることを期待している。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が落ち着かない限り、景気は好転しないとみている。
		窯業・土石製品製造業（役員）	・4月以降の値上げが浸透するかどうかのポイントである。ロシアとウクライナの戦争が世界経済全体に及ぼす影響を懸念している。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスに加え、ウクライナ問題で先行きが不透明ではあるが、それぞれの問題が極端に悪化しなければ現状維持でいけるとみている。
		通信業（営業担当）	・まだ厳しい状況は続くともみられ、新たな策を講じていく必要がある。
		通信業（営業担当）	・半導体不足の影響が想像以上に長引いており、受注があっても商品を提供できない状況が続いている。
		広告業協会（役員）	・3年ぶりに春の大型祭りが開催されることになったが、一方で地域の桜祭りは今年も中止になるなど、全面開放とはならない状況が続く。広告業界全体の底上げにはしばらく時間が掛かる見込みである。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・以前より仕事の量が減り、残業手当などももるもるの手当が非常に少なく、給料が実質5～7%減っている状況のようである。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・今後懸念されるのはやはりガソリン価格の上昇である。近場からの来客すら減少している今、景気の上向きにつながりやすい遠方からの来客が期待できない。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・半導体関連等の受注は上昇傾向にあるが、部品調達不足及び原材料等の高騰により収益は伸びない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第でイベント等が再開すれば良くなる可能性もある。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・受注単価の値上げは喫緊の課題である。物価上昇に拍車がかかることは目に見えており、早急な経済対策がないと持ちこたえられない企業が続出する。3月の期末、決算期を乗り越えられるかが正念場となる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・取引先に関連した業界動向として、全般的に経営数値が悪化傾向である。
		輸送業（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻により、燃油価格の更なる高騰が現実的なものになってきた。業界だけを見ても軽油だけではなく車両、タイヤ、オイル、尿素水など運送に関わる全ての物が値上がりをしている。景気が良くなると予想できる要素はほとんどない。
		金融業（広報担当）	・春の祭り開催など観光関連での集客力復活は、現時点では考えにくい。また、燃油価格の高騰やウクライナ紛争などの影響が多くの業種で顕在化してくるものと予想される。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの先行き不透明感に加え、ロシアのウクライナ侵攻の影響が懸念される。
		司法書士	・住宅着工に関する案件が例年より減少している。
		コピーサービス業（従業員）	・半導体の入荷遅れの影響がもうしばらく続くようである。解決するのは夏頃のように、海外部品に依存しているメーカーの製品を取り扱っている当社にとってはしばらく我慢せざるを得ない状況である。つなぎの商材を見付けなければならない。
	x	農林水産業（従業者）	・肥料や農薬の値上がりがじわじわと収益を圧迫するなか、ロシアのウクライナ侵攻で値上がり拍車がかかるとみている。
雇用		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
関連 (東北)		人材派遣会社(社員)	・コロナ禍は2年近く続いており、各企業ではコロナ禍でビジネスをしていくモデルがほぼでき上がってきていると感じている。特に飲食業や旅行、アミューズメントは厳しい業界であったが、そのなかでも現状生き残っている企業はそれぞれの戦略、生き残っていくための取組をしていて、それにより2～3か月先も上昇基調にあると捉えている。採用求人との問合せも中途、新卒採用共に2月中旬以降非常に多くなっている。
		人材派遣会社(社員)	・求職者数、求人数共に増加傾向にある。
		新聞社[求人広告] (経営者)	・新型コロナウイルスオミクロン株にピークアウトの兆しが見えてきたことから、ある程度の回復は望めるとみている。
		職業安定所(職員)	・新規求人数、有効求人数共に9月以降前年同月上回っており、今後しばらくはその傾向が続くとみている。
		民間職業紹介機関(職員)	・4月以降に必要な人材を求めている企業からの問合せも増えている。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルスやウクライナの情勢などにより、先行きがますます不透明になっている。
		新聞社[求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たないため、中止・延期されたイベントを開催するまでには至らないとみている。
		職業安定所(職員)	・現在、大型商業施設の進出や洋上発電工事など雇用の場が拡大しており、この傾向は当面継続するとみている。
		人材派遣会社(社員)	・地政学的リスクと新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明である。
		アウトソーシング企業 (社員)	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、今後も仕事が減ることが考えられる。
		新聞社[求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルスの感染状況の改善が想定より遅れてきている。また、ウクライナ情勢の緊迫により、ガソリンなどの燃料費高騰も心配される。広告主からも様々な値下げ要請が厳しくなっていることから、経営環境が悪化していることがうかがわれる。
		職業安定所(職員)	・ウクライナの紛争の影響が出てくるとみている。
		職業安定所(職員)	・求職者数は前年比で減少しているものの、雇用維持政策が縮小すれば、小規模の飲食・サービス業を中心に事業の継続が難しくなる可能性が高い。また、原材料や輸送コストの上昇からくる商品の値上げに対して賃金の上昇が追いついていないため、消費マインドの減少を招いていくとみている。
		学校[専門学校]	・当県の新型コロナウイルス感染対策における今後の対応、対策が不明瞭である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえず、先行きに不安がある。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの3回目ワクチン接種が進み、イベント等の中止もなくなってくると思うので、景気は良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルス禍も少しずつ下火になり、今まで抑えられていた消費行動が、放出されることになるので、必ず購買意欲は上がり、景気も上がってくると、手ごたえを感じている。
		都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種率が高まれば、経済も動き出すことを願って、良くなる。
		百貨店（営業担当）	・改装により、今までにない新しい客層の集客効果が見込め、シナジー効果が生まれると想定される。
		コンビニ（店長）	・商圏内にドラッグストアが新規オープンしたので、この影響がかなり出ていると思うが、3か月後は元に戻るのではないかと。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されれば、春に向けて徐々に客足が戻るのではないかと。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、料飲、宴会売上共に、前年よりは良いものの、ここに来て、まん延防止等重点措置の延長が決まり、3～4月のキャンセルが相次いでいる。解除されれば宿泊や料飲部門は反動で売上増が見込まれるが、宴会需要が戻ってくるのは早くとも4月後半からではないかと。もし再延長となれば、それも見込めず新年度は厳しい出だしとなりそうである。
		都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルスの新規感染者は減ってきているが、客が非常に慎重なので、劇的な回復はまだ先になるだろう。ただし、1～2月に比べると3～4月は多少予約が動いている。
		旅行代理店（経営者）	・年度末を控えて、人の往来が増えてくると思われる。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス次第だが、学校旅行中心に動きはある。しかし、従来とは形態や日程、方面が変わってきている。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者が減少傾向にあるとはいえず、いまだ多くの感染者が出て収束の見えない状況である。今後も感染症対策を徹底し、まん延防止等重点措置が解除されることを期待したい。
		設計事務所（所長）	・3回目ワクチン接種の進捗による新型コロナウイルス新規感染者減少に期待している。建設業への公共発注件数や、民間企業の設備投資にも期待している。
		設計事務所（所長）	・新年度になるため、消費活動が盛んになる。
		商店街（代表者）	・3回目のワクチン接種の進捗次第で、感染拡大が終息しない限り、先行きは不透明である。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・天気予報では暖かくなるといわれているが、新型コロナウイルスが落ち着いてこない、人々は安心して外に出ることはできない。早く感染状況が良くなることを期待している。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者の増減に影響を受けやすい観光業を営んでいるため、現状、依然として感染者が多く景気は極端に悪くなっている。今までの感染の波と同様、感染者が増加傾向にある時は来客数も減るので、我慢のときかと考えている。さらに、ウクライナに対するロシアの侵襲が始まったため、出控えに拍車がかかると危惧している。現在の底の状況から悪くなりようがないので、変わらない。	
	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右される。また、エネルギー価格の上昇を始め、物価上昇も懸念材料の一つである。	
	衣料品専門店（統括）	・耳にタコができるような状態だが、新型コロナウイルス対策、また最近ではロシア問題等、余り良いニュースが流れていない。消費者の皆も、気持ち的に吹っ切れない部分がたくさんあると思う。私たち商売人は、客の気持ちを考えると消費に向かないのは当然だと思っている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株が落ち着いて、平常の生活ができるようにならないと、観光客も来ない気がする。今のところ、これから先の明るい材料は、全くみえてこない。観光客が来てくれないことには、私ども観光地はどうしようもないので、感染状況が落ち着くまでは良くならない。感染状況次第である。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響等からすぐに良くなるとは思えない。
		住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況とウクライナ情勢により、今後2～3か月先の景気は、全く予想できない。
		住関連専門店（仕入担当）	・新型コロナウイルスの感染状況も高止まりで、商材価格の上昇をしきりにメディアが報道するなか、個人消費の機運が上がる要因はほとんどなく、当面今の状況が続く。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・小売としては、新型コロナウイルスとメーカーの動向という2大要素が改善されないと良い方向に行かない。これらが改善されないことには、現状が続くそうである。また、主要取引先メーカーからは今月分からの商材値上げの連絡があった。生産の安定も大きな問題になってきていて、価格戦略の見直しが大切になりそうである。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスを感染症分類の2類から5類へ引き下げてほしい。今の状態では、病状に限らず陽性になれば隔離され、濃厚接触者も行動制限される。これでは経済が良くなるはずがない。
		タクシー運転手	・多分これ以上は、悪くはならないと思う。今が一番悪い気がする。
		タクシー（経営者）	・夜の動きが悪いので、この先も良くないとみている。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の変異株の感染が広まり、行動制限も強くなると思われる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種率が今後影響してくると思うが、現時点では不透明で先がみえないため、変わらない。
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルス禍、転勤時期、携帯電話繁忙期等の外部要因により、問合せが増えている。ただし、一時的なもので、景気が良くなっていると感じるものではない。
		テーマパーク（職員）	・他県のようにまん延防止等重点措置の解除地区が増えれば、観光客も増えると思う。依然として、新型コロナウイルス新規陽性者数が多い現状では、例年のような学生の卒業旅行や春休みにも期待できない。
		ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第なので、変わらない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・客がガソリン等の価格高騰は収まらないとみて消費行動を続けるため、変わらない。
		住宅販売会社（経営者）	・ウクライナの情勢が不安定ななか、不動産売買はもちろん、賃貸もこのまま動きが鈍い状況が続くと予想される。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・今後については、新型コロナウイルスオミクロン株の影響によるところが大きい。営業活動への影響が継続して出ており、資材価格の高騰も次々に起こっている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が全然見込めない状況で、まして現状は、新規感染者が増えてきてしまっているため、販売は厳しいかもしれない。
		百貨店（店長）	・2月はまん延防止等重点措置適用期間のため、客足、売上共に不調である。今後の見通しは、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少、まん延防止等重点措置の解除によるので、どの程度回復するかは不透明な状況である。
		スーパー（商品部担当）	・ワクチン接種3回目が終わりと、行動規制が緩和されればと期待はしている。ただし、生活スタイルの変化がなければ行動が変わるとは思えない。値上げラッシュのしわ寄せは、食に影響が出るので、厳しい環境になると思っている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に続き、円安、材料費の高騰による値上げ、ウクライナやロシアの政情不安の影響等、不安材料が多く発生した2月である。今後、不況になるのではないかと、また、消費者が気持的に消費に回すお金を制限していくのではないかと心配している。
		乗用車販売店（従業員）	・各種値上げの話があり、受注にも影響している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・地政学リスクやインフレ圧力の上昇等の影響が更に強まり、食材をはじめ様々なコスト上昇が懸念される。事業所給食部門の売上は契約条件によるので、当面、収支悪化が進むと懸念される。コスト吸収の取組みと受託先への取引条件見直しの依頼を続けていくことになる。
		旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規陽性者の減少により、景気の持ち直しを期待したいところに、ウクライナ問題が緊迫化してきている。ガソリンや食料品の値上げが止まらず、政情不安感も増して、観光需要に水を差すことが懸念される。
		通信会社（総務担当）	・自店舗での販売減少や販路拡大による人件費の上昇等で、やや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・ロシアとウクライナの戦争状況次第では、世界的な影響が出てくる。
	×	スーパー（総務担当）	・3月以降、様々な物が値上がりするため、悪くなる。
	×	コンビニ（経営者）	・夜になって、全然客が来ないことが原因である。
	×	衣料品専門店（店長）	・ロシアの軍事侵攻による影響で、生活に関わる全てで値上げが懸念される。社会不安と新型コロナウイルスの感染拡大により、良くなる要素がない。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスとの上手な付き合い方、いわゆるWithコロナだが、その方向性、将来的な対応の仕方が明らかにならない限り、このまま悪い方向にずるずる行ってしまう懸念材料ばかりである。できるだけ、具体的に循環型社会ができるような方策を示してほしいというのが、率直な気持ちである。
	×	家電量販店（店員）	・明るい材料がなく、給付金等の再度交付が望まれる。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス禍に加えて、ロシアのウクライナへの侵攻が始まった。まずはガスや石油等価格の値上がりから始まって、やがては世界経済の恐慌の危険性が高まっていくのではないかと。
	×	一般レストラン（経営者）	・今の生活に慣れてしまい、外食の頻度が減るのではないかと懸念している。また、物価上昇で当店でも値上げせざるを得なくなれば、更に悪化するかもしれない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・ロシアとウクライナの戦争問題、北朝鮮のミサイル発射、中国と台湾の動向等もあり、今、世界は平常ではない。物が入らなかつたり、コンテナの遅れ等もあり、株価も非常に乱高下し、現状は下がっているのでは、悪くなると思う。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染に終息がみえない。ワクチンを打てば大丈夫と言われてから、2回打てば大丈夫、3回打てば大丈夫と、いつになれば通常に戻るのか分からない。
	×	通信会社（経営者）	・仕入コストの増加分を売価に転嫁できるのは大手企業のみである。むしろ中小企業の利益はひっ迫している。先進国が次々と利上げを打ち出しているなか、我が国はいつまでゼロ金利政策を続けるのか。今の政策を続けても何も変わらないのは明白である。
	×	美容室（経営者）	・資源がなく、お金もない、そして人材がいらない。
企業 動向 関連 (北関東)		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、ここ2年間、この時期の出荷量が増えている。現在ではそれが浸透してきたらしく、商材の流通が多くなってきている。
		経営コンサルタント	・まん延防止等重点措置が解除になり、一般の外出行動や経済活動が平常に戻れば、春の季節とも重なり、地域経済に一定の盛り上がりが見込める。
		社会保険労務士	・今よりは良くなっているだろうが、行動制限の解除後、ガソリン価格が余りにも高いと、ゴールデンウィーク等に影響が出そうである。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・取引先の投資マインドに変化がみられ、意欲的だと感じている。今後、商談や受注件数、金額共に、増加していく予想である。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・大きな変化もなく、稼働している。
		金属製品製造業（経営者）	・今後の取引先の様子がよく分からない。当社も迷ってしまい困っている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先が十数社あるが、例年、1～2月は悪く、3月は若干良くなる。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはまだ、新型コロナウイルスの影響が残ると考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
x		輸送業（営業担当）	・新年度を迎えるため、新生活用品、白物家電や寝具類は前年並みの物量を確保予定である。多少、引っ越し依頼等は減っている。また、燃料価格高騰により、荷主からは2～4トンの中型車より大型車の依頼が増えている。コストの軽減を図っているということであり、車両確保も燃料高によるコスト増で、利益は薄くなりそうである。
		不動産業（経営者）	・入退去の繁忙期を迎えるが、今の新型コロナウイルス禍の様子では、上向くことは見込めない。
		司法書士	・将来に渡ってというか、数か月を要するような発展的な仕事がなくなって、もう4～5年経つような気がしている。こういう社会では、良くなることはないという気がしている。
		化学工業（経営者）	・良くなる材料が乏しく、原材料価格の上昇も止まっていないため、やや悪くなる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・4月から自動車の組立ラインも通常稼働に戻るとの情報はあるものの、全ては新型コロナウイルスの感染状況次第であり、楽観視はできない。また、ロシアのウクライナ侵攻は世界経済にとっても大きなマイナス要因である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ここに来て、ロシアがウクライナに侵攻して、原材料や食品がまた厳しい状況になるのではないかと。ほぼ全ての物価が高騰していく。しかし、製造業の我々にとって値段を上げることは、至難の業なので、相当厳しくなる。
		建設業（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響もあるのか、すこぶる発注ペースが悪く、新年度に向けて不安しかない。
		不動産業（管理担当）	・続々と資材の値上げ予定があり、当社も4月以降の契約の値上げ交渉をする予定ではあるものの、取引先の反応が余り良くない。空きテナントの内見は多少あるが、こちらも反応が良くない。
		建設業（開発担当）	・公共工事発注は前年比86%で大変厳しい。いまだ新型コロナウイルス禍で厳しい状況が続いている。ただそれ以上に大変なことが起こり、今後しばらく厳しい状況が続くのではないかと。ロシアが21世紀に考えられない行動を起こした。人間の尊厳を考えれば、ウクライナの人々が気の毒でならない。今回の件に対し、日本人の経営者がウクライナに10億円の寄付をしたという記事を読んで感銘を受けた。素晴らしい人格者である。
雇用 関連 (北関東)		-	-
		人材派遣会社（経営者）	・3月は年度末でもあるので、卒業や退職に伴う贈答品等、食料品の一部では動きが出てくる。天候にさほど影響を受けなければ、多少気温が上がって、春物も少し動きが出てくる。公共事業も2月から少し動きが出ており、年度末から年度初めに向けては、建設、土木、建築の一部でも動きがあると思われる。
		人材派遣会社（経営者）	・人材募集依頼が増えている。
		人材派遣会社（社員）	・宿泊施設関係の稼働などを見ると、どん底だったときと比べるとだんだん回復してきて、通常よりは低位であるものの、宿泊者数、稼働率共にある程度の低さで安定している。新型コロナウイルスオミクロン株が収まりつつあることも考え、まん延防止等重点措置が解除になると当観光地も少し良くなっていく。
		人材派遣会社（社員）	・求人数は増えているものの、人材不足である。
		人材派遣会社（管理担当）	・自動車関連の派遣要請が多いため、やや良くなる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響は、今のところないように見受けられるが、材料費高騰の影響が続くため、業況は良くないと聞いている。
		職業安定所（職員）	・非正規雇用の増加や飲食店関連の卸売業の回復が見込まれないため、現状維持と思われる。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・今後の見通しは不透明である。経済状況は特に、世界情勢も絡んでくるのではないかと。
	*	*	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	*	*

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)		一般小売店〔生花〕 (店員)	・3か月先は5月頃であり、母の日やゴールデンウィークなどもある。その頃には新型コロナウイルスも落ち着いてきて、人の流れもあるのではないかと期待している。毎年5月は良い月なのだが、良くなってほしいという期待を込めての回答である(東京都)。
		その他専門店〔雑貨〕 (営業担当)	・新型コロナウイルス感染第6波のピークアウトと、3回目のワクチン接種率の向上により、社会経済活動の回復が見込まれる(東京都)。
		都市型ホテル(スタッフ)	・3回目のワクチン接種が進捗し、新型コロナウイルス感染症を抑えてくれると信じるしかない。気温も上がり、Go To Travelキャンペーンが再開すれば、人の動きが戻ってくる。
		旅行代理店(従業員)	・3月にはまん延防止等重点措置が解除されることが見込まれる。また、Go To Travelキャンペーンが再開した場合は、一気に旅行者が動き出す(東京都)。
		旅行代理店(販売促進担当)	・まずGo To Travelキャンペーンが再開すると思うので、旅行需要が増える。また、春を迎え旅行シーズンに向かっていくし、4月以降の個人旅行のパンフレットもできてきているので、それらを見て少し動き出すと考えている。あとは、3回目のワクチン接種が進み、少しずつだが旅行が動いていくような情報もあるので、今よりは良くなる(東京都)。
		タクシー運転手	・現状は新型コロナウイルス感染者数がかかり多いため、どうしても悪くなっている。特に、夜は人の動きが全然ない。徐々にピークアウトして少なくなっていく、ウィズコロナになっていけば、元どおりとまでいくかは分からないが、少なくとも今よりは確実に良くなる(東京都)。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染ピークアウト、3回目のワクチン接種の進展など、新型コロナウイルスへの感染リスクが随分下がる。また、冬は寒さで人出が減少していたが、外出自粛のリバウンドがかかり見込める。あとは、ウクライナ情勢などのマイナス要因がどれだけ減るかで世の中のマインドが変わってくる(東京都)。
		一般小売店〔家電〕 (経理担当)	・これから外出が増えれば、客も戻ってくる。今は買いたい商品を探しているものと見受けられる。
		一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・年度末なので若干需要が増えることを期待している。
		一般小売店〔文房具〕 (経営者)	・3～4月にかけては、前年、前々年の新型コロナウイルス禍においても、学童用品を中心に売上がある程度向上しているので、今年も同様にやや上向きになるとみている(東京都)。
		一般小売店〔文具〕 (販売企画担当)	・外商等の大口案件が幾つか決まっていることから、今後は良くなるのではないかと。また、店頭でも客足が一時期より良くなっているようである。
		一般小売店〔書店〕 (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限緩和への期待と合わせて、例年どおり新年度用の受注量が増加することが見込まれる(東京都)。
		百貨店(売場主任)	・新型コロナウイルスの新規感染者数がピークアウトしつつある現状に鑑みて、春の卒入園関係、人事異動に伴うギフト需要が増えることを期待している(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・春の新生活等の時期はファッションに対する消費の機運が高まるため、新型コロナウイルス感染者数や重症者数が減少してくれれば、少しずつ回復すると推測している(東京都)。
	百貨店(経営企画担当)	・3回目のワクチン接種の効果について報道されることが増え、また周囲にも接種完了した人が増えていることから、更に接種が進捗することによる感染防止効果に期待している。少しずつ良い方向に向かうことを願っている。あとは新型コロナウイルスの新変異株による感染拡大の繰り返しがないことを祈るしかない(東京都)。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株亜種の影響次第だが、3回目のワクチン接種の効果に期待する（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・3回目のワクチン接種が進み、人流が多くなる。ただし、原油価格の高騰、ウクライナ情勢など不安材料も抱えている。
		百貨店（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数も減ってきており、3回目のワクチン接種が進み、外出できるようになる。暖かくなるにつれ、行動範囲が広がる可能性もある（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が落ち着いてきて、まん延防止等重点措置が解除されれば、また、桜の開花など春を迎えて客の購買心理も動くことがあれば、売上が回復してくる。飽くまで希望的観測だが、外出等、客の行動が活発になることによって全体的な売上も伸びていく。新年度に向けて購買需要も増えてくる。引っ越し等を含めて衣料品、住まいの品、新入学、卒業などお祝いごとの食料品等も含めた売上が伸びてくることを期待している。
		スーパー（総務担当）	・人が外に出るようになっていくし、新型コロナウイルスに感染することが特別なことではなくなってきている。
		コンビニ（経営者）	・気温の上昇と新型コロナウイルス感染者数の減少により、良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、流行がピークアウトすると人流が戻り、売上も回復傾向になるので期待したい（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・3回目のワクチン接種が加速しているため、状況改善に期待したい（東京都）。
		コンビニ（従業員）	・これから暖かくなっていくことから、行楽など外出する人が増えるため、コンビニの利用客も増加傾向になると予想している。あとは、新型コロナウイルスの感染者数が落ち着いてくることも重要で、それによって景気も大きく変わってくる可能性がある。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス禍が落ち着き、まん延防止等重点措置が解除されることを前提に、店舗の来客数が増え、売上回復を見込める（東京都）。
		家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数次第だが、来客数は増えてくる。しかし、値上がりする品が増えていることが気になる。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算期を迎えているので、期待を込めて、少しは良くなる。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染の波は読めないものの、直近の重症化率の低さや「コロナ慣れ」傾向、今後資材や製品の値上げが続くことから、リフォームにおける消費者の自粛のたがが外れてきており、一時的かもしれないが今後2～3か月程度の期間では好転すると予測している（東京都）。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの影響次第でどちらに転ぶか分からないが、3～4月は少し収まると期待を込めての回答である。
		一般レストラン（経営者）	・来客数が少なく、時短営業もしているため、恐らく現状が一番良くないのではないかと。2～3か月先は、今よりは売上が少し伸びてくる。ただし、ケータリング及びパーティはないと思うので、景気が良くなるとまではいかないが、今よりは少し良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染対策の出口戦略がはっきりすれば、良くなる傾向にはある（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・今は最悪の状況だが、3回目のワクチン接種が進み新型コロナウイルス感染者数が減少すれば、個人を中心とした宿泊や会食が戻ってくるので、販売量が増え、景気も多少良い方向に向かう。
		旅行代理店（営業担当）	・3回目のワクチン接種が進展して安心感が増せば、市場も良くなる（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大により自重していた人々が、ノーマルな消費に戻るとみている（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	・例年ある新年度からの新規商談が発生することに期待している（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の落ち着きに加え、春からはゴルフシーズンが本格化することから、来客数の増加が見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		パチンコ店（経営者）	・ようやく新型コロナウイルスオミクロン株感染拡大のピークアウトが見えてくるなか、暖かくなるに連れ、人の動きも活発になることが期待される。
		競輪場（職員）	・暖かくなり、飲食店などの営業も通常に戻れば来客も増える。
		その他レジャー施設 〔総合〕（広報担当）	・その頃には新型コロナウイルスの感染者数が減少し、人出が回復するのではないかと（東京都）。
		その他レジャー施設 〔複合文化施設〕（財務担当）	・国内メーカーの新型コロナウイルス内服薬が承認される（東京都）。
		設計事務所（経営者）	・厳しい社会情勢を踏まえ、公共案件の入札に前倒しの兆しが見える。競争相手が多く不確実であるが、現状よりは良くなると期待している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が徐々に減少傾向になっているようではあるが、そのスピードが余り思わしくないことから、この先の景気は感染状況次第だと考えている。早く収束してくれることを切実に期待している。
		一般小売店〔和菓子〕 （経営者）	・2月は注文が全てキャンセルになってしまったが、3月に向けて新型コロナウイルス感染者数も徐々に減少傾向にあり、3月のいろいろな行事の注文が入ってきているので、少し上向きになるのではないかと。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・新入学時期のため新しい需要に期待しているが、子供用は特に価格で選ぶ人が増えているため、客単価が上がらず、良くなるとは思えない。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まりそうもないので、見通しも立たない。現状を維持できるように頑張るだけである（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者数は減少傾向に進むことが想定されるが、客の購買意欲や消費の回復が見込めない。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス収束に向けた見通しが不透明なところに、ウクライナ情勢という不安要素も加わり、先行きは明るくない事態が継続している。新型コロナウイルス禍も長期化し、景気回復を願う気持ちはあるが、先に進む気配がなかなか感じられないのが実情である（東京都）。
		百貨店（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染状況によって左右されるため、正確な見通しが立てにくい。ただし、向こう数か月において大きく状況が改善されることや、逆に悪い方向に進む材料も現時点では見当たらず、横ばいで推移するものとみている（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・来月も値上げ要請が多く、客単価の低下が続くと想定している。新型コロナウイルスオミクロン株の感染収束まで厳しい状況が続くことが見込まれる（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の動向が見通せないなか、状況が大きく変わることはない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・3回目のワクチン接種率も上がり、現在でも既に薄れている新型コロナウイルス感染対策の意識がますます薄れて日常になっていく。旅行などは活性化を見込めると思うが、洋服など百貨店ファッションへの消費は戻らないのではないかと。ただし、食器なども含むインテリア関連は、家、部屋、身の回りを充実させる意識が定着していることから、期待している領域である（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数が急激に増加する前は、客からも消費に対して積極的になりつつある雰囲気を感じられていたことから、まん延防止等重点措置が3月6日で解除され、新型コロナウイルス感染者数が落ち着けば、景気は良化傾向になると予想していた。しかし、ロシアのウクライナ侵攻というニュースが不安を感じさせ、消費意欲が低下することは否めず、景気は変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・前年同様、ゴールデンウィーク前後に新型コロナウイルス感染防止を目的とした行動抑制が掛かるのではないかと懸念している。そうなれば、ゴールデンウィーク、母の日需要の見込みは厳しくならざるを得ない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・マスクが取れるようになるまではこの繰り返しである（東京都）。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数は減少傾向にあり、落ち着くことが予想されるが、ロシアのウクライナ侵攻による影響が懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（財務担当）	・3回目のワクチン接種率が上昇した場合でも、新型コロナウイルスの感染者数が大きく減少し、また、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言等の発出がされていない状況にならない限り、今後も景気は大きく変わらない（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染者急増により、来客数が減っている。営業時間も短縮せざるを得ない状況で、売上が前年に届かない状態が続いている（東京都）。
		スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いており、経済全体の底上げをする景気対策もないので、当面の間は同様の状態が続く（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・やはり新型コロナウイルスが落ち着かない限りは、なかなか客も増えてこないと感じている。長い新型コロナウイルス禍のなかで、我々商売をしている人間にとってはかなり厳しい状況だと日々感じている。
		衣料品専門店（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻や、新型コロナウイルス感染が収束しないと先行き不透明である。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスや戦争など、何が起きるか分からないことが多過ぎる。全てが様子見の状態、今と変わらない（東京都）。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が今のところ大きく改善する見込みがないため、今と同じような状態が続くのではないかと。
		衣料品専門店（役員）	・食料品や光熱費の値上がりの影響を一番受けるのが衣料品である。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数によって変動はあると思うが、物価が上がってきているので、単価が下がる可能性も考えられ、来客数が増加しても必ずしも売上に反映されるとは思えない。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルス禍により新生活の需要が少なく感じ、今後の春商戦でも余り変化がない可能性がある。テレビの買換え需要に期待したいが、北京オリンピック後なのでそこまで期待できない。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売は前年度比で2割減少している。新型コロナウイルス禍が一段落しないと、今年一杯は駄目なのではないか。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の販売量が落ち込んだ分を整備部門でカバーする状況が続く。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルス、半導体不足の先行きがまだ不透明であり、市場が活発化してこないと予想している。
		乗用車販売店（渉外担当）	・半導体不足並びに供給が停滞しがちな部品の生産正常化の兆しが見えない。
		乗用車販売店（営業担当）	・変わる要素がない（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・身の回りの景気が余り良くないことに加え、ロシアのウクライナ侵攻も始まったので、何となく商材の移動、販売が落ち込んでいる。これから先も落ち込むのではないかと。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・新型コロナウイルスを含めて景気に影響がある事象が発生しても、すぐに大きな変化はみられない（東京都）。
		高級レストラン（営業担当）	・年間を通じて、12～1月の忘新年会シーズンの次ににぎわいを見せる3～4月の歓送迎会シーズンだが、自粛要請の関係で先行きが不透明なためか、予約問合せ等は低空飛行が続いている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの収束を想定しても、客層が変化し、来客数減少にも歯止めが掛からず、先行き不安は残る（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・3か月後も新型コロナウイルスの感染状況、ロシアのウクライナ侵攻などにより、日本にも必ず経済的な影響が生じると思うので、決して良くなるとは思えない。
		一般レストラン（経営者）	・まん延防止等重点措置が延長の方向になっている。解除されても、新型コロナウイルス感染防止のための規制に客が慣れてしまい、外食に対する考え方が変化してきており、新型コロナウイルス発生前の売上に戻るには相当な年数が掛かる（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・現首相になって、何かしてくれたのか、また、今後何かしてくれるという期待が全く持てない。現状が最低だと思うが、これより上向いていくことはないようにも感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・この先は全く読めない。新型コロナウイルス感染者数も今は高止まりしており、まん延防止等重点措置の適用期間も恐らく延長されると考えられるので、フリー客にちょこちょこ来てもらう形で、現状と変わらない売上、店の雰囲気がいしばらく続くのではないかと（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・現状が変わるのはまん延防止等重点措置が解除されてからになると思うが、一気に外食が増えるとは考えにくいので、しばらくは厳しい状況が続くと予想される（東京都）。
		その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・新型コロナウイルスが少し落ち着いてくると思うので、良くなる。新型コロナウイルスの感染状況で右往左往させられている。出口戦略が見えないので、改めてあと1年は続くのではないかと感じずにはいられない。新型コロナウイルス禍の長期化による余波で、倒産や業務縮小する企業も増える。人々のライフスタイルとしては、家で生活が日常になり、新型コロナウイルスが終息しても外食は戻らないと、いろいろな人と話し、感じている（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・新型コロナウイルスが徐々に収束していくものと予測できるが、全く動きが見えないパーティー需要が本来の状態に戻るには、来年度一杯は掛かるものと推定する。したがって、当面はパーティー部門が欠如した現状が継続するものと判断している（東京都）。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染第6波が収束すれば戻らと思うが、その後も感染が継続すると、非常に厳しい状況が続く。政府には早く新型コロナウイルスの扱いをインフルエンザ並みのレベルに下げ、欧米諸国と同じように全ての規制を撤廃してもらいたい。そうしなければ、はっきり言ってもう持たない。経済を立ち直らせるために、政府には是非早急な検討をお願いしたい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染状況と、それに対する政府の対応策によってどうなるかである。変わらないというよりは、分からない。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響がある。外出を控えているので、なかなか街中に出て経済を回していくような状況にはなっていない。本当に困ったものである。
		タクシー運転手	・やはり新型コロナウイルスの影響がかなり大きく、慎重の上にも慎重に様子を見なければならぬ。新型コロナウイルスオミクロン株BA-2という新しい変異株が出てきていることと、3回目のワクチン接種を完了した人がまだ少ないことがある。
		タクシー（団体役員）	・新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種が進み、まん延防止等重点措置が解除されないと、景気回復は見込めない。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が徐々に落ち着きつつあるが、3回目のワクチン接種が進まず、安心感の醸成が進んでいない。新型コロナウイルスの影響は限定的ではあるものの、物価高が深刻になれば消費が更に落ち込む可能性があるため、大きな変化はない（東京都）。
		通信会社（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除され、3回目のワクチン接種が進んでも、すぐに景気が良くなるとは思えない（東京都）。
		通信会社（社員）	・来年度に向けて、イベントの予告や新規の契約案件が出てきているが、大口の契約をカバーできる状況ではない（東京都）。
		通信会社（社員）	・契約数の増加につなげる動きがないため、変わらない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が長引く懸念があり、引き続き営業活動が限定されることから、横ばいの状況が続く。
		通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
		通信会社（営業担当）	・販売数や客の動きをみていると、当面は変わらない気がする（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・本当に必要な物だけを買ってもらいたいことと、会社側の目標が矛盾している。消費者のニーズにどう合わせていくかが課題である。
		通信会社（局長）	・ウクライナ情勢が不透明である。新型コロナウイルスもいまだに収束しない。
		観光名所（職員）	・収益が好転する兆しがみられない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）	・戦争が始まり、新型コロナウイルスの感染者数はいまだに1万人を超えている。まだまだ油断はできない（東京都）。
		その他レジャー施設 〔映画〕（営業担当）	・新型コロナウイルス禍により消費マインドが冷え込んでいる（東京都）。
		その他サービス〔立体 駐車場〕（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するまでは悪いままである。
		設計事務所（経営者）	・当社まで具体的な相談の形では出てきておらず、実際に当社の仕事になるかは不明だが、この先に新たな案件があるという話が伝わってきている。
		設計事務所（所長）	・客自身の収入が安定せず、新型コロナウイルス禍のためコミュニケーションが取れない。物価が不安定な上、人手不足等も重なり、民間仕事のための事務所にとっては、このままの状況が続いていくと考えられる（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、景気は良くならない。早く3回目のワクチン接種が進展することと、治療薬が普及することを期待している。
		住宅販売会社（従業員）	・来場者数、資料請求件数共に余り変化がない。
		住宅販売会社（従業員）	・現状では3か月先は余り良くなる感じがしない。建築資材のウッドショックはまだ影響しているし、土地不足も解消のめどが立っていないので、まだ時間が掛かる。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスが完全に終息するまで、先の状況は見通せない。
		その他住宅〔住宅資 材〕（営業）	・資材高騰は建材においても同様で、ユーザーの購入タイミングにブレが生じており、目立った景気の伸びは期待できない（東京都）。
		一般小売店〔家電〕 （経理担当）	・まだまだ値上がりは続くし、半導体不足による商品不足も続いている。新型コロナウイルスの収束もまだ先のようにだし、良くなる理由が見つからない。
		一般小売店〔米穀〕 （経営者）	・電気料金、ガス料金、燃料価格等が上がっているの、出費が多く、大変緊張感のある生活スタイルのため、財布のひもが固くなる（東京都）。
		一般小売店〔酒類〕 （経営者）	・新型コロナウイルスがピークアウトしたといっても感染者数が減らないなかで、飲食店の売上が減少している。今は納入がほとんど止まっている。
		一般小売店〔眼鏡〕 （経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株は、今までの変異株に比べて毒性が弱くても感染力が強い分、感染者数が大幅に増加している。この数字は尋常ではない。やはり警戒して外出を控えるのは仕方ない。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きつつあるが、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済の減速により、株価下落やエネルギーコスト増加による消費意欲の減退が想定される（東京都）。
		百貨店（販売促進担 当）	・新型コロナウイルスの収束は見通せず、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響など、先行きの不安要素が大きい（東京都）。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延により来客数は減っているものの、まとめ買いが多少増えているので、何とか売上はいつている。ただし、この先も値上げが続くので、客は買い控えをするようになると見込んでいる。今は値上げ前の買い込みが多少あるが、完全に値上がりしてしまったら、なかなか厳しくなるのではないかと。
		スーパー（経営者）	・インフレ傾向で可処分所得がかなり減るのではないかと。当然ながら、スーパーマーケットでの買物にも影響がある。また、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、来客数が減少している。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株が収束すれば、3か月後はやはり客も外食したり行楽に出かけたりして、内需から外需に変わっていくと思われる。それにより、今よりもやや厳しくなるのではないかと予測している（東京都）。
		スーパー（店長）	・各商材にて実施される値上げの影響が客の購買行動に反映される可能性がある。
		スーパー（営業担当）	・世界情勢も含め、物価がどんどん上がり、インフレになってきている。その影響で、生活防衛のためか、購入量を抑える傾向は今後も続く（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（仕入担当）	・世界的な値上げに加え、ウクライナ情勢の先行きは見え ず、消費は低迷する。
		コンビニ（経営者）	・深夜時間帯のアルバイト従業員の採用が厳しい状況は今後 も続くと思われる。また、深夜時間帯の来客数も更なる減少 が見込まれ、状況の悪化が予想される。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が減らない限り、景気は戻ら ない。
		コンビニ（経営者）	・今年は気温が低く、新型コロナウイルスの感染状況も余り 芳しくないので皆控えているのではないかと。
		衣料品専門店（経営 者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で入出が少なく なっている。今後もいろいろな物が値上がり傾向にあること に加え、新型コロナウイルスの感染状況がどうなるのか、ま だまだ不透明な部分があるので、しばらく低迷が続くのでは ないだろうか。
		衣料品専門店（従業 員）	・まだ新型コロナウイルス収束のめどが立っていない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス感染対策をどこまで緩和できるのか、 国の方針が見えてこない。ウクライナ情勢を含めて、物価上 昇、商材の入荷遅れ等の不安材料がくすぶっている（東京 都）。
		乗用車販売店（販売担 当）	・新型コロナウイルスが落ち着いてくれば、移動需要が増え てきて、新車も売れるのではないかと期待感がある。現状は自 粛、自粛で我慢が続いているので、新型コロナウイルスが収束し、 3回目のワクチン接種が100%に近づいてくると、経済も良くなり、 車自体も新車がまだ出てくるので、少しは良くなるのではない かと（東京都）。
		乗用車販売店（店長）	・増販月ではないので、販売量は落ち込む傾向にある。
		乗用車販売店（営業担 当）	・半導体不足の影響がある（東京都）。
		住関連専門店（統括）	・現在の新型コロナウイルス禍のなかで、依然として人の流 れも減っているのではないだろうか。
		その他専門店〔ガソリ ンスタンド〕（団体役 員）	・新型コロナウイルスの感染拡大、原油価格の高騰が継続す れば、販売量が更に減少する。また、国による5円の燃料油 価格激変緩和措置補助が拡大されれば、施行前の買い控え、 補助終了時の仮需要の発生等、更なる混乱も予想される（東 京都）。
		その他小売〔ショッピ ングセンター〕（統 括）	・終息が見えない新型コロナウイルスの感染拡大、世界情勢 に対する不安からくるエネルギーコストの上昇、それに伴う 物価上昇がある。その反面、収入は上昇がみられず、可処分 所得は減少傾向にある（東京都）。
		その他小売〔生鮮魚介 卸売〕（営業）	・ロシアのウクライナ侵攻の影響が懸念される（東京都）。
		一般レストラン（経営 者）	・今後3～4月と様々な原材料が値上がりすることに加え、 ウクライナ情勢の緊迫化、悪化で景気がかなり下振れすると みており、外食需要は軒並み悪くなる気がする（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の亜種発生がさざやか れ、回復の兆しを感じられない。ロシアのウクライナ侵攻に よじ、平和が保たれるか不安定である（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスに十分に打ち勝てていないと強く感じ ている。しかし、我々個人タクシー事業者は、国と東京都の 補助金で何とか食いつないでおり、それに対しては非常に感 謝している（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・海外情勢の変化の影響で、各種値上げが想定されており、 客の消費行動は今よりも悪化していく。
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルス感染者数の高止まりに加え、ウクライ ナ情勢の影響も浮上して、半導体の輸入時期が見えにくく、 新サービスのための新規設備構築が滞っている（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスが収束に近づいていると感するので、 業種によって好況に転じるところもあれば、逆に悪化するこ ところもあるように感じる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが収束し、客が普通に来店できるよう になることを祈っている。
		その他サービス〔学習 塾〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、相変わらず対面の授業を避 ける傾向があり、辞める生徒が出ています。
		その他サービス〔保険 代理店〕（経営者）	・ウクライナ情勢の影響で間接的に販売量が下がり、先々の 不安が要因でますます購買意欲が減退する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・新型コロナウイルスが子供の間で流行しているため、学習塾の経営にはかなり影響してきている。
		設計事務所（経営者）	・全てが新型コロナウイルスの影響である。行政への営業も、なるべく控えてほしいと言われる。名刺営業や、客への訪問など、いろいろところで営業を控えてくれと言われていた。この先営業を展開していくには、やはり新型コロナウイルスの感染者数が少しでも少なくなることを願うしかない。
		設計事務所（所長）	・これから先、新しい仕事を受注する見込みが立っていない。
		設計事務所（職員）	・ガソリン価格の高騰、半導体不足等、世界情勢の変化による景気悪化が懸念される（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス禍とは関係なく、注文建築の請負契約の状況は厳しい。住宅展示場への来場者数も減っており、資料請求も増えていない。こどもみらい住宅支援事業も余り認知されていないと感じている。建て替えよりもリフォームで我慢しようという客が増えているように感じているようである。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・客に接触できないが、電話だけでは話がなかなか進展せず、時間が掛かっている。新型コロナウイルスの1日も早い収束がどうしても必要である。
	×	一般小売店〔家具〕（経営者）	・非常に悪くなっている。物価が上がっているためか、来客数も減っており、販売の難しい時代になってきている。石油価格も上昇しており、景気が良くなるような要因が見当たらないので、この先も悪くなっていく（東京都）。
	×	一般小売店〔印章〕（経営者）	・全体的に経済が落ち込んでいる。ウクライナ情勢等が日本にどのように影響するかがまだ不透明なところがある。この問題と、新型コロナウイルスが沈静化しないと、悪い状態が続く。
	×	コンビニ（経営者）	・ウクライナ情勢がどうなるかによって変わる（東京都）。
	×	家電量販店（経営企画担当）	・ロシアのウクライナ侵攻が発生し、世界経済に悪影響をもたらす。国民の不安心理が増すことは、経済にとってはマイナスの影響でしかない（東京都）。
	×	乗用車販売店（経営者）	・改善要因が少ない。
	×	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルスだけでなく、ロシアのウクライナ侵攻など良い話がない。物販の様々な品目の値上げ及び調剤報酬の下落なども重なり、非常に危機感を覚えている。
	×	旅行代理店（従業員）	・見積依頼が寄せられるのは学校関係のみという状況に変わりはなく、一般団体からの案件はないので、事業存続が危ぶまれるとともに、社員として働くモチベーションを保つことができない。
	×	旅行代理店（営業担当）	・世界が新型コロナウイルス禍のなか、ロシアのウクライナ侵攻が勃発し、原油の価格高騰に伴い、諸物価が上がりと、世の中が旅行どころではないというのが実情である。旅行業界は、当分の間、不況業種からの脱却はできないだろう。
	×	タクシー運転手	・ロシアのウクライナ侵攻と、新型コロナウイルスオミクロン株の亜種がまた発生したようで、経済の先行きが見通せないため、悪いまま推移する（東京都）。
	×	タクシー運転手	・現状では先が全く読めない。良くなるのか、今まで以上に悪くなるのか、不安で仕方がない。利用のありそうな場所で待機をして、無線を取るだけである。客の動きが読めない。
	×	通信会社（管理担当）	・国際的な政情不安定化の影響による値上げの懸念から、買い控えが予想される。
	×	ゴルフ場（経営者）	・エネルギーショック、輸入食材の高騰といった問題がより顕在化して、景気の悪化を加速させる。
	×	ゴルフ場（従業員）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響がある。さらに、物価の上昇や原油価格の高騰が大きな影響を及ぼす。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・原油、素材価格の高騰、輸入品を中心とした物流の混乱、ウクライナ情勢、新型コロナウイルスオミクロン株の動向など、景気回復に冷や水を浴びせる事象が山積しているなかで、資材の先行調達や要員確保など、BCPを強く意識した運営が求められている。資金繰りに影響を及ぼすケースも聞き及んでいる。
	×	その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行による営業活動の低下が2～3か月後の売上に非常に大きく響く業界なので、将来の展望はマイナスのイメージしかない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連 (南関東)		食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたときは一時的に急回復したので、まん延防止等重点措置が解除されれば良くなるのではないかと（東京都）。
		その他サービス業〔ディスプレイ〕（経営者）	・ウィズコロナで経済を止めない動きが加速し始めているようである（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・新型コロナウイルス禍ではあるが、引き合い案件が増えてきており、売上も上向きである。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・4月は今よりは受注量が増える見込みがある（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・まん延防止等重点措置の解除に向けた引き合いと、年度末案件が多数動いているので、期待したい。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・今月は会社設立印の注文が特需も含めて6本あった。このところ月2～3本が平均になってきているが、法人関係が少し上向いてきている。また、ほとんどが店頭受けだが、個人からの注文も、印鑑リフォームを含めて、単価は安いものの少しずつ本数が増えてきている（東京都）。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車業界の若干の持ち直しと、電機業界の新規受注の増加による。
		通信業（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着けば良くなる（東京都）。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数の急増で苦戦を強いられるなか、小売業やサービス業の一部事業者では、短い営業時間の中でも集客力を上げ、売上につなげようと奮闘する動きがみられる。ただし、天候不順や原油価格の高騰を背景に、長引く仕入価格の上昇が大きな課題となっており、販売価格に転嫁できていない取引先が多いのが現状である（東京都）。
		金融業（役員）	・飽くまでも新型コロナウイルスの感染状況によるが、現状よりは好転する。
		不動産業（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の収束に伴い、ホテル利用が増えてくるのが想定される（東京都）。
		広告代理店（従業員）	・ロシアのウクライナ侵攻が日本経済に与える影響が懸念されるものの、新型コロナウイルス感染第6波が緩やかに収束に向かい、少なくとも今よりは改善されるものと期待している（東京都）。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・ここ数か月はこのまま推移していく。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。新しいことをしても客はなかなか来てくれず、成果が見えない。
		化学工業（従業員）	・売上は変わらないにもかかわらず、輸送費が増加している。この傾向は今後も変わらない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・本来なら景気は良くなるかもしれないが、現状では世界情勢がどうなるか全く見えないので、基本的にはそう大きな変化はない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・明るい見通しが余りないなか、医療品容器の新企画が動き始めれば利益回復に期待が持てるが、現時点では確実性はない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・安くて性能の良いものを作れば販売は伸びるが、一朝一夕にはいかないのが悩みである（東京都）。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・2年間にわたる新型コロナウイルス禍のなかでやり抜いてきたことなので、この先もこのままの状況が続いてくれるのではないかと。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・原材料価格の高騰が続き、粗利率の低下傾向が継続している（東京都）。
	建設業（従業員）	・新年度を迎えてからの状況がよく見えない。	
	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況、ウクライナ情勢、原油高で先が見えない。現総理のリーダーシップがまだ見えない（東京都）。	
	輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量が低迷していることと、輸用量がない。今後も現状が続く予想である。	
	通信業（広報担当）	・半導体不足の影響もあり、当面は現状が続く（東京都）。	
	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数増加が景気に及ぼす悪影響は計り知れない。政府が3回目のワクチン接種の拡大に向け、今まで以上に努力をしないと、景気後退を阻止することはできない。とにかく政府は感染防止に努めるべきである。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		税理士	・米中の景気によるが、国内景気も新型コロナウイルスの影響によって大分変わってきており、中小企業は相変わらず軒並み悪い。飲食業、宿泊業、交通機関なども悪く、大分悪いままで変わらずにいく（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因がまだ見当たらない（東京都）。
		税理士	・現在の新型コロナウイルス対策のままでは同じことの繰り返しだが、3回目のワクチン接種の進展で一時的でも良い方向に動いてほしい。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・世界情勢の急激な変化で、取引先がどのように動くか予測がつかない。また、新型コロナウイルスの感染者数も高止まりの様子なので、急に好転するとは思えない（東京都）。
		化学工業（総務担当）	・ウクライナ情勢の影響で原材料費の更なる高騰が予測される。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・エネルギー、資源価格が高騰している。物価が上昇する可能性があり、消費活動にも大きな影響が出ることが予想される。景気は低迷するとみている。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の長期化で生じている受注量の減少と、歯止めの掛からない燃料価格の高騰が2～3か月先に改善するとは思えず、更なる悪化が予想される（東京都）。
		金融業（総務担当）	・まだ新型コロナウイルス感染者数が増加する予想があり、消費は落ち込んだままで、景気への影響が続く。ガソリン価格の高騰も、あらゆる業種で影響が顕著に出てくる。半導体部品調達のめどが立たないと、景気は戻ってこない（東京都）。
		不動産業（経営者）	・当社もやや減少傾向である。人の動きが鈍く、仕事ができない。必要最小限に動く時代である（東京都）。
		不動産業（経営者）	・長引く新型コロナウイルス感染、地政学リスクの発生、原油、原材料、食品などの値上がりに加えて人件費の負担増で、各テナントより我慢の限界との声が多く聞かれ、空室が増えたと見込んでいる。
		不動産業（総務担当）	・春を迎え、マインドが明るくなるところでロシアのウクライナ侵攻が発生し、水を差された感がある。相変わらず新型コロナウイルス感染者数も高止まりしており、この先2～3か月は景気も停滞する（東京都）。
		広告代理店（経営者）	・物価指数から、やや悪くなる（東京都）。
		広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、春先のイベント案件の中止が増えてきている。
		広告代理店（営業担当）	・ウクライナ情勢が少なからず影響してくることと、欧米諸国に比べて新型コロナウイルス禍からの復帰が遅れている（東京都）。
		経営コンサルタント	・ロシアのウクライナ侵攻による情勢変化が影響しそうである。
		経営コンサルタント	・様々な輸入品の価格上昇、品薄などが、中小企業に周辺からじわじわと悪影響を与えている（東京都）。
	×	精密機械器具製造業（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻により世界経済が混とんとし、原油、資源高などの要因が非常に大きく、先が全く読めない。2か月先までの受注をもらっているもので、そこまでは変わらない。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス禍において政府の経済対策が全然機能していない。対策自体が講じられていないので、景気が良くなるとは思えない。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスに加えロシアのウクライナ侵攻の影響もあり、安定しなさそうである。
	×	建設業（経営者）	・材料単価がどんどん上がり、予算超過で見送る発注者が増えてきている。
	×	建設業（営業担当）	・新型コロナウイルスによる影響も改善の見込みが少ない上に、海外での戦禍を考えると、生産物流の改善は見込めない。品不足、価格高騰による案件減少で悪化することが予想される。
	×	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響に加えて、ロシアのウクライナ侵攻の影響による燃料、原材料費など各種物資の値上げが予想され、利益並びに受注量の減少も招き、更に状況が悪化する。
	×	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻により、株価の下落や諸物価の値上がりが懸念される。この影響により買い控えや投資抑制が出てくる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社(営業担当)	・クライアントの来期見通しも増員予定である(東京都)。
		人材派遣会社(社員)	・ウクライナ情勢など不安定な面があるものの、新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種が進めば、更に景気回復が進むのではないかと予想している(東京都)。
		人材派遣会社(社員)	・求人数は年計表ベースで2021年8月から上昇トレンドを続けており、回復が顕著になっている。ただし、派遣登録者の募集に苦慮している現状もあるため、緩やかな回復が続いていくと予想している(東京都)。
		人材派遣会社(経理担当)	・今年も新型コロナウイルス禍は相変わらずだが、同じように推移している。新型コロナウイルス発生前の状態に戻るまで、現状と同じ傾向で微増が続く(東京都)。
		人材派遣会社(営業担当)	・まん延防止等重点措置により、企業の採用意欲と求職者の就職意欲が低下しているため、今後の経済活動の回復傾向によって大きく変動がある。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や飲み薬の普及によって感染者数が減少し、経済が活性化する。
		職業安定所(職員)	・企業の採用意欲は旺盛である。特に、飲食業は新型コロナウイルスの影響下であっても事業再開、新規出店の動きが出ている(東京都)。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルスの影響で、良くなったり悪くなったりを繰り返し、結果的に変わらない(東京都)。
		人材派遣会社(社員)	・春先にはまん延防止等重点措置が解除される前提で、そこから生産活動が本格化すると思われるが、現時点では動きが見えない。
		人材派遣会社(支店長)	・ITリテラシーが高い営業、人事、マーケティング、品質管理など専門的知識や経験がある人材はどこでも不足しており、ニーズがある。依頼は堅調だが、スキルの見合う求職者は不足しており、成約しにくい(東京都)。
		人材派遣会社(営業担当)	・ロシアのウクライナ侵攻の影響は少なからずあると思うが、自動車のEV化の流れは継続が見込まれるため、すぐに景気後退とはならないとみている。
		求人情報製作会社(経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況が3回目のワクチン接種、治療薬の承認など新たなステージとなり、景気が上向きになると誰もが思っているなか、ロシアのウクライナ侵攻の影響が不安材料として新たに発生しており、株価や外貨の状況に不安を持つ事業者が雇用などにも慎重になるかもしれない(東京都)。
		求人情報誌制作会社(営業)	・景気ももっと上向いてこないと求人数も伸びてこない。前年比ではやや上向きだが、2~3か月前と比べると横ばいで、2~3か月後もそこまで変わらないとみている。会社の中でも新型コロナウイルスに感染してしまうと、業務がストップしてしまうなど、なかなか進まなくなってしまう。いかに新型コロナウイルスとうまく付き合っていくかも重要になる。
		求人情報誌制作会社(広報担当)	・これ以上新型コロナウイルス禍がひどくなったり、ロシアのウクライナ侵攻等による日本への影響が大きくなったりしない限り、現状の景気が続くのではないかと(東京都)。
		職業安定所(職員)	・有効求人数が前月比1.8%増加し、3か月連続して今年度で最も多い数値となっている。前年比では9.2%の増加であり、2か月連続して前年同月を上回っている。しかし、前々年同月と比較すると18.2%減である。
		民間職業紹介機関(経営者)	・新型コロナウイルスオミクロン株の亜種を警戒して、学生の動きも早いのが、企業の対応は慎重にならざるを得ないようである。接触はできるだけ多くしたいが、内定出しは様子見とみられる(東京都)。
	民間職業紹介機関(経営者)	・新型コロナウイルス禍が長引いており、特に海外案件は決まりにくい状況が続いている。先の見通しがなかなか付きにくい(東京都)。	
	学校[大学](就職担当)	・しばらく現状のまま変わらない(東京都)。	
	人材派遣会社(社員)	・雇用意欲は下がっていないので、人材の共有さえ可能であれば売上は作れる。しかし、肝心の人材を確保することも教育することもままならない(東京都)。	
	求人情報誌制作会社(所長)	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いてきているが、材料が届かないなど問題がまだまだあり、仕事量が減っているようである。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大懸念に加え、世界情勢の不安定化による資源や穀物価格の高騰が経済失速の可能性を高めており、見通しは厳しい。
	x	*	*

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (甲信越)		商店街（代表者）	・3月になると、高校の新入学生の指定運動服等の注文が入る。今の景気は悪いが子供のためには用意をするという感じで毎年やっているの、今年も学校販売の商材については落ちようがなく、良くなると思うので期待している。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大も高止まりではあるが、クラスター中心の感染であることや3回目のワクチン接種も進み、年度末でもあるため、今後は景気回復が期待される。
		都市型ホテル（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大第6波が終わり、全国のまん延防止等重点措置が解除されれば、良くなる。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・親戚の手前や世間体を考えて、借金をしてまで葬式をやらなくても良いのではないかと考える人が多くなってきたように感じている。
		百貨店（店長）	・現在新型コロナウイルスオミクロン株の新規陽性者数が大量に出ており、来客数が激減している。前年と違うのは、そのような状況でも、催事を始め通常営業していることである。新型コロナウイルスさえ収まってくれば、売上も戻ってくるのではないかと。ただし、全ては感染状況次第なので、今後2～3か月先に感染が落ち着いているという前提での回答でしかない。
		スーパー（経営者）	・イベントの予約も前年より多いように感じている。1月10日～2月20日までは単発の仕事もなく、困っていたが、少しずつ良くなるような気がする。しかし、当店は4月決算なので、今後のことを考え、事業形態を変えるか思案中である。具体的にはスーパーからコンビニにしようかと思っ、2つの大手コンビニの方と面談予定である。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が多少は落ち着くと思うので、人の動きが出て、朝から出かけるとかクラブ活動の朝練や試合も始まると思うので、少しは上向くのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・この先はクラスターも収束し、来客数も落ち着いてくるとみている。現在はまん延防止等重点措置期間中だが、解除されれば人流も増えるのではないかと。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルス禍は終わるのだろうか。終わったとして外で酒を飲む人が戻ってくるのだろうか。ちょっと未来が見えない。
		観光型旅館（経営者）	・来客の動きは、現在が底だとみている。3月6日には当県のまん延防止等重点措置期間も終了すると予想され、これから春休みになり暖かくなると、県内限定だと思われるが、現状よりは動きが出てくるのではないかと。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス禍で今月が最も悪い影響を受けている。これ以上は悪くならないというほど、日々の来客数が減少し、また、テイクアウト商材も以前ほど受注できなかったため、この先は良くなるだろうという期待感だけである。実際は、予約の動きもなく、現状と変わらなければ全てキャンセルになると思われる。3回目のワクチン接種の影響も、余り好転要因ではないので、結局、新規感染者数が減少しないことには変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・2月は過去最低の売上、来客数となっている。これ以上悪くならないと思わないし、悪くなったら困る。3月6日以降にまん延防止等重点措置が解除になれば、徐々に動きが出てくる。最近では、先の予約や宴会予約等の引き合いも来始めている。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種が進みつつある。感染状況も減少傾向に転じてきている。当観光地も旅行会社のツアー予約が復活してきている。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波が落ち着いてきて、まん延防止等重点措置も解除になり、陽気も暖かくなるので、客の動きが良くなることを期待している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなるかによる。収束に向かえばよいが、現状では何ともいえないので、それほど変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・もう3月なのに、春夏物の注文予約が全くなく、良くなるとは思えない。
		家電量販店（店長）	・今後の世界情勢で、経済がどのように変化するか見通しが立たない。
		乗用車販売店（経営者）	・半導体不足による新車供給遅延が長引いており、しばらくは新車や中古車販売への影響が続くとみている。
		自動車備品販売店（従業員）	・いまだ半導体不足等の影響による商材不足が継続しており、なかなか景気は上向かない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況で、どうなるか全く分からない。時短等の協力要請も緩和に向かう兆しがあるので、多少でも上向きになってもらいたい。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減りつつあるが、新たに感染力の強い変異株が発見され、第7波も懸念され始めている。予断を許さない状況がしばらく続く。
		スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、これ以上悪くならないよう変わらないでほしいという意味である。本当に困っている。
		旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況によるが、収束の見通しが見えた前提なら、人流が活発になり消費拡大につながる。しかし、欧州情勢の悪化によるエネルギー関連価格の値上げ、一般食料品の値上げ等による景気悪化が懸念され、良くなる見通しはなく、先行きに対する不安感が先立っている。
		タクシー運転手	・11～12月は段々良くなってきて、前年比を上回っていたが、2月になってからは、80%を少し超える位である。新型コロナウイルスの感染状況によってはこの先もっと悪くなるか、このまま行くのか、先行きは分からない。
		通信会社（経営者）	・物価上昇と不安定な経済状況が続けば、保留や解約の増加に加え、新規加入にも大きな打撃となりそうである。
		通信会社（社員）	・今のところ、上向きになる材料が少ない。新しいチャネルが出てこない大きな動きにはつながらない。
		設計事務所（経営者）	・実施設計を行って請求できる物件が、ほとんどない。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、二拠点居住や地方移住の動きに大きな変化が見られない。
		商店街（代表者）	・明るい材料が見当たらない。
		商店街（代表者）	・地元名刹の大きな祭礼や御開帳といったビッグイベントを控えているが、前年の新型コロナウイルスの感染周期を振り返ると、大きな期待はできない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・いろいろな物の値上げを耳にして、買い急ぐのか我慢するのか、消費者の動向が読み取れない。そうしたなかで家電製品等、半耐久消費財の動きは少なく、厳しい状況になる。いずれにしても物価が上がり給料が上がらなければ、商材の動きは悪くなりそうである。
		一般小売店〔薬〕（経営者）	・物価の上昇、国内外の情勢の変化、新型コロナウイルスオミクロン株の収束の低迷により、やや悪くなる。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種が進み、飲み薬等の流通で、感染が落ち着けば、内食はマイナスとなる。
		スーパー（店長）	・様々な商材の物価上昇、新型コロナウイルスの感染状況の高止まり、ロシアとウクライナの戦争等が起因して、やや悪くなる。
		スーパー（副店長）	・今の新型コロナウイルスの状況やロシアのウクライナ侵攻等、世界情勢からみても、景気が良くなる理由が見つからない。早く平和な世界に戻ることを期待する。
		コンビニ（経営者）	・相変わらず、客足は鈍っているように見える。特に、夜の来客数が減っていて、店員も1人で店にいる感じである。戦争も始まり、3月から物価も上がるので、当然、生活が圧迫されて、悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・ロシア情勢次第で、やや悪くなる。
		コンビニ（店長）	・ここにきて、戦争のような形で世界情勢が悪くなってきている。こうした影響から値上げ等もかなり出てきそうな雰囲気になっているし、新型コロナウイルスにも新たな変異株が出てきて、これからどうなっていくのか不安がある。大きく悪くなることは多分ないだろうが、若干は悪くなるのではないかと。
	x	コンビニ（エリア担当）	・ウクライナ侵攻に伴う物価上昇が気になる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	その他専門店〔酒〕 (店長)	・原油も高くなっている。新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ問題、原油価格高騰等が複雑に絡み合っているため、反動増が起きているかもしれないが、それは一時的な可能性もある。どちらになるか両方をにらみながら、営業はどんな対応ができるかと考えている。ただ、考えても難しい外的要因に縛られているので、3か月以内での回復は厳しいだろう。
	x	ゴルフ場(経営者)	・新型コロナウイルス感染対策、財政政策、外交安全保障政策等、どれもはっきりしないので、希望が持てない。
	x	その他レジャー施設 〔ボウリング場〕(経営者)	・新型コロナウイルス感染拡大第6波が収束へ向かい、ワクチンの3回目接種が進まないと、厳しい状況からは抜け出せない。感染者が減ったとしても、しっかりとした感染対策を取らないと、第6波の二の舞になる。
企業 動向 関連 (甲信越)		*	*
		建設業(経営者)	・季節的要因もあるが、新年度になるので、新型コロナウイルス新規感染者の減少を期待している。
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	・依然として、新型コロナウイルスの収束が見えず、ワークショップの予約はない。リモート講座も展開しているものの、こちらの予約もない。既に経営状態に限界が来ており、何とか復活を視野に、支援金や補助金等に頼らざるを得ない状態である。
		電気機械器具製造業 (営業担当)	・新規受注が減少している。
		金融業(調査担当)	・製造業は半導体不足の影響や新たな地政学リスクによる原材料価格への影響に対する懸念がある一方、非製造業は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、名刺の御開帳や数年に1度の大型祭礼など、観光関連の需要増加が期待される。
		出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	・資材の値上げ等によって、売上が落ちるのかと感じている。紙代の値上げが3月位にありそうだと聞いている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・春の新生活需要が落ち着き、販売量は減少見込みである。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・電子部品の入荷について、今も年単位の物がある。材料価格の高騰もあり、先行きが見込めない。
		その他製造業〔宝石・ 貴金属〕(経営者)	・前年末から1月まで好調であったこともあり、今後に向かって商材作りを進めていかなければならない。ただし、地金だけでなく、ダイヤモンドや素材の宝石価格も大幅に上昇しており、製品づくりが大変難しくなっている。新型コロナウイルスの影響は催事売上に、国際情勢は商材づくりに大きく響くので、両方とも解決しない現状では、先行きは不透明である。
		新聞販売店〔広告〕 (総務担当)	・ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の不安から、燃料や金融を中心に影響が出てくるとみている。新型コロナウイルスの感染状況も、現在よりは良くなると予想するが、まだ完全に収束はしないだろう。
	x	食料品製造業(製造担当)	・商材の値上げを含め、規格変更等の話も進めているが、相手がある話なので、すぐには価格を上げられない。価格を上げれば、上げたことで一層売上が落ちる。ただ値上げをしなければ、追い込まれる一方なので、対応が非常に難しい。
	x	食料品製造業(営業統括)	・新型コロナウイルス禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻という地政学上の問題が生じた影響で、石油価格高騰に起因する諸物価の更なる高騰等、経済に与える影響が多く、今後、苦境に追い込まれる。
	x	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・毎月の資金繰りが大変である。
	x	金融業(経営企画担当)	・ウクライナ情勢等により、今後どのような影響が出るか分からない。特に、原油価格は既に高騰しており、先を見通すことができない。
雇用 関連 (甲信越)		-	-
		人材派遣会社(営業担当)	・金曜日や週末に駅前の百貨店をのぞくと貸切状態である。買物客がいない。
		職業安定所(職員)	・以前の感染拡大時と比べて影響は大きくないと思われるが、新型コロナウイルス感染第6波の続く状況では好転は難しい。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染が終息しないので、見通しが立たない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	職業安定所（職員）	・国際情勢が不安定であり、今後は中国の台湾侵攻も懸念される。

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		百貨店（業績管理担当）	・前回の緊急事態宣言明けには売上が大きく改善しており、今回も新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、売上は回復すると考えている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株も弱毒化しているので、世界の動向と同じように3月には収束に向かうと思うが、ウクライナ情勢で原油が値上がりし、取引先メーカーも4月から一斉に20%以上の値上げをする。このような値上げが続くと景気に水を差す。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスも落ち着いてきたので景気は上向くと思う。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響も多少は弱くなると思われる。
		百貨店（営業担当）	・3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、まん延防止等重点措置が解除されれば、消費者のマインドも変わり来客数も戻り始めると予想する。
		百貨店（計画担当）	・一定の周期で新型コロナウイルスの感染拡大と収束が続く流れがしばらく続き、それに合わせて来客数の増減が続くと考える。
		スーパー（経営者）	・まん延防止等重点措置が再度延長される可能性が大きく、不透明だが期待したい。
		コンビニ（企画担当）	・新規感染者数はピークを過ぎつつあり、今後3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいくと、人の動きは更に活発になると予想される。これに伴って徐々に売上も増加傾向に転じると思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、第6波が沈静化してくれば人流の回復があると思う。
		コンビニ（店長）	・人材確保が問題なくクリアできれば、予定している販促計画も万全に行える。
		コンビニ（商品企画担当）	・第6波のピークアウトによる客足の戻りによって、ある程度の回復は見込まれる。
		コンビニ（店員）	・暖かくなり、外へ出掛ける人が増えると思う。
		コンビニ（本部管理担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数のピークアウトが示唆されており、今後に向けては再び経済活動が平常を取り戻すと想定する。今後は、小売業界の景気に関して良好な未来があると思料する。
		乗用車販売店（経営者）	・多少は改善することを望みたい。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株も小康状態に入り、先々の新築、リフォーム物件の引き合いが多くなってきている。また、住宅、商業施設やオフィスビルなどの新築や入退去時の問合せも出てきている。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されることで、卒業、入学、入社の新生活を迎えるに当たり、経済の再起動を期待する。
		一般レストラン（経営者）	・来月にはまん延防止等重点措置が終了し、これ以上延長されることはないと思う。その分人流が増えると思う。
		一般レストラン（従業員）	・まん延防止等重点措置が解除されれば客が戻ってくることを祈っている。
		バー（経営者）	・新型コロナウイルス次第である。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況がピークを過ぎ、新型コロナウイルスのワクチン接種が更に進みこれ以上感染が拡大しないとなれば、景気は戻ってくると思う。観光需要喚起策がスタートすれば、今よりは需要が回復して景気がやや良くなることは考えられる。
	都市型ホテル（従業員）	・就職、転職、研修など、この時期特有の予約がそれなりに入っている。	
	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束して経済の動きが良くなる。	
	都市型ホテル（総支配人）	・まん延防止等重点措置さえ解除されれば、企業も個人も動くので、政府の基本方針見直しを期待する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に収束が感じられるならば、良くなると思いたい。
		旅行代理店（営業担当）	・春以降にバス1台程度の団体旅行を数件受注しているので、今後の感染動向によっては多少期待ができる。
		ゴルフ場（支配人）	・2か月先の4月の入場者予約数は、各ゴルフ場共に好調であった前年より順調に推移している。特に悪かった今月よりは、景気は良くなると思う。
		商店街（代表者）	・ここ2～3か月が底に近い状況なので、これ以上変わりようがない。客単価が上がらないと売上につながらないので頭が痛い。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・全てウクライナ問題が安定的に解決されなければ分からない。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・新型コロナウイルス次第で当店の景気も上下するので、恐らくもうしばらくはこのままだと思う。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・先に明かりがみえない。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・2～3か月先も新型コロナウイルスの感染状況は変わっていないと考えるため、経済活動もそのまま自粛していると思う。特にギフト業界では、客の付き合いが極端に狭くなって会わないようにしているため、その影響が顕著に表れて今の状態が続く。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されても飲食店での飲酒は控えられ、以前のような販売量に戻ることは当面考えられない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・まん延防止等重点措置の延長が続く重症化する新型コロナウイルス感染者も多いと、やはり買物に出てこない。もうしばらくこのような様子かと思われる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・正直なところ分からない。新型コロナウイルス次第である。政府が新型コロナウイルスを5類感染症にしてくれたら、全ては終わる。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・まん延防止等重点措置も長引き、人々の購買意欲もすっかり停滞してしまっているように感じる。
		百貨店（売場主任）	・靴の問合せの電話がここ2～3か月多くなった。インターネット検索で取扱店舗と出てくると問合せの電話があるが、専門店ではないのでそのブランド品が用意できるかどうか分からないと答えると、お礼を言って電話を切る人が多い。商品が確実にあるかどうか確認してからの来店が多くなったと感じる。靴は試着してみないと分からないので履くだけの客も多くなり、売上は厳しい状況が続いている。
		百貨店（経理担当）	・地政学リスクが依然くすぶっていると考えられるほか、資源の価格高騰に伴う値上げが個人消費の減退をもたらすことで、景気はコロナ禍の現在と変わらず悪化した状態が続くと考える。
		百貨店（販売促進担当）	・すぐには新型コロナウイルスの感染状況が改善せず自粛が継続するため、景気回復まではいかないと予測する。
		百貨店（販売担当）	・新規感染者数のピークが過ぎれば客足は徐々に戻ってくると思うが、状況が読めないため判断が難しい。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が毎日4000人を超えており、いつ収まるか分からない状態では、2～3か月先ではまだまだ変わらないと思う。
		スーパー（販売担当）	・先行きの良くなる材料が今のところ考えられないので、余り良い方向にはいかないと思う。
		スーパー（販売担当）	・自粛が解除されれば外食へ流れる。解除されなければ内食へ向かう。新型コロナウイルス次第である。
		スーパー（総務）	・当地の新型コロナウイルス新規感染者数は高い数値となっているため、外出控えがある。客のまとめ買いが目立っているため、今の状況が続くと思う。
		コンビニ（エリア担当）	・春先には新型コロナウイルスの影響も落ち着き、少しずつ回復に向かうかと考えていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が収まらないことから、春先もすぐには回復しないと思う。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染症は収束に向かうと思うが、アフターコロナの景気は良くなると思う。
		コンビニ（店長）	・まん延防止のための自粛と回復を繰り返しているだけと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（商品開発担当）	・まん延防止等重点措置の解除後に上向くと期待したいが、ガス、水道、電気料金やガソリン価格の高騰、生活にまつわる商品の価格上昇で消費者には厳しい状況である。しばらくは様子見の様相と考える。
		衣料品専門店（経営者）	・3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種が終わり、暖かい日が続けば、外出をしてくれると期待している。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・戦争で原油高、インフレとなったらファッション品は買い控えられる。リベンジ消費がなかなか起きない。
		衣料品専門店（売場担当）	・現在の消費動向が当たり前のようになっているだけでなく、景気回復の兆しそのものが全くみえない。
		家電量販店（営業担当）	・所得の改善がみられないなかでの物価の上昇から、変わらないと判断する。
		乗用車販売店（経営者）	・業種を問わずに客全体の状況が戻ってこない、販売量の回復は見込めない。
		乗用車販売店（従業員）	・身近なところで生活に必要な品物の価格が大きく上がってきたと客との会話のなかでよく耳にする。段々と生活防衛のため、今すぐに必要とは考えない出費は後に回されるように感じる。客の財布のひもはますます固くなるのではないかと心配する。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車の販売も好調で、販売台数は納期が掛かることもあり前倒して推移している。中古車が高額で取引されるので、新車を3年未満で乗り換える客も増えている。
		乗用車販売店（従業員）	・悲観も楽観もしていない。悪くなる要素もなければこれから良くなっていく具体的な感覚もない。今月は良かったので現状程度ならば上等である。
		乗用車販売店（販売担当）	・今後も半導体不足により車の在庫不足がまだ加速していくと思われ、販売量も伸び悩みが見込まれる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上は前々年比マイナス9.0%、前年比はプラス2.0%である。来客数は前々年比マイナス16.7%、前年比マイナス0.2%である。
		高級レストラン（経営企画）	・まん延防止等重点措置が解除されることとともに新規感染者数の減少が明らかにならないと、来客数の急激な増加は期待できない。本来、歓送迎会や年度替わりの宴会等で繁忙期のはずだが、12月と同様に1組当たりの人数減少や延期などが予想される。
		一般レストラン（経営者）	・3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、足元の状況よりは良くなるように願う。ロシアによるウクライナ侵略の影響で、原材料の価格や電気、ガスなどの料金の高騰も気になる。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルス次第である。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染が収束するかどうかに懸かっている。
		一般レストラン（従業員）	・外食は控えているが、宅配が増えてきているので景気はそれほど変わらない。
		観光型ホテル（支配人）	・まん延防止等重点措置は解除されて新規感染者数もピークを過ぎているかもしれないが、絶対数がこれほど多い状況では、企業はもとより個人客もそうたやすく外には出られないと思われる。新年度以降も受注状況は宿泊で40%、一般宴会で20%未満にとどまっている。回復の兆しは全くみえない。
		都市型ホテル（営業担当）	・悪化した状態が当面続くと思われる。客の予約も減少している。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況がすぐには落ち着かないと思う。感染が落ち着いた状況になれば、客もできる限り旅行には行きたいと話している。3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や新型コロナウイルスがインフルエンザと同程度の感染症の扱いになれば、少し落ち着いて旅行に出掛けられると思う。しかし、日本人の海外旅行はいまだに不可で、ビジネス往来の隔離は3月から緩和されるのになぜ駄目なのだろうか。一部の国とのレジャー往来が、ゴールデンウィーク若しくは夏休みには解除されることを大いに期待したい。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は他国では規制緩和が進みつつあるが、国内は3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れもあり消費の回復は遅れている。移動に伴う消費が低迷しているので、規制が緩和されない限り回復は難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株や新しい新型コロナウイルス変異株の状況次第である。まん延防止等重点措置が更に延長になるようで、収束後の施策が打てずにいる状況では、旅行業界の景気が上向きになることはない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響は徐々に収まってくると思うが、原油高、半導体不足に加え、世界情勢不安から、まだしばらくこの状況が続くと思う。
		通信会社（営業担当）	・3か月前と比べたら客が動かない。この先すぐに回復するとは思えない。
		通信会社（営業担当）	・当面今の状態が続くと思う。
		テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況で左右される。
		レジャーランド（職員）	・まん延防止等重点措置の延長の有無で大きく異なるが、万が一ゴールデンウィーク明けまで延長になると、非常に危機的な状況になる。
		テーマパーク職員（総務担当）	・職場内でも濃厚接触者が出るようになったことで、コロナ禍が今までよりも日常化している。3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで新規感染者数は減少していくが、また新しい新型コロナウイルス変異株の出現で、きりが無いように感じている。
		その他レジャー施設 [鉄道会社]（職員）	・新型コロナウイルスへの警戒感が解けるまでは、同様の状況が続くであろう。
		美容室（経営者）	・まだまだ先が見えないので、当分今の状態が続くと思う。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと、今後の景気は何ともいえない。
		住宅販売会社（従業員）	・まだもう少し掛かると思う。緩やかに上向きであろうか。
		その他住宅[不動産賃貸及び売買]（営業）	・3か月後には繁忙期も終わるので、まん延防止等重点措置がこのまま延長すると、景気回復の見通しを立てることは難しい。
		一般小売店[書店]（営業担当）	・期初は動きが鈍い。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数は減少傾向にあるものの、ロシアのウクライナ侵攻など消費マインドを間接的に冷やす情報もある。暖かさもまだ感じられず春物衣料の動きも鈍く、売上回復にはまだ時間を要すると想定される。
		百貨店（企画担当）	・ここ数か月、食品、インテリア関係、高額品を除くファッション関連商品の売上は厳しい状況が続いているが、1月以降は特に衣料品の動きが悪い。今後、国際情勢の影響によって富裕層の購買意欲も減退する可能性が高いと感じている。
		スーパー（店長）	・景気が良くなるような要因が少ない。
		スーパー（店長）	・ロシア情勢により物不足が進み、更に物価が上がり消費が落ち込む可能性がある。
		スーパー（店員）	・今後も原材料や燃料費の高騰により、値上げが予定されている。
		スーパー（営業企画）	・ウクライナ情勢により燃料価格の高騰は避けられないなかで、消費はより堅調になると思われる。
		コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置が継続中で、新規感染者数も高止まりしており、新型コロナウイルスの感染がいつ終息するのか見込めない。
		衣料品専門店（店長）	・労働者にとっての必需品をベースとして売上があるので、今後良くなる要素は余り感じられない。コロナ禍からの復興により経済のエンジンが大きく動かないと、ギリ貧状態が続く。
		衣料品専門店（売場担当）	・卒業式、入学式、新入社員向けの2～3月の時期が最も忙しく、2～3か月先はかなり落ち着いて暇になってくる。
		家電量販店（店員）	・新生活需要が始まっているが、今年は皆予算が低めに感じる。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・今まで巣籠り需要の恩恵で悪いなりに何とか売上は立っていたがそれも終わり、プレミアム付商品券や給付金もないため前年超えは難しそうである。参議院選挙目当てのばらまき政策で潤うのも未来の増税や業種による不公平感があり、期待したくない。
		乗用車販売店（営業担当）	・第6波では新型コロナウイルス感染が身近に感じられ、感染者や濃厚接触者になる客が多く、来店を取りやめるケースが多くあり、新車販売だけでなく整備の来客も減ったと感じる。そこにロシアのウクライナ侵攻があり、株価下落にエネルギー価格上昇と、景気を悪くする要因になる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（経営者）	・インフレ懸念にウクライナ問題も加わり消費者が将来に悲観的になって、購買行動を控える可能性がある。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格が高止まりしているとハイブリッド車などの注文が増えるが、その車種を中心に生産制限が続く上に新型車の発売も続々と延期になっていて、客から落胆の声を聞くのが大変つらい。売上がじりじりと下がってきており、厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・新車の販売に当たって、車ができてこないで先食いをしているケースがあり、これが頭打ちになっている感じがある。中古車の査定金額も等しく頭打ちになってきた。そうなると、動向としては今後販売量も減ってくるのではないかと思う。
		乗用車販売店（営業担当）	・半導体不足からの生産遅延が続いているなか、北京オリンピックが終わり、雰囲気落ち着いたところに欧州情勢が不安定になって、欧州からの輸入商品を扱っている身としてはこの先不安しかない。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてくればレジャー等に流れると思うので、集客が見込めない。春には近隣に競合店になりそうな大型店がオープンするので、チラシやイベント等を企画して対策を講じるが影響はあると見込まれ、少し売上が減少するのではないかと心配している。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・ロシアの問題と新型コロナウイルスで先の見通しが悪い。心理的に消費は伸びない。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・これまで補助金等で倒産を免れていた取引先が、規模の縮小や倒産を考えるようになってきた。
		テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染症の終息がみえない。
		観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスの先行きは全国民の関心事だと思う。さらに、ウクライナの問題が出てきて、果たして日本がこれからどうなるかよく分からない。
		理美容室（経営者）	・景気が良くなりそうなことが何も無いため、段々と悪くなると思う。
		美顔美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないため、来店を控える客がいる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況によって、変わっていく。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・調達コストの上昇が続いている。その影響が4月頃から出てくると予測している。
		設計事務所（経営者）	・種まき案件が現時点でほぼ皆無なので、2～3か月先の景気は悪くなるのは必至である。
		設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株が終息しても、しばらくは景気が上がらないと思う。
		住宅販売会社（従業員）	・ロシアの件が世界に及ぼす影響で、経済状況が悪くなる。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がピークアウトせず第6波から第7波へとこの状況が続くと、これからどうなるか心配である。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・現在が飽和状態のため、年度が替わって落ち着いてくると思う。
	×	商店街（代表者）	・物価高といつまでも分からないコロナ禍での生活で、高齢者世帯の購買意欲がなくなってきていると感じる。
	×	商店街（代表者）	・戦争が始まってしまったことにより世界的にエネルギー価格の上昇が見込まれるため、物価が相当上がってしまうと思う。食料品や日用品以外の販売は厳しい状況が続くだろう。
	×	スーパー（店員）	・卸売市場に仕入れに行くと仲買人からは来週から高くなるという言葉ばかりで、オレンジやレモンなどの輸入果物だけでなく、白菜やキャベツなども高値が続くと予想される。世界情勢も絡んで大豆や油なども影響が避けられない状況で、かなり厳しいとみている。
	×	コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置の延長で、景況感の改善が見通せない。ロシアのウクライナ侵攻により、仕入価格への影響や輸送費にも影響がありそうである。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスでただでさえ大ダメージのところロシアの問題が始まったので、どう考えても最悪のところまでいくのではないかと思う。
	×	一般レストラン（経営者）	・ウクライナ紛争における世界経済と国内経済への不安が、これからますます大きくなると思う。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	旅行代理店（経営者）	・全く先が見通せない状況である。新型コロナウイルスの感染が収まるしか解決がないと考える。
	×	タクシー運転手	・ロシアのウクライナへの侵攻が始まり、株価の下落、ガソリン価格の急騰など先行きの見通しが立たないほど心配している。早く話し合いができて終息することを願っている。この状態が続けば、景気はなかなか良くならないと思っている。
	×	パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響で業界全体が収縮し、監督官庁の規制強化も重なり企業努力を超えている。
	×	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・ウクライナ情勢が大きな影を落としていると予想する。
	×	理容室（経営者）	・新型コロナウイルスに振り回される日々がいつまで続くのであろうか。
	×	住宅販売会社（従業員）	・材料の価格高騰と職人の高齢化で、見積りも上がっている。
企業 動向 関連 (東海)		不動産業（経営者）	・都市圏という条件付で、引き続き活発化すると考える。
		化学工業（営業担当）	・今よりは外食産業が回復すると思われる。電材向けの出荷も回復見込みである。
		化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルスの第6波が収まると思われる。ウクライナ情勢も和平交渉が進むことを期待する。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス次第ではあるが、徐々に復活していくのではないかと。年度末はある程度期待できると思っている。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・完成車メーカーの工場一時停止は、今後改善の方向に向かうといわれているため、2～3か月後には業績は多少回復すると考える。
		輸送業（従業員）	・今月20日を過ぎてから、3月の依頼がぼちぼち入ってきている。客先側が動き出しているようで、3月は繁忙期でもあり、少し良くなりそうな気配である。反面、世界情勢をみると原油価格の高騰がこれからも続きそうなので、運送業界にとっては頭の痛いところである。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の3回目が進捗しつつあり、今後の新規感染者数も減少すると思う。本当に皆疲弊している。メリハリのある制限ルールを望む。
		金融業（従業員）	・新年度が始まり需要は増えると考えられる。ただし、新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ問題等がどの方向に向かっていくかにもよる。
		金融業（従業員）	・2～4月に決算期を迎える企業が多く、また、卒業などで動きがあるため、若干良くなる傾向になると思う。今は制限されている部分が、これから新型コロナウイルスの影響も弱くなっていくと皆信じているため、比較的景気は良くなっていくと思う。
		不動産業（経営者）	・今後は、新型コロナウイルスの新規感染者数が減っていくと思われ、外出や遠出する人が徐々に増加すると予測している。売上は徐々に回復していき、前年を上回る状況になっていくと見込む。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・生産停止の反動は必ず起こり、3か月後には好転すると思っている。来週には当社の新製品も客に提供することになり前進している。現在繰り返しテスト中である。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・生産工程が一杯の状況で納期が長くなることを伝えているため、早めの注文が増えており、しばらくは多忙な状況が続く。
		金属製品製造業（従業員）	・仕事量の盛り上がりは期待できないなか、原材料コスト高とのせめぎ合いで、状況の好転は期待しづらい。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから、変わらないと判断する。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・引き合いが増えても、部品不足と北米地域への輸送が正常に戻らない限り対応できないため、景気は良くならない。
		建設業（経営者）	・可もなく不可もなく将来がみえない。悪くなるとも思えず、はっきりとしない。
	建設業（営業担当）	・必ずやらなければならない仕事をしている業種なので、部品等が入りづらいなどの要因はあるが飲食店のような売上の下落や今後の不安はないのは良い。しかし、行政の客からは予算が取りづらいとか福祉等の補助に充てていくという話を聞いているので、先の動きはそれほど明確ではない。	
	輸送業（エリア担当）	・ガソリン価格が高くなっているが、配送単価はなかなか上げられないため、収支は悪くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（エリア担当）	・例年2月は荷物量が落ち着いている月なので、今月は例年並みの取扱量であった。ただし、3月は年度末で荷物が大幅に動く時期であるが、現段階では客の動きにそれほど活況化する兆しはない。特別な枠での発注も余り予見されないの で、今月と同じ傾向が来月も続くことを踏まえて、景気は余り変わらないと考える。
		通信業（法人営業担当）	・長引くコロナ禍において、政府や自治体任せでは消費者の心や企業、店舗の意欲が湧く施策は出ないと思う。とはいえ、冷え込む景気を上向きにできるヒーロー的な企業も人いない。経済大国の先行きはコロナ禍をきっかけに明暗が分かれていくと考えるが、我が国は暗だと思わざるを得ない。
		通信業（法人営業担当）	・良い点として、年金運用益や企業倒産件数の数字には明るさがみられるが、良くない点は、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数がいまだ高止まりしていることである。また、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への打撃、ガソリン、エネルギーや小麦粉等の価格上昇等、消費者にとっては好ましくない状況である。
		金融業（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ情勢が落ち着かないと、特に個人が消費に向かいにくい。当面は現状と変わらない景気が続くと思われる。
		広告代理店（制作担当）	・コロナ禍のなか活発な広告活動ができず、3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種も遅れているため、景気が良くなる材料が見当たらない。
		会計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は依然として増加傾向にあるが、以前のように強力な自粛要請もなく、感染防止に力を入れながら企業活動が続けられている。ガソリン価格の高止まりやウクライナでの紛争もあるが、今のところ直接的な影響は現れていない。
		食料品製造業（営業担当）	・景気回復の要因がない。
		食料品製造業（経営企画担当）	・ガソリンのほか生活必需品の価格高騰が家計を圧迫し、消費はますます冷え込む。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルス感染症の影響も大きな要因であるが、主要原材料の値上げが実施され、製品販売価格にすぐ反映できる様子はなく収益面でも非常に大きな圧迫を受けるため、景気はやや悪くなる。
		金属製品製造業（経営者）	・仕入価格の上昇がこれからもあるという説明を、仕入先から受けている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスに加えてウクライナ情勢の影響も出てくると思われる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・前年からの素材単価の値上がりは今後影響を及ぼすと考える。ひどいものでは5割アップもあり、価格転嫁等が難しく消費量が減るかもしれないという不安がある。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の収束に向けた政策は、我が国だけが立ち遅れている気がする。ウクライナでの戦争も始まり、不安感だけが増す。需要を喚起する経済政策を実施しないと、戦争やコロナ禍の終息後、また我が国だけ復帰できないように感じる。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・しばらく原材料価格の高騰が続く。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・更に値上げが続くそうである。ガソリン代も下がりそうにはない。
		輸送業（経営者）	・コロナ禍での消費減少にウクライナ情勢による資源の価格高騰も加わり、消費は更に落ち込むと考えられる。
		輸送業（従業員）	・ロシアのウクライナ侵出に伴い原油価格が高騰し、戦争が長引くほど、世界経済に影響を及ぼす可能性大である。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・広告で人を集めることが増えるような気がしない。
		公認会計士	・中堅・中小企業の生産性向上や後継者不在の問題は、短期には解決されない。新型コロナウイルス感染症の影響は貸借対照表に大きなダメージを与えたため、改善には時間が掛かる。ウクライナ情勢等によるガソリンや電気等のコスト上昇が発生すると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		会計事務所（職員）	・原材料の価格が高止まりしているが、販売価格に転嫁できていないためメーカーが値上がり分を負担している。また、ロシアのウクライナ侵略の影響でこの先原油などの価格がますます不安定になると予想され、景気が良くなる要因がない。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・新規に需要が伸びるのは4月以降であり、当面は新規受注に結び付かない。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響に加え、ロシア・ウクライナ問題が出てきたため、更に悪くなると思う。
	×	鉄鋼業（経営者）	・資源の価格高騰や新型コロナウイルスの影響による自動車を始めとする工場の操業停止など不安定要因が大きく、中小零細の企業はこの動きに振り回されている。
雇用 関連 (東海)		-	-
		人材派遣業（営業担当）	・外国人新規入国の再開に期待はしているが、新型コロナウイルスの感染再拡大、ロシア及びウクライナ情勢による原油価格に左右される可能性が高い。
		人材派遣会社（社員）	・ゴールデンウィークの地元の祭りは開催が決定し先が少し明るい、新型コロナウイルスの感染者数次第である。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてくれば、着実に良くなっていく。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることが前提で、各地のイベント再開、旅行関連の動きが戻ることを期待する。
		職業安定所（職員）	・輸送用機械器具製造業では半導体等部品の供給不足も改善しており、新型コロナウイルス発生前の状況に向かっていくと思われる。一方で新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が高止まりとなっていることや世界的な原油高、原材料高となっていることから、先行きに不安要素がある。
		職業安定所（職員）	・新規感染者数は高止まりであるが、個人消費の動向をみると活発化している。
		人材派遣会社（企画統括）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあるが、数値としてはいまだに高く、引き続き先行きは不透明である。
		人材派遣会社（営業担当）	・求職も求人も6月までは落ち着き、転職市場はしばらく落ち着くと考える。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車製造における部品供給不足と半導体不足の問題はしばらく継続する見込みである。労働者不足問題については、外国人の新規入国を原則停止している水際対策を3月1日から段階的に緩和する方針で、改善に期待を寄せている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・景気は決して良くはなく、悪いままで停滞する。企業活動もコロナ禍を織り込んだ形になっており、回復はしないが一気に悪化もしないのではないかと考える。今後は、ウクライナ危機に関連した世界経済の動向が心配である。
		職業安定所（所長）	・新規求人数には徐々に持ち直しの動きが見られるが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染収束が不透明ななかで募集採用活動に慎重な事業所も多い。
		職業安定所（次長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に収束の兆しがみえないなか、新規求人数は確実に増加傾向を維持しており、コロナ禍収束後を見据えた人材確保の動きがある。しかし、新しい新型コロナウイルス変異株の出現に加え、ロシア軍によるウクライナ侵攻による原油の更なる高騰や世界経済の停滞による影響から、現状維持若しくは悪化するのではないかとみている。引き続き新型コロナウイルスの感染状況及びウクライナ情勢を注視していく必要がある。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・足元の新型コロナウイルス感染状況や緊張した世界情勢では、これからの市場の変動が読みにくく感じる。上向きへの期待はあるものの、要素として挙げられるものがない。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・3月中旬以降は転職希望者の動きが鈍化する可能性が高く、6月以降に活動意欲の高い転職希望者が動き出す見通しである。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルス感染症の再拡大により、本学の学生の主な採用先である医療機関では採用機会、人数共に減少した。それによって関東や近畿圏まで就活、入職が広がる傾向がみられた。	
	人材派遣会社（営業担当）	・今月は年間で最も派遣募集が増える時期であり、2～3か月後は今よりも募集数が減ることが予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアのウクライナ侵攻で世界経済の先行きが不透明である。 ・資源価格の高騰が、ロシアのウクライナへの侵攻等に伴い一層深刻化していることから、運送業を始め多くの産業に深刻な影響を与えられる。
		職業安定所（職員）	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	-	-

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)		コンビニ（店舗管理）	・外部環境の悪さは今が底のはずである。
		一般レストラン（統括）	・3月はまん延防止等重点措置期間が明け、春に向けて各種行事で人が動き、消費が多くなる時期であることから、2月よりは確実に外食需要が高くなるとみている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第のところもあるが、少なくとも暖かくなれば、陽気次第で人の動きは回復すると考える。春にかけて行事が計画されており、1つでも実施できれば、明るさが出てくるとみている。新型コロナウイルスによる重症者が少ないため、危機感は余り感じない。
		一般小売店〔事務用品〕（店長）	・これから春に向けて、新生活に必要な物の購入が増えることを期待している。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスに新たな変異株が出てくればお手上げだが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収まれば少し平穏な期間が訪れると信じている。現状では新規感染者数もやや減少傾向にあるので期待している。
		タクシー運転手	・数多くの方が3回目のワクチンを接種し、新規感染者数が減少していくとみられ、現在より良くなると考える。
		通信会社（営業担当）	・他社からの乗換え客に対して価格競争が始まっており、客の購買意欲が高まっていることから、販売台数も増加してくると考える。
		商店街（代表者）	・若者世代を中心に観光客は増え始めたが、まん延防止等重点措置が解除されない限り、本格的な回復には程遠い。また、前回解除された際には商店街で買物クーポンによる支援があったが、当店で使う人はいなかった。Go To Travelキャンペーンの開始を望んでいる。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・豚肉やとり肉の動きはこのまま継続するとみている。牛肉はギフト需要等が出てくれば良くなると期待しているが、このままの状態が続くと考える。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・根本的に新型コロナウイルスの感染が収束しないと景気は戻らないと考える。沖縄など一時的にまん延防止等重点措置が解除されても、再び感染が広がる傾向は続くともみている。
		百貨店（売場主任）	・ロシアのウクライナ侵攻により世界経済にどのくらいの影響が出るのか見通せない。また、2～3か月先では3回目のワクチン接種が進んでいるとは考えにくいので、国内経済の景気回復にはしばらく時間が掛かると見込んでいる。
		百貨店（販売担当）	・来客数は大幅に改善しないと予測しているが、新型コロナウイルスへの慣れと感染の軽症化傾向でやや安心感があるため、大幅に悪化もしないともみている。入社式や卒業式などの式典が通常開催されることや、それに伴うギフト需要の拡大で、新入学、フレッシュャーズなどのモチベーション需要は前年より拡大傾向を見込んでいる。根拠としては、食催事などにおける来客数の減少が少なかったからである。しかし、売上は改善傾向にならず、厳しい状況のまま現状維持がしばらく続くともみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症はウイルスが変異しながら感染拡大しており、しばらくはウイルスと共存しながら、辛抱していくしかないと考え。
		衣料品専門店（経営者）	・社会の消費動向次第だと考える。
		家電量販店（本部）	・新型コロナウイルス変異株による新規感染者数は減少していくともみているが、来客数が戻るとは見込めない。また、ガソリン価格の高騰や日用品の値上げ等で景気回復は難しい。
		乗用車販売店（経営者）	・新車を購入する客の動向は、まだ悪い状況にあるともみている。業界全体もこのような状況が続いていることから、業況は変わらないと考える。
	乗用車販売店（従業員）	・今冬は大雪の日が続き、しかも、新型コロナウイルス新規感染者数の増加もあり、来客数がかなり落ち込んでいる。	
	住関連専門店（役員）	・海外からの商品や部材の入荷遅れ、ウッドショックによる原価高騰、ガソリン等生活用品や食品の値上げなど、プラスに動く要素がなく、打破する施策も講じられていない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔酒〕 (経営者)	・ロシアのウクライナ侵攻や継続する原油価格の高騰などの世界情勢により、国内の物価は上昇し続けている。いろいろなものの価格が上昇している状態で良くなるはずはないが、先行きは変わらないと希望的観測をしている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大のピークがみえず、長引くことを懸念している。
		高級レストラン(スタッフ)	・新型コロナウイルスの影響による団体利用や県外からの受注減少もあるが、来月7日に知事選挙と同日市長選挙を控えていることから、まん延防止等重点措置解除後の地元法人関連からの受注が全く入ってこない。
		一般レストラン(店長)	・県内ではまん延防止等重点措置が延長になり、影響がいつまで続くか分からない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・まん延防止等重点措置が早く解除され、新型コロナウイルスの終息がみえてくるまでは、旅行も宴会もレストランも新型コロナウイルス発生前には戻らない。新型コロナウイルスの発生から3年目になり、厳しい状況である。
		通信会社(営業担当)	・2～3か月後は新入学の時期、並びに新商品の発売時期も終えており、大きく変化する要因が見当たらない。
		通信会社(役員)	・現状では、変動する兆候が見受けられない。ただし、半導体不足等による設備や機器等の構築、購入遅延により影響が出る懸念はあると考える。
		テーマパーク(役員)	・現状のように、新型コロナウイルスの感染拡大で人流を止めるような政策を繰り返している限り、状況はさほど大きく変わらないと考える。
		美容室(経営者)	・新型コロナウイルスオミクロン株の亜種が国内で検出されたほか、ウクライナ問題の報道もあり、先行きに明るい希望が持てなくなってきた。
		住宅販売会社(従業員)	・2月に予定していたイベントは全て中止となり、新規の見込み客は少ない。商談については、展示場やショールームをいかに早く案内できるかで、少ない見込み客の契約が進むかどうかが決まってくる。新型コロナウイルスの影響はまだ大きく、予定どおりに契約は進まないとみている。
		住宅販売会社(従業員)	・低金利や補助金等の有利な条件がそろっており、コロナ禍での活動についても有効な動き方がみえてきている。しかし、国際情勢がどのように影響するか心配している。
		住宅販売会社(従業員)	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた限り、景気回復は難しいと考える。
		百貨店(販売促進担当)	・新型コロナウイルスの影響にプラスして、食品や生活用品など生活必需品の値上げがあり、衣料品等へのマイナス影響が出るもみている。ゴールデンウィークの旅行予約も控えめで、仮に新型コロナウイルス感染症が終息しても大きな回復にはつながらないとみている。
		スーパー(総務担当)	・商品の価格高騰が止まらない状態で、利益が取りにくい状況になってくる。
		スーパー(仕入担当)	・値上げが続き、競合店との価格競争に巻き込まれると、今後も買上点数の減少による売上減少が進むと考える。
		スーパー(店舗管理)	・ワクチン接種の進捗状況による影響も考えられるが、高齢者の来客頻度は確実に落ちている。また、日祭日の家族連れでの来店も減少傾向である。値上げの影響が大きく、ポイント付与日と通常日で非常に差が出ており、費用対効果が厳しくなっている。
		スーパー(統括)	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染の収束状況次第である。
		コンビニ(店長)	・新型コロナウイルスに感染したという話をちらほら聞くようになってきている。新規感染者数の増加により外出自粛を徹底する客がここ2年多かったため、報道で新規感染者数が多くなるにつれて、週末や夕方から深夜の売上が再び激減する可能性が高いとみている。また、今月の売上が良かったのは単に前年が悪すぎたためかもしれないので、来月以降はやや悪くなるとみている。
		家電量販店(店長)	・半導体不足により、省エネ型給湯器などの単価の高い商品の入荷が見込めないため、売りにくい状況である。
		乗用車販売店(役員)	・新たな変異株の出現による感染拡大の長期化や、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済の混乱を予想する。国内においても原油価格の高騰による各種値上げが続き、消費が更に冷え込んでいくことを懸念する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		自動車備品販売店（役員）	・車の商談は例年並みだが、納車時期が不透明で客が中古車を選択するケースが増えている。この先の景気に大きな変化はなく、この状態が日常生活であると捉える転換期になると考える。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況や対外的な様子からまだ厳しさを感じるが、2～3か月先は少しでも良くなっていると期待したい。
		通信会社（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況は一進一退、ウクライナ情勢から原材料不足もますます深刻になりそうで、商品や部品の納期や供給に更に遅れが出そうな状況である。
		通信会社（役員）	・半導体不足による通信用端末の供給が滞り始めることが予想されており、営業活動に制限が出てくる可能性がある。
		パチンコ店（経理）	・ロシアのウクライナへの侵攻により情勢不安となり、物価が上昇し景気が悪くなるとみている。
		その他レジャー施設 [スポーツクラブ] （総支配人）	・まだまだ県内はピークアウトになりそうになく、スタッフの確保も含めて日々緊張した状況が続くとみている。燃料費は上限がないくらい高騰し続けており、売上減少、経費増加の状態が続くと考える。
		住宅販売会社（営業）	・ガソリンの高値維持やウッドショックを始めとした建築資材の高騰による景気への影響は避けられない。消費マインドを刺激するような対策がない限り、景気の落ち込みは避けられないと考える。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況にピークアウトの兆しが一方向にみえない。また、これといった対策もないため、この傾向は今後もしばらく続くと考える。人出が激減しており、正に危機的状況である。
	×	一般小売店[書籍] （従業員）	・原油や小麦粉関連の食材、輸送コストなどありとあらゆるものが値上げ傾向となって家計を直撃しており、このような状況では、景気は悪くなるとしか考えられない。
	×	スーパー（店長）	・賃金が上がらないなか、食品を含め値上げが実施されれば景気は悪化すると考える。当地域では新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりが続いており、スーパーとしてはプラスに動く面もあるが、全体としては悪い状況が続く。
	×	衣料品専門店（経営者）	・消費へのマイナス要因はほかにも金利の上昇が考えられる。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・前年のように全面キャンセルではなく、新規の予約も人数は少ないが発生している。まん延防止等重点措置の早期解除を待っている。
	×	都市型ホテル（役員）	・3月に市内で新規ホテルが2棟オープンし、市内の客室数が10%増加する。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により宿泊需要が低迷するなか、他ホテルとの価格競争による来客数や販売価格の低下を懸念している。
	×	タクシー運転手	・現在、小学生等の低年齢層に新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、その親や兄弟も外出できなくなっている。
企業 動向 関連 (北陸)		-	-
		建設業（経営者）	・5月下旬には新型コロナウイルスの感染も収まるとみており、業界団体の総会と懇親会を開催する予定である。
		輸送業（管理会計担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染がピークアウトし、物量の回復を見込んでいる。
		不動産業（経営者）	・客の話では、現状に新型コロナウイルスの感染が影響しているのであれば、少しずつ回復してくるだろうという前向きな考えが出てきているようである。
		化学工業（総務担当）	・今後も受注は変わらずに推移する予定である。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注状況から変わらないと考える。
		一般機械器具製造業 （経理担当）	・オートバイの部品関係において、引き続き受注は旺盛であるが、特に北米輸向け船便の手配が困難となっており、かつ、輸送費も高騰しているため、今後の生産体制等の見直しを強いられる可能性が高くなってきている。
	通信業（営業）	・現状の好調な設備投資は4月末まで継続すると推測している。しかし、半導体不足の影響により、受注は増加するものの納品までに至らないことを不安視している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしており、飲食や観光関連産業が伸び悩んでいる。原油や原材料価格の上昇が企業収益を圧迫している。価格転嫁の動きもあるが、消費意欲の低下につながるおそれがある。ウクライナ情勢も不透明で、ロシアや欧州向けのビジネスに影響が出る可能性がある。
		食料品製造業（経営企画）	・受注や販売は好調だが、それに応えるための労働力の確保と同時に原材料や燃料コストの上昇など、台所事情は悪化し続けている。
		繊維工業（総括）	・外国人技能実習生を中心とした人手不足や原材料価格の高騰に更に拍車がかかることへの懸念に加え、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大とウクライナ情勢悪化による影響を懸念している。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・日本を含む世界的な新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大、及び海外の政情不安なども重なり、景気はなかなか本格的に回復しないと考える。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・ロシアとウクライナの対立による世界情勢の混乱が、日本経済においても影響を及ぼすと考える。
		精密機械器具製造業（役員）	・水準としては現在はそこそこである。ただし、例年であれば春先に向け売上が伸びていく時期にもかかわらず、新型コロナウイルスによる感染のピークアウトの状況やウクライナ侵攻の間接的な影響の不透明さもあり、どちらかといえば負の要素が強いと考える。
		建設業（役員）	・依然として原材料価格が先行き不透明であることに加え、新型コロナウイルスの感染収束がみえず、世界情勢も不安定である。
		司法書士	・B to Cに加え、B to Bにおいても、燃料費の高騰や材料不足、技能実習生の不在など、先行きの不安を話す依頼人が多い。
		税理士（所長）	・この数か月で状況が良くなった中小企業の製造業は全くない。現在の国際紛争により、物流が滞ることや輸入品の価格が上昇することも考えられる。材料が値上がりしても、販売価格に転嫁しづらい部分があると利益に結び付かないため、全体的に冷え込んでくる可能性が大きいと懸念している。
		×	輸送業（役員）
	×	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株、資源価格の高騰に加えてロシアのウクライナ侵攻が始まり、動向の注視が必要である。
雇用 関連 (北陸)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・求職者の動きは活性化傾向にある。ただし、求職者側に選択の余地がある状況が多く、マッチング自体は少ない様子である。新型コロナウイルスの感染が収束に向かうタイミングと、求職者数の増加傾向により景気は良くなると考える。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	・新型コロナウイルス次第の面はあるが、各企業に意欲はあるように感じるので、期待している。
		職業安定所（職員）	・ワクチン接種が進めば新型コロナウイルスの感染状況は少し落ち着く。しかし、ゴールデンウィーク明けにはまた世の中は混乱すると考える。ロシアの動きによるガソリン価格の状況次第だが、若干良くなるとみている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・大きな雇用の動きがない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県内での新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、先行きが見通せない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス第6波がピークアウトしても、経営が厳しい事業所が多いため、大幅な求人数の増加にはつながらないと考える。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の今後は見通せないが、収束傾向になれば生産や投資、求人も活発になってくるとみているので期待したい。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素や気配が見受けられない。
		×	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		百貨店(外商担当)	・新型コロナウイルスに対する行動基準が変化し、長く警戒していた客もようやく動き出す兆しを感じられる。今春から、一気に購買行動が出てくるのが期待される。
		一般小売店[鮮魚] (営業担当)	・今は臆測でしか判断できないが、まん延防止等重点措置が解除されれば良くなる。
		一般小売店[菓子] (営業担当)	・毎年1~2月は売上や販売量が低迷する一方、3~4月は人が動く時期であるため、販売量の増加を期待している。
		百貨店(売場主任)	・コロナ禍がやや落ち着きを見せれば、消費者の購買意欲は高まると感じるようになってきた。新型コロナウイルスの新たな変異株が発生しないという前提であるが、回復傾向が進むと予想している。
		百貨店(売場主任)	・イベントの際には、リベンジ消費をしたいという客は多くみられる。コロナ禍の収束に合わせて、売上の回復が期待できそうな気配を感じる。
		百貨店(企画担当)	・3回目のワクチン接種の効果に期待している。
		百貨店(マネージャー)	・直近は新型コロナウイルスの感染状況が徐々に良くなっており、収束に向けた出口が見え始めている。過去の状況からも、コロナ禍の影響が少なくなれば、来客数や販売量の増加が見込まれるほか、行動制限の反動も出てくる。
		百貨店(店長)	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少で、販売量が増加するほか、海外からの客が少し増えてくると期待される。
		百貨店(サービス担当)	・3月にはまん延防止等重点措置が解除される見込みで、平常どおりの営業活動が再開され、イベントの開催や新たなショップも導入されることで、来客数の順調な回復が期待される。
		百貨店(外商担当)	・3回目のワクチン接種や治療薬の影響もあり、新型コロナウイルスの感染も幾分は落ち着いてくる。それに伴い、消費者の購買意欲も高まるのが予想される。
		百貨店(売場マネージャー)	・3回目のワクチン接種が進み、コロナ禍にも一定の収束がみられることを前提にすれば、ゴールデンウィークのような大型連休も控えているため、消費行動の活発化が予想される。
		スーパー(店員)	・急に売上が増えることもないため、余り変わらないが、新型コロナウイルスの感染が収まってくれば、人の動きも活発になり、今よりも売上が増えてくる。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの感染第6波は収束が予想されるため、多少は通勤客も戻るほか、ホテルの宿泊客数も増えることが期待される。
		コンビニ(店長)	・暖かくなり、まん延防止等重点措置も解除されると予想される。
		コンビニ(店員)	・新型コロナウイルスの影響で、大人数での外出などはみられないものの、客の雰囲気からは少しずつ普通の生活に戻りつつあると感じる。近くのホテルにも客が戻りつつあるが、飲食業はまだ少し厳しいという声がある。
		衣料品専門店(店長)	・コロナ禍への対応次第であり、ワクチンも重要であるが、経口薬の承認などで新型コロナウイルスの感染状況が下火になれば、景気も上向きになる。
		家電量販店(店員)	・来客数が増えれば、購買意欲も上がり、景気は良くなる。ボーナスの支給時にはコロナ禍も落ち着くことが予想される。
		家電量販店(人事担当)	・新生活需要により、少し販売が持ち直すことを期待している。ただし、大学も就職も地元志向が強まる傾向があり、単価が低くなっていることが懸念材料である。
		乗用車販売店(販売担当)	・新車が入荷する予定があるため、販売台数は少し上向くことが予想される。
		その他専門店[ドラッグストア](店員)	・今年中は通常の生活に戻らないかもしれないが、季節が変わることへの期待感があり、化粧品や住関連品の新商品への期待も感じられる。
	高級レストラン(スタッフ)	・まん延防止等重点措置の状況次第である。	
	高級レストラン(企画)	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響が限定的になり、3回目のワクチン接種や、政府による観光支援策の実施で、需要は高まると予想される。	
	一般レストラン(経営者)	・3回目のワクチン接種が進んできたため、安心感が漂っているのが、来客数が持ち直している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（経営者）	・3月でまん延防止等重点措置が解除されるかどうかは分からないが、自粛疲れで個人客は徐々に増えてくると期待している。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況のピークアウトを期待して、花見シーズンとゴールデンウィークの来客数の増加を見込んでいる。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・3月6日にまん延防止等重点措置が期限を迎えるが、解除されたとしても、それほど大きくは変わらない。当分はウィズコロナの環境が続くなか、安心して宿泊や食事ができる体制を整えていきたい。
		都市型ホテル（総務担当）	・3回目のワクチン接種が進むものの、新型コロナウイルスの新たな変異株による感染拡大も否定できない。
		都市型ホテル（客室担当）	・まん延防止等重点措置が解除され、抑えられていた観光需要が回復し、3回目のワクチン接種も進む。春の観光シーズンとも重なり、回復することが期待される。
		旅行代理店（役員）	・3度目のワクチン接種に期待するしかないが、回復に期待している。
		通信会社（企画担当）	・コロナ禍の長期化により、アミューズメント施設の来客数の回復が遅れ、業務用ゲーム機の売上が戻っていない。コロナ禍の収束後の回復に期待している。
		ゴルフ場（支配人）	・シーズンに入れば来場者数が増えるほか、まん延防止等重点措置の解除、新型コロナウイルスの影響の減少などで、今後の景気は良くなる。
		その他レジャー施設 [複合商業施設]（職員）	・新型コロナウイルスの感染第5波の際、感染が落ち着いた段階で経済が一斉に動き出した経験から、同じような回復を期待している。ただし、ウクライナ問題の早期解決が必須である。
		その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・まん延防止等重点措置の解除が見込まれるほか、春休みも始まるため、来場者数が増える。
		美容室（店員）	・春以降に延期となっていた結婚式の予約が入ったほか、卒業式などの予約も入ってきている。
		その他サービス[マッサージ]（スタッフ）	・アロママッサージでは服を脱ぐため、暑い時期よりも寒い時期の方が来客数は減少する。
		商店街（代表者）	・良くなる材料がなく、高齢者の人も減ったままである。
		一般小売店[時計]（経営者）	・コロナ禍が落ち着くかどうかが見通せないなか、ロシアによるウクライナ侵攻という、世界的に悪いニュースが飛び込んできた。今の時代では考えられないような無謀な行為であり、今後の経済や社会がどう変わるかは予測ができない。買物をして楽しむような気持ちになることが、今の状態では考えられず、先行きの景気が良くなるとは思えない。
		一般小売店[花]（経営者）	・今の状況がいつまで続くのか予想できず、しばらくは景気の回復が見込めない。
		一般小売店[衣服]（経営者）	・気温が上がって外出の機会が増える時期となるため、例年は春物商品が売れるが、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向とはいえ、まだまだ多いことから、今後2～3か月の景気の回復は見込めない。
		一般小売店[野菜]（店長）	・ロシアがウクライナに侵攻し、原油高などに繋がっている。物価上昇率もかなり上がってくるなど、厳しい状況になると予想される。
		一般小売店[呉服]（店員）	・コロナ禍が少し収まれば、来客数も増加する。店舗はショッピングモールに入っているが、モールへの来客が多いため、来店するのが怖いという客も多い。高級品は生活必需品ではないため、客足が遠のいている。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の次の変異株が発生し、感染が拡大すれば、現状と何ら変わらない。取引先からの商品供給にも影響が出ているため、劇的な回復は見込めない。
		百貨店（営業推進担当）	・3回目のワクチン接種が進むまでは、現状と変わらない。
		百貨店（マネージャー）	・海外情勢が混とんとするなか、原油価格の上昇による各方面のコスト増加が、販売価格に転嫁されることになる。また、新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況は小康状態が続くなか、客の心理の大きな改善は見込めないため、慎重な選択消費が続くと予想される。
		百貨店（販売推進担当）	・前年の5月はほぼ営業ができない状況であったため、前年比では良くなるものの、景況感としてはGo Toキャンペーンなどが実施されない限り、急回復するとは思えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（特選品担当）	・まん延防止等重点措置は3月21日までの延長が濃厚であるため、今の傾向は当分続く。また、解除後も今までのようにアップダウンを繰り返すことが予想され、大きくは変わらない。
		百貨店（宣伝担当）	・まん延防止等重点措置の適用で、取引先が生産や買付を抑制し、販売体制を絞る動きが出始めている。輸送の問題による入荷の遅れや、原材料価格の高騰による値上げも増えており、売上回復の足かせとなっている。
		百貨店（売場マネージャー）	・まん延防止等重点措置の解除や、3回目のワクチン接種、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少が進まなければ、今の状況が続くと予想される。
		スーパー（店長）	・まだ今の状況が続くそうであり、大きな変化はないと予想される。ただし、広い視点ではロシアのウクライナ侵攻による影響次第で、景気が変動する可能性もある。
		スーパー（店長）	・春の異動関連の需要が少し増えると予想されるが、食品以外は節約傾向が続く。
		スーパー（店長）	・コロナ禍が続くなか、働き方を始め、学生の生活などは前年がベースとなっている。今後は上向くことも、下向くこともない。
		スーパー（店員）	・激安スーパーには勝てない。
		スーパー（企画担当）	・コロナ禍の状況が落ち着き、前年比では横ばいの動きが続くと予想される。
		スーパー（企画担当）	・まん延防止等重点措置が延長されたが、客の様子は余り変わらない。必要な物を必要なだけ買うという動きであり、客単価が上がる様子もない。
		スーパー（経理担当）	・商品の値上げが、当たり前の動きとして定着しつつある。一方で賃上げも広がりつつあるため、物価の上昇と賃金の上昇が連動する形になれば、景気の改善につながる。
		スーパー（開発担当）	・原油価格の高騰や生活必需品の値上げが相次ぐなか、賃金も上がらず、景気が良くなるという予想は立てられない。コロナ禍も落ち着かず、これから先も厳しい時期が続く。
		コンビニ（経営者）	・飲食店の時短営業が解除になれば、また動きが出てくるため期待したい。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がすぐに減ることはないが、3か月後には少なくなる。また、商売の形態が変化し、セルフレジ化が進む傾向にある。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況や、世界情勢に関する不安材料がある。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてから、しばらく時間が経過しなければ、前のような生活には戻らない。学生や新社会人などは、もう今の生活が普通になっているように感じる。
		コンビニ（店員）	・コロナ禍でイベントも少ないため、今の状況が続く。
		コンビニ（店員）	・3回目のワクチン接種が進んでも、新型コロナウイルスの新たな変異株に感染することもあるため、まだまだ落ち着かない状態である。
		コンビニ（店員）	・当店の客は、近隣に住む年金生活の高齢者が多く、余り景気には左右されにくい。最近は値上げの話をよくしており、多少は気にしながら買物をしているように感じる。価格の引上げが頻繁にあるため、もう慣れて気にしていない人もいるため、全体としては余り変わらない。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しなければ変わらない。
		家電量販店（経営者）	・半導体不足の解消には、半年ほど掛かると聞いているため、今の状況は変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・売る物がなくて困っている。一時は高値で売れた中古車も、仕入れの際にはコストの上昇につながるなど、悪循環となっている。
		乗用車販売店（営業担当）	・ロシアのウクライナ侵攻もあり、更に供給が遅れる可能性も考えられるため、良くなるイメージはない。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・政府の方針次第で状況は変わる。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・食品や日用雑貨、嗜好品の売上は増加傾向にあるが、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、来客数は今後も横ばいが続く。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・3回目のワクチン接種が終わると、不安の減少とともに人流や外出が増えて、微かに景気が上向きになると予想されるが、宝飾業界への影響は少ない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・マスクなどの消耗品以外は、受注の少ない状況が続く。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況は一進一退であり、社会活動の本格的な回復には時間が掛かる。
		一般レストラン（経営者）	・飲食店への偏見を含め、ウィズコロナへの対応を考え直さなければならない。要請によって営業の縮小や休業せざるを得ない業種が、補助金に頼るのではなく、もっと希望を持って事業を進められるような支援が必要だと感じる。
		一般レストラン（店員）	・春に向けてイベントなどが増えると予想されるが、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にならない限り、今と何も変わらない。
		一般レストラン（企画）	・まん延防止等重点措置の延長もあり、景気の回復までにはまだまだ時間が掛かる。また、新型コロナウイルスの新規感染者数とは関係なく、在宅勤務の増加などによる生活習慣の変化が、外食の利用減少につながると予想される。全体として、引き続き厳しい状況となる。
		その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、対面での接客業務は来客数がかかり減少し、売上も落ちている。
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・先行きが全く見通せず、世界情勢も不安定である。値上げラッシュもあるなど、良い材料が一つもない。
		観光型ホテル（経営者）	・観光業に対する新型コロナウイルスの影響は計りしれない。やっと落ち着くかと思えば、まん延防止等重点措置の適用といった従来の政策に戻ったため、先行きに大きな希望が持てないままである。
		観光型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しないため、状況は変わらない。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第となる。新規感染者数が減らない限り、景気は厳しい状況が続く。
		旅行代理店（店長）	・3回目のワクチン接種で、新型コロナウイルスの新規感染者数がピークアウトし、人流が戻れば、若干回復すると期待したい。ただし、その時期は読めない。
		旅行代理店（支店長）	・まん延防止等重点措置などは解除されると予想されるが、ウクライナ情勢などの新たな火種が発生し、客の旅行マインド、特に海外旅行の動きに水を差している。状況が早期に改善されるとは予想できず、全体としては今と変わらない状況となる。
		タクシー運転手	・この春からの日用品の値上がりや、ウクライナ情勢の影響も出てくるが、全体的には今の状態が続くと予想される。
		遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、1月中旬から客足が顕著に減少した。既に感染拡大のピークは過ぎたものの、戻りはみられない。年度末は団体客の多い季節であるが、多くのキャンセルが発生し、厳しい状況が続いている。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・以前ほど新型コロナウイルスへの警戒感は強くなく、人の動きも活発化しつつある。ただし、ロシアのウクライナ侵攻による原油高や原材料の値上げで、物価の上昇が進むことが懸念される。
		その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・大阪では依然として、まん延防止等重点措置が適用されており、3月から始まるプロ野球のオープン戦や公式戦も、コロナ禍の状況次第では入場者が制限される可能性がある。なお、3か月後の状況は不透明であるため、現状と大きくは変わらないと考えている。
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染の収束時期が不透明なため、変わらないというよりも分からない。
		住宅販売会社（従業員）	・新築マンションの供給が増えないなか、需要は旺盛な状況が続くと予想される。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・新築住宅の強力な取得支援策が示されない限り、しばらくは新築市場の低迷が続く。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・年度末の繁忙期となるほか、今月のキャンセル分を取り戻す必要もあるため、深刻な人手不足が続くそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場主任）	・ロシアのウクライナ侵攻により、世界経済の不安定化が進む。さらに、コロナ禍の収束の見通しが立たないなか、景気が改善する要素は見当たらない。特にこの2年間、百貨店業界は大きな打撃を受けており、取引先による商品供給の抑制や事業の撤退、条件の改悪などが続いている。今後も少なからず影響が出ることは必至である。
		百貨店（マネージャー）	・3回目のワクチン接種の広がりなどで、コロナ禍については落ち着いてくるものの、ウクライナ情勢などの不確定要素もあり、景気の好材料は少ない。
		百貨店（服飾品担当）	・各ラグジュアリーブランドが大体8～10%の値上げを予定しており、この市場も冷え込むことが予想される。新型コロナウイルス関連の対策が延長されれば、かなり厳しくなる。一方、Web経由の売上は店頭の厳しさとは反対に伸びており、コロナ禍が始まって2年目とあって、デジタルを活用した買物はかなり進化している。また、SNSのライブ配信による接点も増えているなど、実店舗とデジタルの新しい関係が生まれている。
		百貨店（販促担当）	・コロナ禍に、ウクライナ情勢の悪化まで加わり、先行きが見通せない状況である。極端な原油高に代表される物価の変化が、消費を直撃しそうである。どちらも営業努力では克服できないものであり、商品の生産や仕入れのコントロールも非常に難しい。原油相場が高止まりし、人の動きが近場にシフトするなか、情勢に応じた機敏な判断や対応がより必要となる。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染は少しずつ落ち着いているが、ウクライナ情勢という新たな問題が発生している。今春には各種食品の値上げが予定されているが、原材料不足によって更に拡大しそうである。先行きが不透明ななか、所得がどこまで伸びるのかも分からない。商品価格への転嫁が予定どおり進まなければ、利益の圧迫につながる懸念が大きい。
		スーパー（経営者）	・3月からの食品の値上げや、ガソリン価格や電気代の高騰などで、財布のひもは固くなる。
		スーパー（店長）	・コロナ禍の動向が不透明で、今後の状況が予測できない。
		スーパー（社員）	・コロナ禍が始まって2年が経過しようとしているが、客の内食需要の高まりで積み上がった食品の購買意欲が、直近の値上げの影響もあり、次第に低下すると警戒している。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・来客数、販売量共に減少している。今までの新型コロナウイルスの感染拡大時と比べても、特に雰囲気が悪く、落ち込みが大きい。
		家電量販店（店員）	・今でも財布のひもがかなり固い客が多く、なかなか売り切るのが難しい。商品のモデルチェンジのタイミングが前年度よりも早い商品も多く、値上げの動きも重なり、余計に売れなくなる。
		家電量販店（店員）	・物流や商品供給が滞っている。仮に動きが戻ってきても、工事や販売のスピードが間に合わない。
		乗用車販売店（経営者）	・春闘が始まるが、予想されているほどの賃上げはなさそうである。むしろ様々な要因でインフレ圧力が強まり、その悪影響が出る。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の注文は入っているが、半導体の不足や新型コロナウイルスの影響で、新車の入荷がない。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株に加えて、ロシアのウクライナ侵攻、燃料価格の高騰など、負の要素が多過ぎる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、5月の会合までキャンセルが出ている。すぐに感染は収まらないと判断している客が多く、秋まで延期されている。食堂のランチは、週末には稼働がみられる一方、平日のディナーの落ち込みは激しい。宿泊についても、県外からの利用が少なく、特にビジネス利用が動いていない。
		タクシー運転手	・3回目のワクチン接種の動きを、新型コロナウイルスオミクロン株の脅威が上回れば、各種の規制が一層強まる。3回目のワクチン接種を条件に、Go To Travelキャンペーンを行うなど、景気のでこ入れが求められる。
		通信会社（経営者）	・ウクライナ情勢の影響で、仕入価格が上昇する。
		通信会社（社員）	・地方の景気は相変わらず低空飛行であり、コロナ禍やガソリン価格の高止まりに加えて、世界情勢の悪化もあるなど、良い要素が見当たらない状態である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		テーマパーク（職員）	・ロシアによるウクライナ侵攻を、他人事のようにみている政府の対応に対し、希望がもてない。日本に対して圧力を強める中国が、今の状況をどのようにみているかと考えると、寒気がする。
		観光名所（企画担当）	・ここまで不透明な状況が長く続けば、動きようがなく、ただ耐えるだけである。
		住宅販売会社（総務担当）	・半導体だけでなく、仕上げ木材も入荷が未定となっている。代替品での対応には限度があり、この先の入荷状況が心配である。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・高額物件市場において、購入の動きが鈍化し始めているほか、物件価格の高騰の影響が実需層に悪影響を及ぼし始めている。4月以降の上半期は、販売在庫の増加が予想される。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・コロナ禍の影響も予想されるが、今起きているロシアのウクライナ侵攻による影響で、日本でも物価が高騰するおそれがある。その結果、これまで以上に厳しい状態になることは避けられず、これからしばらくは景気が上向くとは思えない。
	×	スーパー（店員）	・ウクライナ情勢の悪化のため、景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの治療薬が出そろってきたため、ある程度のめどが立ってきた。ただし、ロシアのウクライナ侵攻により先が見通せなくなっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・これからも状況の悪化が続き、零細企業の資金力が低下するため、ショッピングセンターや店舗は衰退していく。その一方、今までとは違った業態のビジネスが出てくる。
	×	家電量販店（企画担当）	・ロシアとウクライナ情勢の行方と、まん延防止等重点措置の延長により、しばらくは株価の推移や消費への大きな影響が続く予想される。
	×	家電量販店（営業担当）	・商品の供給が通常に戻らなければ、売れる物がなくなる可能性もある。
	×	住関連専門店（店長）	・輸入販売業では、海外からの輸送費が今春から元々値上げとなる予定であったが、ウクライナ情勢の影響で、更なる原価の高騰や輸送網の乱れといった、懸念材料やリスクが一気に増えている。
	×	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染第7波の有無や、ウクライナ情勢の今後の推移により、景気は大きく変わってくるが、良くなる材料は少ないため、2～3か月先の景気は今よりも悪くなる。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・新型コロナウイルスに感染すれば、家族や周囲の人、職場に迷惑を掛けてしまうため、買物は最低限に抑えられている。
	×	通信会社（企画担当）	・ウクライナ情勢の影響で世界的な不安が高まり、金融市場や株価が影響を受ける。また、原油などのエネルギー関連も影響を受けるため、輸送コストが上がり、更に物価の上昇が進むと予想される。コロナ禍の収束後には金融が引締められるとしても、インフレが加速するという不安感が大きくなっている。
	×	住宅販売会社（経営者）	・今後はエネルギー価格の高騰により、様々な物の価格が上がっていくと予想される。
	×	住宅販売会社（経営者）	・ウクライナ問題が解決するまでは、状況が不安定であり、景気の後退につながる。
	×	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・ロシアの軍事行動による影響が出る。
企業動向関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・コロナ禍のなかでも、少しずつ注文は増えている。今後の展開にも十分期待が持てるため、増収増益となりそうである。
		繊維工業（団体職員）	・コロナ禍の影響次第となる。
		金属製品製造業（開発担当）	・受注量が増加している。
		輸送用機械器具製造業（役員）	・SDGsやカーボンニュートラルの観点から、修理から更新に変わる案件が増えつつある。
		輸送業（商品管理担当）	・今はまん延防止等重点措置が適用されており、酒類の売上は減っているが、2～3か月で解除されれば少し良くなる。
		広告代理店（営業担当）	・春になり、新型コロナウイルスの感染状況がピークアウトすれば、少し戻ると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		経営コンサルタント	・好不調に関係なく、取引先は従来の商売の方法を変えねばならないと自覚している。現状はその方法が見当たらず、試行錯誤が続いている。新型コロナウイルスと共存しようとする世間の状況に合わせて、新たなビジネスを探す動きが始まっている。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスに負けず、必死の努力をしながら生き延びてきた経営者や社員、企業が、これから更に努力を続けることで、上向きの動きにつながると期待している。
		食料品製造業（従業員）	・原料や資材価格の値上げが徐々に浸透しているなか、当社も値上げに動くかどうかの判断に迫られている。今のところは未定であるため、荷動きが大きく変わることはない。
		食料品製造業（営業担当）	・今度は新型コロナウイルスオミクロン株の別系統の発生が確認され、市中での感染が徐々に広がっているため、景気は今後も良くならない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・部品や材料の値上がりや、調達の遅れにより、生産が計画どおりに進んでいない取引先がみられる。
		化学工業（経営者）	・コロナ禍の影響を受けていた前年よりも、売上が10%以上減少しており、全く良くなる気配がない。従業員や家族による新型コロナウイルスへの感染も増えており、仕事が回らなくなりつつある。
		化学工業（企画担当）	・食品原料の慢性的な高騰に加えて、国際情勢の悪化の影響が出ると予想される。
		化学工業（管理担当）	・自動車やオートバイ向けの出荷の減少が続くと予想される。また、原材料である化学品の価格高騰による利益の減少や、不可抗力による化学品原料の不足も予想される。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスの新たな変異株が次々と発生し、なかなか収束に向かわないが、今後はワクチン接種や飲み薬の承認などが進む。欧米では経済活動を回すことに注力し始めており、我が国もその方針で進むと予想される。ただし、ロシアのウクライナ侵攻という懸念材料が発生し、一時的な原油価格の高騰が避けられない。燃料費の増加は避けられないが、全体として大きな変化はないと予想している。
		金属製品製造業（営業担当）	・先行きの見通しが不透明な状態が続いている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・売上は低迷したままであり、ここ数か月で客の投資意欲が改善するとは思えない。さらに、ウクライナ危機が欧州経済にダメージを与えることで、国内の企業も投資を控えることが予想される。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・先行きは不透明であり、仮にまん延防止等重点措置が3月中に解除されたとしても、2～3か月後にどうなっているかは分からない。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・1月27日からまん延防止等重点措置が適用となった後、新型コロナウイルスの感染状況はピークが過ぎたように感じるが、依然として延長されている。感染の収束のめどが立たず、業界では先の見えない状態が続いている。
		建設業（経営者）	・問合せなどの動きは増えていないため、今後もしばらく状況は変わらない。
		建設業（経営者）	・ウクライナの件で経済制裁が始まり、原油や天然ガス、半導体などの価格が高騰し、供給不足も予想される。建設資材の高騰や品不足も、厳しい状況になると心配している。
		建設業（営業担当）	・コロナ禍の影響で、資材の納期遅れがよく話題に出る。まだ影響は大きくないが、顕著に増えることになれば、売上などに悪影響が出てくる。
		輸送業（営業担当）	・大手以外の通販業者の荷物が増えるなど、荷物量は増加しているが、利益は増えていない。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	・コロナ禍が収束したとしても、長きにわたる不況を乗り切るために積み上がった負債を処理し、以前の収支を取り戻せるのかどうかは疑問である。今年は中小零細企業の倒産が増えそうな予感がする。
		金融業（営業担当）	・全国規模で新型コロナウイルスの感染が広がるなかで、政府の確固たる方針がみえず、足並みがそろわないように感じる。
		広告代理店（営業担当）	・ここ数か月はWeb媒体、紙媒体共に、広告売上が前年と変わらない。
		司法書士	・コロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、状況が一段と厳しくなっている。現時点では良くなる要素が見当たらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・大きく変わる要素はない。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルスは変異を繰り返すことが予想され、ウィズコロナで外出を控える生活は避けられない。また、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響は、エネルギー関連を中心に、生活面にも出てくる。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・コロナ禍が続いているため、良い流れにならないが、コロナ禍が収束すれば様々なことが変わってくる。
		繊維工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、スポーツ用ソックスの販売量が減少している。室内競技だけでなく、室外競技でも減少傾向が続いている。
		繊維工業（総務担当）	・ソーシャルディスタンスといったコロナ禍の影響で、集客の減少が続いている。催事の延期や縮小の連絡もきている。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・コロナ禍の影響で不安定な状況が続くと予想され、先行きに安心できる材料が見当たらない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・ウクライナ問題もあり、経済の減速を感じる。どうしようもなく大きな力が働いており、軌道修正には少し時間が掛かる。
		金属製品製造業（経営者）	・3月以降は回復すると予想していたが、3月の発注の内示や受注量のみても、余り芳しくない。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がもう少し落ち着かなければ、営業活動も制限される。今後、ウクライナ情勢の推移次第では、更なる物価の上昇も考えられる。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・ようやく納期なども戻りつつあったが、今後はロシアのウクライナ侵攻の影響がどう出るかが全く分からない。少なくとも良い影響はない。
	×	電気機械器具製造業（営業担当）	・既に新型コロナウイルスの影響で材料が不足しているなか、ウクライナ情勢が追い討ちとなり、今後はどうなるかが予想できない。
	×	通信業（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響に加え、ロシアによるウクライナ侵攻で経済が悪化する。
	×	不動産業（営業担当）	・まん延防止等重点措置の延長が決まりそうであるため、2～3か月後の景気はまだ悪い。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・コロナ禍のため先行きが見通せず、ウクライナ情勢の激化による影響も懸念される。
雇用関連		-	-
(近畿)		人材派遣会社（役員）	・ウクライナ情勢にもよるが、まん延防止等重点措置が解除されれば、景気は順調に回復する。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着く影響もあり、今よりもやや回復すると予想される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・全体的に求人数が増え、求職者も増えている。
		人材派遣会社（経営者）	・新規案件については、企業は慎重になっている。ただし、来年度の入札関係が佳境を迎えるなか、ボリュームや価格は前年度を上回るケースが増えている。福祉関係の分野ではかなり強いニーズがあるほか、自動車やIT関係の仕事も好調であるなど、業種による好不調の二極化がかなり進んでいる。
		人材派遣会社（営業担当）	・今後は短期的な求人が増えると予想される。
		アウトソーシング企業（社員）	・賃金の見直しはあったが、物価が上昇している。
		職業安定所（職員）	・求人数の増加のほか、景気回復への期待から新規求職者も増え、年度内に就職を決めようとする動きもみられる。特に、45歳未満の登録者が増加している。その一方、登録中の求職者の中には、新型コロナウイルスの感染への不安から、求職活動を自粛する動きもみられる。
		職業安定所（職員）	・有効求人数は底堅く推移しているが、有効求職者数も高水準にある。特に、コロナ禍に起因する自己都合離職や在職中の就職活動が目立つ。一方、まだコロナ禍の収束がみえないなか、今後も再就職活動には慎重な傾向が続くと予想される。
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数がなかなか減少しないほか、世界情勢の不安定化による燃料費や材料費の高騰が不安要素となり、安定的な採用に踏み切れない事業所が増える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況がピークアウトしたと報じられているが、まん延防止等重点措置が続いている以上、企業は対面形式の採用活動には消極的な様子である。
		学校〔大学〕（就職担当）	・今後のコロナ禍の推移次第であり、雇用環境が良くなるかどうかは判断できない。
		人材派遣会社（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、ホテルや飲食業界の求人はますます悪化が進むと予想される。
		人材派遣会社（支店長）	・例年よりも動きが悪く、少し景気が下降すると予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、学校の学級閉鎖などが続いている。休業となる人も多く、今後の採用計画も保留となるケースが出てくる。
		アウトソーシング企業（管理担当）	・通常の仕事もほとんど入ってこない状況が続いているため、今後も期待できない。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大はピークアウトし、多少は時間が掛かっても、感染第6波は収束に向かう。一方、ロシアのウクライナ侵攻により、世界経済に混乱が生じている。原油や天然ガスなどの原材料価格が高騰し、企業の求人計画にも悪影響が出る可能性がある。現時点で収束の見通しは立っておらず、景気は悪化する懸念がある。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・ロシアのウクライナ侵攻により、世界的に様々な問題が出ているため、日本もその影響で景気が落ち込んでいくと予想される。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が懸念されるなか、ウクライナ情勢が緊迫し、更に原油や原材料価格が高騰することで、国内産業への影響が心配される。
		職業安定所（職員）	・ロシアのウクライナ侵攻に伴い、エネルギーや金融関連への影響が出るほか、新型コロナウイルスオミクロン株の感染収束も見通しが立っていない。飲食やホテル、旅行業の回復が足止めとなるなど、雇用情勢も一段と厳しい状況になることが予想される。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・まん延防止等重点措置が解除されても、新型コロナウイルスの感染第7波に備えるなど、企業の財布のひもは緩みそうにない。新聞広告の出稿も、前年比で85%を見込んでいる。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	・ウクライナ問題に解決の糸口が見つかるかどうか懸かっている。将来の見通しが立たない状態であるため、リスクオフの動きが続く。

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (中国)		高級レストラン（事業戦略担当）	・まん延防止等重点措置の解除で景気が良くなることを期待する。
		競艇場（企画営業担当）	・2か月後にはG1競走、3か月後にはSG競争の開催で十分な売上が確保できる。
		商店街（理事）	・3回目のワクチン接種の進展で、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、景気はやや良くなる。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・例年2月は売上が下がり、3～4月には回復する。まん延防止等重点措置が解除されれば消費行動の活発化が期待できる。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・例年、年度替わりで忙しくなる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が徐々に落ち着き始めており、来客数の増加に期待する。季節が変わり様々な需要があるため、来客数の増加や売上上昇が見込める。
		百貨店（売場担当）	・季節が良くなる2～3か月後は、現状のまま新型コロナウイルスの新規感染者数が推移しても、客にある程度の購買意欲は出てくる。今月が底であると考える。
		スーパー（店長）	・ここ2～3か月の来客数は前年と変わらないが、購入単価は上向いているので、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、景気は回復する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスがピークアウト、地域行事が復活し、行楽シーズンになれば、景気はプラスへ動く。飲食については、まだ中食需要が続くと思われるが、食品部門は好調が継続する。
		スーパー（総務担当）	・今月は雪の日が多かったが、気候が良くなり、新年度に向けて需要も高まれば景気は持ち直す。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが終息して、人の動きが活発になる。
		コンビニ（支店長）	・来客数の回復は新型コロナウイルス次第である。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・前年比で考えると、新型コロナウイルス感染症が終息すれば来客数の増加が期待できる。以前と比べ、人々が新型コロナウイルスに関して楽観的になっており、これからスポーツイベントなどが開催されれば、景気回復も期待できる。
		家電量販店（販売担当）	・決算期、新生活シーズンになれば販売量が増加する。
		乗用車販売店（営業担当）	・生産状態が改善されてくると、新車登録が進み、売上が立つため、景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてくれば景気は上向く。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・気温が上昇すれば来客数が増加する。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・ワクチン接種が進めば来客数が増加する。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・県の観光振興策が始まるため、観光客数の増加が見込まれる。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すれば、来客数が増加する。
		バー（経営者）	・新型コロナウイルスが終息すれば来客数は増加する。
		観光型ホテル（副支配人）	・まん延防止等重点措置が解除になり営業を再開すれば来客数は増加するが、通常の利用人数になるまではまだ時間が掛かる。
		都市型ホテル（企画担当）	・客の消費意欲は高いので、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば段階的に動きが出てくる。
		都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の終息と3回目のワクチン接種の効果で景況感が戻る。企業の周年祝賀会などの先行受注が入ってきており、先延ばしになっていた企業、団体の宴席などの復活が期待できる。
		都市型ホテル（総支配人）	・3回目のワクチン接種並びに経口治療薬の普及で新型コロナウイルスの新規感染者数や重症患者数が減少し、客の自粛が緩和することを期待する。
		旅行代理店（支店長）	・Go To Travelキャンペーン等旅行関連施策の再開がポイントとなるが、需要喚起を期待したい。
		タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除されたことで夜の人通りが増えてきているので景気は良くなる。
		タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除されれば景気は良くなる。
		通信会社（経理担当）	・3回目のワクチン接種により新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、少しずつでも景気が良くなることを期待する。
		テーマパーク（営業担当）	・現在新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により新規感染者数が増加しているが、2～3か月経過すれば現状よりは収まってくる。
		テーマパーク（業務担当）	・ウィズコロナの生活様式が定着し、景気はやや良くなる。
		観光名所（館長）	・ワクチン接種が進み、まん延防止等重点措置が解除になれば、人の動きが出てくる。
		ゴルフ場（営業担当）	・まん延防止等重点措置が解除になり、ワクチン接種が進めば予約状況は回復する。
		住宅販売会社（営業担当）	・まん延防止等重点措置が解除されれば、人流は活発になる。
		商店街（代表者）	・すぐに客足が戻るような雰囲気ではない。
		商店街（代表者）	・売上が減少する懸念がある。
		商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置は解除されたが、新型コロナウイルスオミクロン株の終息はまだ先のようなので、景気回復は当分見込めない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・景気の先行きは不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（経理担当）	・消費税増税や新型コロナウイルスの感染拡大などが、引き続き、景気回復にマイナスの影響を与えている。ガソリン価格が高騰し、今後、食料品などの値上げも予定されているので、景気は良くならない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しても、客が以前のライフスタイルに戻らないため、ハイブランドだけは売上を確保するが、他の商品に関しては百貨店離れが進む。
		百貨店（営業担当）	・3回目のワクチン接種が始まり、新型コロナウイルスの感染が一旦落ち着くであろうが、まだ景気の先行きは不透明である。客の外出頻度が高まっても、客の衣料品などの購買意欲はすぐに回復はしない。
		百貨店（外商担当）	・当面は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着く気配がない。ワクチン接種が行き渡り、日々の新規感染者数が減少してくるまでは大幅な景気回復は見込めない。
		百貨店（営業企画担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえなければ、来客数が回復する見込みはない。
		スーパー（店長）	・客単価が上昇し、来客数が増加しない傾向が続くため、景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・客がまとめ買いをする傾向が続くので、来店頻度は低いままである。
		スーパー（店長）	・大きな景気対策もないので売上増加は見込めない。
		スーパー（業務開発担当）	・家庭での節約は食料品からとなっている。余分な商品購入や衝動買いはなくなってくる。
		スーパー（営業システム担当）	・値上げの報道が多く、客の買い控えが発生する。景気の悪化に関する報道が続いているため、値上げ前の駆け込み需要もさほど発生せず、最低限の購入になる。
		スーパー（販売担当）	・現状で2～3か月先の景気が良くなる材料はこれと見つけられない。
		衣料品専門店（代表）	・政府が新型コロナウイルスの感染症法の分類を第2類から第5類に変えることに消極的であるため、今後も新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるたびにまん延防止等重点措置を適用する可能性がある。加えて、ウクライナ問題が深刻化すれば、客の購買意欲は低下する。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないと景気回復は見込めない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染が依然として続いており、2～3か月先には終息しているというのは希望的観測でしかない。
		家電量販店（企画担当）	・2～3か月先は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、売上が上昇する可能性がある。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算時期ではあるが、新規来客数は少ない。半導体不足や海外からの部品入荷遅れによる納期遅延の影響が大きく、客の決断を鈍らせる。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まりつつあるが、来客数が増える見込みはない。
		その他専門店 [布地]（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、景気は少し良くなる。春が近づき、人の心も少し明るくなる。
		その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まり状態であるが、新生活に向けて客の購買意欲が高まる。感染状況が落ち着いていくことで安心感が出て、客の財布のひもが緩めば景気は少し良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・全く数字が読めない。新型コロナウイルスの動向次第では、景気がかなり下振れする。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、来客数を維持することが困難になる。また、ガソリン価格上昇や食料品の値上げがマイナスの要因となり、今後は苦戦が予測される。
		観光型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きつつあるが、先行予約がなく苦しい状況が続く。
		旅行代理店（経営者）	・ワクチン接種で新型コロナウイルス感染症は終息の方向に向かうが、海外情勢が落ち着かないと景気回復は難しい。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの影響は一旦落ち着いている。ここ2～3か月は利用料金の延滞状況に変化はない。
		通信会社（企画担当）	・客の消費感覚が切り替わるには、まだ時間を要する。
		通信会社（販売企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が長引き、客は外出を控える傾向が続く。
		通信会社（工事担当）	・客の動向から、景気に変化はない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況の先行きは不明で、Go To Travelキャンペーンの再開も見通せない。
		設計事務所（経営者）	・ロシア軍のウクライナ侵攻の影響で、ガソリン価格の高騰に拍車がかかる。今後も建築資材のコスト等への影響が続く。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルス感染症はしばらく終息しそうになく、建築物価は上昇して、景気に変化はない。
		設計事務所（経営者）	・しばらくは現状が続く、加えて住宅設備機器の納期遅延などにより鈍い動きとなる。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス終息の気配はなく、景気浮揚の期待感が持てない。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・世界経済の不安定さに伴う石油や食料品の値上げで、商品仕入価格が上昇し、客の節約意識は一段と高まる。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスに加え、燃料を始めとした商品の値上げで客の様子に明るさがみられず、中所得者以下、低年齢層の購買意欲が今後も減退する。
		スーパー（財務担当）	・3回目のワクチン接種で新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すれば、客の外出機会が増えるが、内食需要が低下して売上が減少する。
		コンビニ（エリア担当）	・県内で新型コロナウイルスオミクロン株が市中感染しており、景気が良くなるとは考えられない。ウクライナ情勢でガソリン価格の値上げの予定があり、景気は悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・現内閣になり株価が下がり、多くの不満を耳にする。経済政策の立て直しが必要である。
		衣料品専門店（経営者）	・コロナ禍でいろいろないろんな行事が中止になり、客が着物を着る機会が減少しているため、今後も景気はやや悪くなる。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で来客数は減少する。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の終息がみえず、客の収入も減少し、景気は悪くなる。
		乗用車販売店（店長）	・ガソリン価格が上昇傾向なので、燃費など維持費に重点を置く客は他社の製品に流れる。年度末にかけて新規来客数が増加することはない。
		乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明な状況で、1～3月の増販期が終わってしまう。また、景気が好転する材料が余り見受けられないため、景気はやや悪くなる。
		乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスと新車の生産量減少の影響で、販売不振が続く。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻が景気に影響する。
		タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除されて観光客数が徐々に回復すれば、駅周辺の乗客数は増加する可能性があるが、客の動きがすぐに戻ることはない。
		タクシー運転手	・ワクチン接種の影響で徐々に客の利用率が上昇するが、景気回復は難しい。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが所得に与えるダメージが蓄積しており、景気好転の気配はない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少したままで、先行きが読めないため、景気はやや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少し、景気が厳しい状況は続く。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、まん延防止等重点措置が解除されないと人の動きは戻らない。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・ガソリン価格や物価が上昇し、景気回復は難しい。
	×	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で景気は回復しない。
	×	百貨店（販売計画担当）	・個人所得の伸び悩み、ウクライナ情勢の悪化、株価の変動で景気回復は望めない。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息すれば、巣籠り需要がなくなり、通常の販売量に戻る。
	×	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルス終息が見通せない状況では、来客数の好転はなく、販売量の苦戦は続く。特に輸入品などで物流面の不安定さが改善されておらず、在庫不足による機会損失が著しい状況が続く。
	×	コンビニ（エリア担当）	・ロシア軍のウクライナ侵攻で燃料の価格高騰が更に加速する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルス以外にガソリン価格の高騰、いろいろな商品の値上げなど、景気回復に良い要素は全くないため、今後、景気は悪くなる。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・食料品、石油製品、タイヤ、鉄アルミなど生活必需品の値上げで客の買い控えが発生すれば、更に経済が悪化する。また、人件費の高騰による経営圧迫や休日の増加で生産性が悪化し、中小企業は非常に厳しい状況となり、倒産企業が増える。
	×	一般レストラン（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻の影響でガソリンや様々なモノの価格が上昇するため、景気は良くならない。
	×	通信会社（広報担当）	・低価格の商品を希望する客が多く、少しでも値段が高いと商談にならない状況が続く。
	×	美容室（経営者）	・客の自粛行動が当たり前になり、以前のような状況に戻るには時間が掛かる。
	×	住宅販売会社（営業所長）	・住宅単価や土地単価等のコスト上昇が付加価値提案では説明できない領域に入っている。
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	・今後も繁忙期が続く。
		輸送業	・客からの受注が増えている。
		農林水産業（従業員）	・まん延防止等重点措置が解除されれば、飲食店の自粛もなくなるので、景気が多少改善される。
		繊維工業（財務担当）	・新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いてくことで、経済活動が徐々に活発になる。
		輸送業（業務推進担当）	・コロナ禍のピークは抜けた感触がある。ピーク時の企業努力が報われ始める。
		通信業（営業企画担当）	・3回目のワクチン接種などで現状よりも状況が良くなる。また、政府のデジタルインフラ強じん政策がデータセンター事業の後押しとなることや5G関連の市場が拡大することで、データ量がますます増大し、データセンターやクラウド、ICT関連の市場の役割や重要性が高まる。
		不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の需要時期であり、景気は良くなる。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で催物の中止など経済活動が大きく様変わりしており、商機を見付け出す必要がある。物価上昇で市場の動きは鈍化する。
		食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るい続ければ、外食産業の動きが悪くなり、厳しい経営状況が続く。
		木材木製品製造業（経理担当）	・値上げとコスト高の状況のせめぎ合いによるが、インフレによってどこまで実質利益を確保できるかが今後の課題となる。
		化学工業（総務担当）	・原燃料価格の高止まりで、景気回復の要素が見つからない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大口案件の生産は当面継続する見込みである。鉄鋼業向け生産も高い水準が続きそうなので多忙な状況が続く。
		鉄鋼業（総務担当）	・受注量の見通しに余り陰りはみえず、現行水準が予測される。
		鉄鋼業（総務担当）	・半導体不足が継続するため、景気は変わらない。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はない。
		建設業（総務担当）	・国際紛争や新型コロナウイルスまん延などによる資源や資材の不足がこの先しばらくは継続する。
		輸送業（総務・人事担当）	・新型コロナウイルス及びウクライナ情勢などの影響で、景気の先行きが見通せない。
		金融業（融資企画担当）	・半導体不足に原油価格高騰が加わり、今後も地元自動車メーカーの国内生産は伸び悩む。このため、系列の地元部品メーカーの受注量と操業も中低位が継続する。
		金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルス感染症の終息への動きが鈍く、取引先の収支改善には時間を要する。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が継続しており、景気に変化はない。
	会計事務所（経営者）	・新年度に向けて新規案件が動き出す一方、ウクライナ情勢による株価下落等が客に与える心理的影響がマイナスに作用することが懸念される。	
	化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの景気への影響度は徐々に低下してくるであろうが、今後の国際情勢の悪化が景気減速につながる懸念がある。	
	非鉄金属製造業（業務担当）	・電子材料関係の受注量は若干の低下が見込まれる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（総務担当）	・受注量は現状とほぼ変わらない見込みである。鉄原材料価格の高騰が更に進む可能性があることに加え、政情不安による原油価格上昇の懸念もあり、採算面ではより厳しくなる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・ウクライナ問題による物価上昇等、新たな懸念材料もあるため景気の先行きは不透明である。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・物流網の混乱や半導体不足の解消時期が不透明である上に、大きな地政学リスクも顕著になり、これらは少なからず景気に悪い影響を及ぼす。
		建設業（経営者）	・受注の先行きが不透明で、材料価格も高騰している。また、新型コロナウイルスの影響が続き、近いうちにウクライナ情勢も景気に影響を与える。
	x	*	*
雇用 関連		-	-
(中国)		人材派遣会社（経営戦略担当）	・新型コロナウイルス第6波のピークアウトが進み、景気は回復する。
		人材派遣会社（副支店長）	・年度明けに派遣ニーズが増加傾向になる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたが、世界状況が不安定になってきており、マイナス要因の方が強くなっている。引き続き景気の状態は変わらない。
		人材派遣会社（支社長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況がピークアウトしても、新しい変異株の流行で、現在と同様の状況が起きるため、景気は変わらない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ガソリン、食料品の更なる値上げによって消費の鈍化が懸念される。3回目のワクチン接種が進み、新型コロナウイルス第6波の感染が終息することが望まれる。
		職業安定所（雇用関連担当）	・県内では新型コロナウイルスオミクロン株感染はまだ落ち着いていないため、景気は変わらない状況が続く。
		職業安定所（事業所担当）	・人材不足で活発に求人を出す産業があるものの、まん延防止等重点措置の適用延長の影響で新規求人数が減少している産業も多い。今後の感染状況にもよるが、当分の間、景気は変わらない。
		民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・半導体不足の影響で製造業が引き続き採用を見送っており、製造業に就きたくても希望がかなわない求職者が増える。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響は時間が経過することにより多大な影響を及ぼす。どこまで持ちこたえられるか、一時的にしのけても、現状が続く限り経済的な危機は変わらない。
		職業安定所（所長）	・新型コロナウイルス感染症の終息を期待して、宿泊業や飲食サービス業で求人数は増加傾向にあるが、新型コロナウイルスオミクロン株の急拡大で今後の動向が大いに心配される。
		民間職業紹介機関（職員）	・食品の値上げに加え、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー確保の影響で懸念される一般家庭への価格転嫁に所得上昇が追い付いていない状況になる。客は貯蓄優先で消費に金が回らず、負のスパイラルから脱せられない状況となる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・ロシアのウクライナ侵攻の終息がいつになるのかが不透明で、景気は悪化する。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢が企業活動に与える中長期的な影響などから、今後の景気回復は見込めない。
	その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしている。また、原油高、半導体不足、ウクライナ情勢等、不安定要素が多い状況となっており、景気回復は難しい。	
	x	-	-

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連		百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、購買活動が活発になると予想する。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況は徐々にピークアウトしていき、春頃から景気はかなり良くなると思う。
	(四国)	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、春頃から人が動き出すと予想する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が高止まりしている現状を鑑みると、先行きに不透明感がある。しかし、過去の傾向をみると、感染の波はおよそ3か月周期であるため、春先には現状が一段落し、徐々に景気が回復すると推測する。
		コンビニ（商品担当）	・3回目のワクチン接種や春の新生活がスタートすることで、人流が増加し経済活動が活発化すると思う。
		衣料品専門店（経営者）	・現時点で売上は堅調に推移しており、暖かくなると春物の服が売れるようになることから、本格的に景気が回復すると期待している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・3～4月頃には売上が少し良くなると思う。
		都市型ホテル（経営者）	・先々の予約の動きが回復傾向にある。
		タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除されれば、徐々に夜の街にも人が出てくると予想する。このまま新型コロナウイルス新規感染者数が減少すれば、春頃にはお遍路の仕事が多少入ると予想されるため、状況は少し良くなると思う。
		通信会社（営業部長）	・半導体不足による納入遅延がほぼ解消されてきており、景気が徐々に上向くと予想する。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により客の動きは停滞傾向にある。今後は新生活のスタートによる経済活動の活性化を期待したい。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの感染状況は悪化しているが、設備投資を開始する客が徐々に増えており、経済優先という雰囲気を感じる。
		商店街（事務局長）	・富裕層の消費は高額品を中心に相変わらず旺盛であるが、ここに来て株価の低迷が続いており、今後の消費動向に影を落とさないか懸念している。新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大はピークを迎えたと思われるが、多くの人が安心して外出できるまでにはあと数か月掛かるとみられる。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況を予想することが難しく、先行きは不透明である。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数や死者数が減少すれば、前年末のように街に人が戻ると思うが、もうしばらくはこのままの状況が続くと予想する。燃料費や商品の仕入価格の高騰といった懸念要因もあるため先行きは不透明である。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が急増したことで景気が低迷しており、依然として消費者の財布のひもは固いままである。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況のなか、ウクライナ情勢による株価下落といった不安材料もあり、先行きは不透明である。
		スーパー（企画担当）	・4～5月頃まで一部商品の値上げが続くため、前倒し需要が続くと予想する。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数の今後の増減次第であるが、現状維持程度で推移すると予想する。
		コンビニ（総務）	・今後も状況は変わらない。
		家電量販店（店員）	・様々な商品が値上げされていることを懸念し、客が購入を躊躇している感じが見受けられ、今後も買い控えが続くと予想する。
		家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルス第6波が落ち着いても、現状はしばらく変わらないと思う。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が収束し、自動車の部品不足が解消されない限り現状は変わらない。
		乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルス感染症の終息状況次第である。
		一般レストラン（経営者）	・アフターコロナになれば多少景気は良くなるが、収入が減少している人も多くいるため、新型コロナウイルス発生前のような状況に戻るまでには時間を要すると思う。
		スナック（経営者）	・国や地方自治体のトップが経済活動再開に向けた前向きなメッセージを発信しなければ街に人は戻らず、現状が続くと思う。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、Go To Travelキャンペーンが再開されれば景気は良くなると思うが、しばらくは現状が続くと予想する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除されたとしても、すぐに夜の街に人が戻るとは考えづらい。日中も客は足早に自宅に帰るといった状況が続いており、状況がすぐに良くなるとは思えない。
		通信会社（社員）	・しばらくは現状が続くと思う。
		競輪競馬（マネージャー）	・3回目のワクチン接種が始まったが、新型コロナウイルスオミクロン株の変異株も確認もされており、感染の収束時期が不透明であることから状況は変わらないと予想する。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		美容室（経営者）	・同じような状況が長く続いているため、この先も良くも悪くもならないと思う。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしていることに加え、3回目ワクチン接種の進捗状況が芳しくなく、客が安心してレジャーを楽しむことができる時期はしばらく先になる。さらに、原油価格の高騰等による商品の値上げが始まってきており、消費が低迷すると予想する。
		商店街（代表者）	・日々状況が激しく変化しており、先を見通すことが困難であるが、好転的な予測をすることは難しいと思う。
		スーパー（店長）	・度重なる値上げにより消費が低迷すると予想する。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことで、客が再び外食や大手商業施設に流れ、売上が減少すると予想する。
		コンビニ（店長）	・夕方の早い時間から翌朝までの間、来客数が激減しており、今後もこの傾向は続くと思予想する。
		乗用車販売業（営業担当）	・4月以降は来客数、契約者数共に落ち込むと予想する。
		乗用車販売店（従業員）	・燃料及び穀物等の値上げに加え、ウクライナ情勢等の地政学的リスクもあるため、今後はますます状況が厳しくなると予想する。
		通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が長期化しており、景気が悪化すると思う。
		観光遊園地（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が依然として高止まりの状態であり、景気は悪化すると予想する。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束が見通せず、ウクライナ情勢の影響もあるため、景気は更に悪化すると思う。
	×	衣料品専門店（営業責任者）	・まん延防止等重点措置が解除されたとしても、激減した売上を取り戻すまでの回復は期待できない。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況は収束に向かう可能性があるが、ウクライナ情勢の影響による物価の上昇が観光産業に更なる打撃を与え、状況は悪化すると思う。
企業 動向 関連 (四国)		*	*
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が徐々に減少し、飲食業や観光業も徐々に回復すると推測する。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・除菌や掃除用ウェットクリーナーは、新型コロナウイルスの影響もあり同業他社や新規参入企業が力を入れてきているので、需要は高いが供給量も多く、売上は余り伸びない。
		鉄鋼業（総務部長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、景気が上向くと思う。
		電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルス第6波がピークを過ぎ、3回目のワクチン接種も進んでいくことから、景気は回復基調になると予想する。
		広告代理店（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されると同時に3回目のワクチン接種も進むと予想されるため、新年度から観光関連の販促イベントが少しずつ復活することを期待している。
		木材木製品製造業（営業部長）	・材料の供給が十分ではないため、納期対応と生産が不安定な状態が継続すると予想する。今後、燃料費の上昇が懸念されており、コストアップ交渉に注力する必要があると考えている。
		建設業（経営者）	・引き続き民間工事の件数が少ない状況が続くと思う。
		輸送業（営業）	・世界情勢に対する不透明感から国際原油市場では7年半ぶりに1バレル当たり100ドル超まで上昇しており、今後も不安定な高止まり状態が続くと予想される。このため、物流事業者にとっては燃料油の値上げが経営を圧迫する深刻な問題となっている。また、原油価格の上昇がインフレに拍車を掛けることは必至であり、消費財の値上げによる消費低迷が取扱物量の低下となって影響すると予想する。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くめどが立つまでは、現状が継続すると予想する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、消費者行動が活発化し経済は循環するが、感染拡大と消費行動停滞のサイクルが続いており、今後も景気は変わらないと予想する。
		農林水産業（職員）	・日配品の値上がりにより利益率が下降するなか、青果物を利益商材とする量販店が多い傾向にある。一方、青果物の生産者は肥料や農薬等の生産費上昇による利益率の低下で、生産意欲が減退しており、景況感は悪い。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・景気は回復基調であるものの、点在する地政学的リスクに加え、世界的な半導体不足による調達環境の悪化や原材料価格の高騰、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大等の懸念材料があり、しばらく景気回復は期待できない。
		輸送業（経営者）	・コロナ禍での経験を踏まえた政策が実施されているとは思えないため、今後も景気は悪化する。
		輸送業（経理）	・客の中国向け輸出入量が減少傾向で推移すると予想する。
		税理士事務所	・新型コロナウイルスの影響に加え、ウクライナ情勢の影響で物価が上昇する可能性もあり、購買意欲が低下すると思う。
	x	化学工業（所長）	・ロシアのウクライナ侵攻は、原油価格の高騰につながる可能性が極めて高いため、一部企業の損益に多大なる打撃を及ぼすと予想する。
	x	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束時期が不透明であることに加え、行動制限の継続や物価の上昇、ウクライナ情勢による経済的な不安の助長など、取り巻く環境は明るさがない。これらの要素は、日常生活における景況感に対しマイナスに大きく作用している。
雇用 関連 (四国)		-	-
		人材派遣会社（営業担当）	・アフターコロナ関連需要の活況が期待される。
		職業安定所（求人開発）	・新規求人数が1年前と比べ増加傾向にあり、就職率も改善している。3回目のワクチン接種も開始されたため、宿泊業や飲食業等で今後回復基調に転じると予想する。
		学校〔大学〕（就職担当）	・3回目ワクチン接種による新型コロナウイルス新規感染者数の減少や、まん延防止等重点措置の解除により景気が回復すると予想する。
		民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルス感染症の終息まではもう少し時間を要するため、現状が続く。
		人材派遣会社（営業）	・年度末を迎えるに当たり、人の入れ替わりで求人ニーズが高まることが予想されるが、新型コロナウイルスの影響で売上が落ち込んだ飲食業や公共交通業などは経営が圧迫されているため、新たに人を雇用することが難しいと予想する。
		求人情報誌（営業）	・企業側の求人内容と求職者側の就職条件のマッチングが改善されないことが予想されるため、景気は悪化する。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・企業の異動時期が落ち着き、求人数の減少が予想される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・個人消費の拡大がなければ、民間企業の景気回復は厳しいと予想する。
	x	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響でサービス業の求人数が非常に少なく、景気も低迷している。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)		一般小売店〔精肉〕（店員）	・まん延防止等重点措置が解除されると売上が上がる。
		家電量販店（従業員）	・新学期に向け、新生活用品の需要が増えていく。
		観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況は全く先が読めないが、収束すると期待している。
		商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置が解除され、3回目のワクチン接種が進むと、新型コロナウイルスも収束に向かい、景気は良くなる。
		商店街（代表者）	・コロナ禍ではあるが、気候が暖かくなると人は動くため、景気に反映していけるように対応していきたい。
		商店街（代表者）	・3～5月と、様々な外出がある時期になり、現在の商況を考えれば景気はやや良くなる。
		商店街（代表者）	・年度末に向かい、客が必要な物品をそろえるため、売上は上がる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置が3月に解除されると、人の動きは一気に増加する。しかし、その動きが売上にどこまで影響するか分からず、多少は良くなっても厳しい状況が続く。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス第6波も3月になれば収束し、また、3回目のワクチン接種も進むため、景気は少し良くなる。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・気温の低下、新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の影響で、客も外出を自粛していたが、気温も上がり、新型コロナウイルス第6波も落ち着いてくる。県産の果物等のギフト商品とつながるため、期待をしている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・これから2～3か月は、卒業式や退職、母の日などで花を贈る機会が多くなる。新型コロナウイルスオミクロン株が流行していても、特に母の日には、遠方から帰ることができないためWeb等で花を贈る注文があり、売上が伸びると予想している。
		スーパー（店長）	・第3回ワクチン接種の進捗による新規感染者数減少で、生活が通常へ戻っていく。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大によるまん延防止等重点措置が消費者心理に影響する傾向が以前より薄れてきている。ただし、客から感染者が出るなど、多数の客を相手にする商売であり、人手不足のなか、従業員への感染等の心配は続く。一方、ロシアのウクライナ侵攻による物価の上昇が、景気回復を妨げる原因にならないか危惧している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の減少や3回目ワクチン接種の拡大、外国からの留学生受入れ緩和により、人の動きが活発になる。
		コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置が解除すれば、若干景気は変化すると期待するが、見通しが立たない。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・3月になるとまん延防止等重点措置も解除され、気温も上がり、来客数や客単価が戻ると期待をしている。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの第6波も落ち着き、客足も戻ってくる。
		家電量販店（店員）	・来客数は変わらないが、確実に購入する客が増加しており、売上が前年を上回っている。ファックスや電話機も入荷するようになり、新型コロナウイルス発生前とほぼ同じ売上状況であるため、2～3か月先は現在よりも良くなる。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・当県は、まん延防止等重点措置が適用されており、売上は前年と変わらない。解除後は人流も増加し、これから春先にかけて売上も増加していく。
		その他専門店〔書籍〕（副店長）	・新型コロナウイルス感染拡大が収束して人流が戻り、売上も戻る。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・第6波は山場を超えており、消費者動向は新型コロナウイルスの感染状況に慣れてきている。気温も上がり、新型コロナウイルスの治療薬やまん延防止等重点措置が解除されれば消費動向は高まる。今季は冬物処分も思うようには進まず、売上も厳しかったため、反動でファッションや服飾雑貨、化粧品等を中心に需要が高まる。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・新型コロナウイルス第6波が一旦落ち着く。
		一般レストラン（スタッフ）	・コロナ禍に慣れ、感染を気にしない状態が増えていく。
		観光旅館組合（職員）	・まん延防止等重点措置が解除になり、感染状況がある程度落ち着けば、気候も良くなり、旅行者が増える。
		観光型ホテル（総務）	・まん延防止等重点措置が解除され、3回目のワクチン接種が加速することで、人の動きが戻る。従来の企業の人事異動や卒業、入学時期の宴席需要が高まり、景気を押し上げることが期待される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスオミクロン株のピークアウトにより、人流の更なる増加が見込める。
		旅行代理店（職員）	・新規感染者数も今よりは減少する。
		タクシー運転手	・新規感染者数の高止まりで、経済の回復が遅れているが、ワクチン接種による効果で景気にも期待をしたいが、ロシア・ウクライナの情勢もあり、物価の高騰が続くと予想され予断を許さない状況である。
		通信会社（営業担当）	・まん延防止等重点措置が解除される見通しであるため、やや景気は良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスの影響というよりは、例年の閑散期に当たり、新規感染者数の急拡大が発生しなければ売上は増加する。
		競馬場（職員）	・第6波の出口戦略が議論され、社会経済活動の活発化が期待できる。
		美容室（経営者）	・春先になると客の気持ちも明るくなり、行動も増えてくるため、消費意欲につながってくる。2～3か月先の景気の回復を期待している。
		理容室（経営者）	・この業種は、卒業や入学に影響されるため、前月と比較すると少しずつ人の動きが出て若干良くなっていく。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・国内製薬会社からの飲み薬の承認申請が行われており、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大も緩やかではあるが、全国的に縮小傾向となっている。
		住宅販売会社（従業員）	・イベントや展示場数増加により、商談件数も増加傾向にあり、他社競合も多くなるものの、景気はやや良くなる。
		商店街（代表者）	・新規感染者が多いと、高齢者の多い地方の商店街は影響が大きい。まん延防止等重点措置の解除で、客の行動が回復すれば良いが、また新たな変異株による感染が広がるようでは期待は持てない。
		商店街（代表者）	・長引くコロナ禍で自粛生活が長くなっているが、昼間の商店街では以前と比較すると少しにぎわいを取り戻している。しかし、今回のロシア・ウクライナ情勢は、世界全体に大きな経済損失を与え、思わぬ株価暴落に陥る可能性がある。そうなると、一段と不景気が高まると予測される。
		商店街（代表者）	・業者や客は、現状に慣れ、新しい生活様式が身に付いてこの状態が続いていく。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・入学、卒業シーズンであるが、新型コロナウイルスの感染がどうにか収束しなければ状況は変わらない。3回目のワクチン接種が始まっているが、先行き不透明である。また、魚の水揚げが少なく、もし新型コロナウイルスの感染が発生していなければ、高額になっていた可能性がある。早く元の状況に戻ることを期待している。
		一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	・海外輸出に復調の兆しがみられるが、一部にとどまっている。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・ほとんどの客が高齢者で外出を控えているため、まだまだ景気回復に時間が掛かりそうである。新型コロナウイルスオミクロン株の影響で先行き不透明であり、早急な回復はない。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の発生や、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の影響等、先行き不透明な要素が大きい。
		百貨店（企画担当）	・ワクチン接種率の上昇もあり、新規感染者数は減少するが、大きな回復には至らない。また、ガソリン、食品等の価格上昇や、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の影響により、心理的に来店を自粛する客もいると予想され、現状からの回復は見込めず、低迷した状況が継続する。
		百貨店（企画担当）	・ゴールデンウィーク等もあるが、大きな意欲がないため、ほとんど変わらない。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少により、来客数は伸びるが、紳士、婦人衣料部門が低迷しており、前々年度の売上には程遠い状況がしばらく続く。
		百貨店（営業担当）	・連日の新規感染者数の報道で、来客数や購入客数の回復は、新規感染者数が減少するまで遅れるが、県下のサテライトショップやギフトショップ、通信販売、Web受注は好調が予想される。また、自家需要やし好性の高い舶来雑貨・和洋酒・時計・リビング用品等は堅調で、売上単価、商品単価は好調に推移している。しかし、新社会人や新学期需要の来客数増加は見込めるものの急回復は難しい。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響が少し緩和しているが、景気は現状のままである。
		百貨店（業務担当）	・客の関心は3回目のワクチン接種の時期であるため、これから2～3か月は購買への動きには期待できない。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染対策が続けば、政策転換でもない限り、前向きな消費意欲の喚起は期待できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経理担当）	・新しい生活様式や新型コロナウイルス感染拡大収束後の動きに予断を許さず、また各種値上げが多いため家計を圧迫し、可処分所得が減り食品消費が落ち込む懸念がある。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新変異株への危機感もあり、当面、経済活動が活発になるような期待は持てない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス第6波もピークを過ぎ、少し好転する。しかし、先行きはまだ明確ではない。
		衣料品専門店（店員）	・ゴールデンウィークに人が動き、その後感染拡大となり、今と同じ状況になる。
		衣料品専門店（取締役）	・季節も変わり、新型コロナウイルスも落ち着くと信じたいが、ロシアのウクライナへの軍事侵攻や、物の値上がりもあり、普通に生活を送ることへの懸念がある。外出の機会も少なく、社会状況もこのようななかで、洋服に金を費やすとは思えない。
		家電量販店（店長）	・来客数が例年よりも10%少ない状態が続いており、増加する気配がない。業界的には、現時点で売上を左右する好材料が少ないため、2～3か月後も現況と変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	・納期が改善されない限り、回復は見込めない。
		乗用車販売店（従業員）	・市場や環境状況は大きく好転しない。
		乗用車販売店（総務担当）	・半導体不足と新型コロナウイルス新規感染者数が改善し、収束する兆しがないため、メーカーの新車生産が好転されず、危惧される。
		住関連専門店（従業員）	・本来想定されていた新生活需要が全くない。3月にかけて大きな需要が見込めないため、大きく改善はしない。
		高級レストラン（経営者）	・閉店している店も多く、人も通らず、現在が最悪の状態である。先行き不透明であるため、この悪い状況は変わらず、3か月先は第7波が出てくる懸念もある。
		一般レストラン（経営者）	・まん延防止等重点措置の解除に期待しているが、長期にわたる制限のため外出を控えることに慣れてしまい、外食の機会や利用頻度がかかり減少する。
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が収束し、一時的に景況は良くなるが、その後は感染が再拡大するという繰り返しで、3か月後には再度感染拡大となっている予想できるため、現状と変わらない。
		タクシー運転手	・ワクチン接種の効果というよりも、一人一人の意識で景気動向が変わる。
		通信会社（企画担当）	・第6波の影響もあり、先行き不透明である。売上が落ち込む見通しではないが、新たな見込み増加となる予測もできない。
		通信会社（営業担当）	・通常なら繁忙期に入るが、新型コロナウイルスオミクロン株次第であるため、先行きが見えない。
		通信会社（統括者）	・店舗における予約来店が客にも定着しており、衝動的に購入したい客の対応を出張イベントにて対応できており、3月の最大の需要時期を乗り切り、前年並みの販売を見込んで活動している。
		美容室（経営者）	・全体に購買意欲がないため、今後の景気も良くはならない。金が回るような対策を期待している。
		美容室（店長）	・各店舗で感染防止対策を採っているため、新規感染者数は減少していくが、新型コロナウイルスの感染状況次第で景気は変化する。
		設計事務所（所長）	・ここ1年近く同じ状況が続いている。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		スーパー（企画担当）	・コロナ禍に加え、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が現実となり、先行きは不透明である。消費意欲が更に低下すれば、景気がより悪化する。
		スーパー（統括者）	・ロシア・ウクライナ情勢による経済状況の懸念と、インフレによる影響で、ディスカウントストアへの客の流れも強くなり、買上点数の減少による客単価の減少へつながってしまう。
		コンビニ（経営者）	・この状況が続くと、店舗存続の危機である。国に対しても具体的な対策を実施してもらいたい。飲食店だけでなく、通常の店に対しても支援対策が必要である。
		コンビニ（エリア担当）	・ロシア・ウクライナ情勢を含め、更なる値上げの波が来る。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（従業員）	・ロシア・ウクライナの世界情勢等、今後の影響が不透明で、部品や半導体不足の状況が改善されるとは思えない。加えて、食品やガソリン料金等の値上げによる出費を極力抑える生活防衛意識の高まりが懸念される。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が山場を迎えている。加えて、ロシアのウクライナへの軍事侵攻により、石油の大幅な値上げ等、物の値上がりが続く、消費は低迷する。
		タクシー運転手	・コロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ軍事侵攻が勃発し、経済にとっては良い状況ではない。特にエネルギー関係の値上がりは様々な影響を及ぼしている。
		通信会社（企画担当）	・2～3月が一時的な販売増加のピークである。
		通信会社（業務担当）	・まん延防止等重点措置の影響が引き続き出てくる。
		ゴルフ場（従業員）	・原油価格等の物価上昇に加え、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の状況が不透明であるが、年金受給者の客の割合が高いため価格転嫁が難しく、経営は厳しさを増す。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・半導体や樹脂製品の納入遅れや原油の値上がりは影響し、納期どおりの生産が厳しく、受注できない状況にある。さらに、ロシア・ウクライナ情勢により、更なる原油高、流通の悪化を懸念している。
		設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの感染拡大の収束がみえない。
	×	スーパー（店長）	・ロシア・ウクライナ情勢の影響で原油価格の高騰となり、商品の値上げで購買意欲を下げるため、日本だけでなく世界中で景気は間違いなく悪化する。
	×	衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種が子供も対象になり、新規感染者数も少し山を越えつつあるが、この先2～3か月の景気は、悪い状態が続く。
	×	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響で、景気は悪くなっていく。
	×	高級レストラン（経営者）	・まん延防止等重点措置が20日で解除され、それ以降、少しずつ客の来店はあったが、新規感染者数が高止まりしており、会社関係の客の動きはない。3月の予約状況もないが、歓送迎会の時期までには、新型コロナウイルスも落ち着き何とかが戻ってくることを望んでいる。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数は多いながらも、まん延防止等重点措置により減少傾向にあるが、重症化率が高い新型コロナウイルスオミクロン株ウイルスの情報もある。さらに、ウクライナでは軍事侵攻が始まり、経済への大きな影響も懸念され、景気回復は全く感じない。
	×	ゴルフ場（営業）	・新型コロナウイルスや原油価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢により、景気は後退する。原油価格の高騰への対策と新型コロナウイルスの感染防止対策の結果が良くならなければ、このまま景気は停滞する。また、ロシアのウクライナへの軍事侵攻により、製造業の不安定要素も大きい。
	×	設計事務所（所長）	・新年度からの様々な物の価格上昇があるが、収入については不透明である。新型コロナウイルスやロシア・ウクライナの世界情勢によって景気は左右される。
	×	住宅販売会社（従業員）	・景気は、ロシア・ウクライナ情勢の影響で原油や半導体不足で生産活動も滞っており、ますます先行きが不安となり、消費に金が回ることが少なくなっていく。株価も連動して下がっており、株売却後に消費に回るか、あるいは貯蓄に回るか不透明で懸念されるため、景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (九州)		電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先からは、更に増産要請を受けている。
		農林水産業（経営者）	・2月は、コロナ禍で動きが取れない状況であるが、新規感染者数も徐々に落ち着き始めており、3月は厳しくても4～5月は従来の動きに戻ると考えている。大手加工メーカーも値上げのなか新しい商品を売っており、量販店も移動や卒業、入学のイベントも重なり、ある程度期待ができる。また、外食ではすぐに元に戻るとは考えられないが、まん延防止等重点措置が解除されることにより、徐々に戻ると予想しており、人手不足も3月からの入国制限の緩和を期待している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・各国が半導体に対する対策を打ち出し、その効果が出ているため、半導体業界全体の動きが良くなっている。
		電気機械器具製造業（取締役）	・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻で、各方面にすぐに影響が及ぶとは考えられないが、不安定要素である。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連客の生産予測等から景気は良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・客先の生産は現状より増加計画であるため、景気は若干良くなる見込みであるが、半導体の供給不足を懸念している。
		輸送業（従業員）	・海外向け健康食品の受注が好調で、特に野菜不足から青汁の売上が伸びている。また、オーガニックの受注が、量、価格共に上向きになっている。
		金融業（営業）	・3回目のワクチン接種が進み、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数も下がり、人流、物流共に、若干上向くと考えられるが、新型コロナウイルス次第である。
		不動産業（従業員）	・賃貸オフィスの稼働率が、高水準を維持している。
		広告代理店（役員）	・営業利益率では厳しいものの、今月よりも売上が伸びると見込んでいる。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・求人数の問合せ件数が増加しており、企業の投資意欲が上向きになっている。
		経営コンサルタント（社員）	・物価の上昇はあるが、感染防止対策を徹底しているため、まん延防止等重点措置が解除されると購買意欲は増えていく。
		その他サービス業〔物リース〕（職員）	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、新年度を迎え、若干経済活動が活発化する。
		家具製造業（従業員）	・例年春先の市場は、落ち着く傾向にあるが、今年はこれまで以上に大きく落ち込む。3回目のワクチン接種が1つの鍵となるのは間違いない。
		化学工業（総務担当）	・今年度の業績と比較しても、3か月後は大きな変動がない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・以前では3～4月に結婚シーズン等の引き出物関係の受注があったが、ここ2年はほとんどなくなり、幾らかWebの売上があるくらいで余り伸びない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・半導体以外の業界では、受注状況が停滞しており、他の客の状況からでも今後の好転は望めそうにない。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・原油や各金属価格が値上がりしているため、原料調達も難しく、また、コロナ禍も影響し、生産ができずに供給不足が続いていく。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルス第6波が落ち着いても、停滞している経済が回復するにはまだまだ時間を要する。消費者の生活様式が新型コロナウイルス発生前に戻ることはなく、飲食店や観光業の回復次第である。
		通信業（職員）	・今年度に引き続き、来年度の官庁が施主の営業案件数と受注予想額が伸びておらず、受注目標に対して厳しい状況となっている。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響が一時的に落ち着いても、根本的な対策にまで至っていない。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株が減少しておらず、3回目のワクチン接種も進んでいない。国外では、ロシアのウクライナへの軍事侵攻も不安な状況が続いていく。物の動きも、不活発な状態であり、物価も上がり消費も望めない。建設関係にも受注関係に影響が出ており、現状が良くならずに続いていく。
		金融業（調査担当）	・感染拡大が山場を超えたという見方もあるが、新規感染者数が高止まりせず、順調に減少するかは不透明であり、新型コロナウイルスオミクロン株の亜種が出現する可能性もある。今後2～3か月間に、各種制限が解除されるかは分からない。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスに加え、ロシア・ウクライナ情勢も大きな不安材料となっており、経済活動や消費意欲の回復は今後の動向次第である。
		広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響を受け、社会活動が停滞したままであり、景気回復への見通しが立たない。
		経営コンサルタント（社員）	・行動が内向きになっており、新しい動きは期待できない。
		食料品製造業（経営者）	・石油を中心とする原材料等の値上げが、収益を圧迫している。
		繊維工業（営業担当）	・繁忙期に新型コロナウイルスの感染が職場でまん延すると厳しくなるため、感染拡大の山場が過ぎるのを願っている。感染対策は全て実施しているが非常に心配している。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・現在の受注案件が3月でほぼ納品を完了する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（事業統括）	・材料費が高騰し、部品の供給も改善される兆しはなく、ロシアのウクライナへの軍事侵攻は不透明で、先行きは悪い材料しか見当たらない。
		建設業（従業員）	・大型物件の受注が取れず、厳しい現状が続いている。見積案件も少なく、景気はやや悪くなる。
		金融業（従業員）	・公共投資が高水準で推移しており、住宅投資も持ち直し傾向があるが、原材料費の値上げが相次いでいる。また、新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数が高水準で推移しているため、飲食店や旅行、観光関連業者では先行きを懸念している。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響が不安材料である。
	×	建設業（社員）	・官公庁に依存する地方の業者にとって、5月のゴールデンウィークまでは、危機感を持って対応していく。
	×	輸送業（総務担当）	・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が、経済全体に与える影響は予測できないものの、良い方向には向かない。更なる原油高、部品調達の際の物価高を懸念している。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村の1月の補正予算でも、委託業務への予算が少なかったため、発注が少ないことが予測される。また、来年度の業務を先行して入札やプロポーザルの実施も例年と比較して少ない状況にある。このため、受注の機会が少なくなることから、景気が悪くなる。
雇用関連		-	-
(九州)		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、企業や求職者共に動きが出てくる。現在は、市況の情報提供を求められることが多い。
		人材派遣会社（社員）	・3回目のワクチン接種に関する注文や、新年度に向けての通常の注文も増えている。
		人材派遣会社（社員）	・年度末のまん延防止等重点措置の適用により、今期業績の見込みが立たず、欠員補充は一時検討の声が多い。まん延防止等重点措置が解除されると、求人、求職者にも動きが出てくる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・このまま不安な状態が続くと景気低迷は免れず、求人数も低迷の状態でも推移する。また、まん延防止等重点措置が解除され、新型コロナウイルスの感染が落ち着くと景気は良くなるが、物価の上昇もある。新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、第6波の新規感染者数が減少しつつある現状をみると、2～3か月後は収束し、景気は良くなっている。ただし、再度感染拡大となれば、景気の悪化を繰り返す可能性は高い。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの第6波の感染拡大にもかかわらず、求人数が減少していない。また、飲食サービス業、小売業、旅客運送業からの求人減少も起きていないことから、今後の景気はやや良くなっていく。
		職業安定所（職員）	・コロナ禍にあるが、新規求人数は順調に伸びている。
		民間職業紹介機関（職員）	・採用抑制の期間が長く、コロナ禍でのオンラインを使った採用手法もこの2年で確立され、新型コロナウイルスの感染が拡大しても、よほどでない限り大きく状況が変わることはない。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大も山場を超えたが、それでもまだ新規感染者数は多い水準で推移している。多くの都道府県でまん延防止等重点措置が延長される等、秋以降緩和していた日常生活への影響や経済への影響が心配される。ただし、企業の採用活動は、前年度採用を凍結していた企業の採用活動再開や採用数の増加等、採用活動で明るい話題も増えている。また、多くの企業の2023年卒採用者数は、今年と同程度になる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・コロナ禍であるためテレワークが定着しており、各種の規制が解除されても新しい生活様式や外出自粛等で、今後の消費に少なからず影響し、景気はマイナスになる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が減らず、飲食店や旅行関係の事業活動や個人の消費活動に歯止めが掛かっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	職業安定所（職員）	・新規求人数は1月は年度最高の数値となったが、2月は前月と比較して、800人以上の減少が見込まれる。また、新型コロナウイルスオミクロン株が収束せず、まん延防止等重点措置が適用され、雇用調整助成金の相談や受付件数が増加している。

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		*	*
		一般小売店〔酒〕（店長）	・3回目の新型コロナウイルスワクチン接種や、経口薬などで期待できる。
		百貨店（店舗企画）	・感染者数が大きく減っているわけではないが、まん延防止等重点措置が解除になったことで、徐々に客足が戻りつつあるように見受けられる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が収束に向かうという条件で、やや良くなると予想される。
		その他専門店〔陶器〕（製造）	・観光客数が前月、今月よりは増えていくとみている。
		観光型ホテル（代表取締役）	・まん延防止等重点措置が解除される予定であるため、宿泊部門の先行きの予約が動き始めている。料飲部門も少し動き始めている。ただし、2019年の状況の50%程度である。今後の新型コロナウイルスの影響次第でどのようになるのか先行きはみえない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響も和らぎ、気候も良くなってるので自粛ムードも解け、客足が戻ってくると期待している。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの飲み薬承認申請のニュースにより問合せが増えてきているが、10代の感染拡大が気になる。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・まん延防止等重点措置の解除後に、先行予約の伸びが顕著に表れており、なかでも個人客の動きが良い。
		スーパー（企画担当）	・食料品等の値上げで客単価の増加は見込めるものの、現状の新型コロナウイルス新規感染者数の下げ止まりの影響で来客数の動向が予測できない。
		コンビニ（店長）	・2月20日でもまん延防止等重点措置が解除されているが、来客数の推移からみると県民の自主的な外出自粛は依然続いており、今後2～3か月での景気回復は見込めない。
		コンビニ（副店長）	・1日の新型コロナウイルス平均新規感染者数は依然700人前後あり、またウクライナ情勢で旅行の景気が悪くなると危惧する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月はまん延防止等重点措置の解除などがあり客の出を期待したが、思いの外客の出が良くない。雨が多いのも要因かもしれないが、今のところ景気が良くなる気配を感じられない。まだまだ様子見だとみている。
		旅行代理店（マネージャー）	・まん延防止等重点措置が続き、新規予約等がほぼない状態である。毎日、数百人新規感染者が出るなかでの解除となり、解除後は予約などは増えつつあるが1か月後にはまた全面ストップにならないことを祈りたい。
		住宅販売会社（代表取締役）	・毎月のように建築資材の値上げがあり建築受注が難しくなるとみられる。
		住宅販売会社（役員）	・世界的情勢も悪くインフレ懸念もあり、客動向は慎重になるとみられる。
		-	-
	x	商店街（代表者）	・現在まだ新型コロナウイルスの感染は収束していない。沖縄は2月20日付でもまん延防止等重点措置が解除となっているが、まだ様子見の状態です断を許さない。新型コロナウイルスの感染がなくならない限りは良くならないとみている。
	x	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・まん延防止等重点措置の解除後から感染者数がじりじりと増えてきているので、先が全く読めない。周りでも居酒屋の空き店舗が増えてきている。
	x	観光型ホテル（企画担当）	・2月の販売室数は前年比41%増加とプラスなのに対して、5月の販売室数は前年比26%減少とマイナスに転じている。
企業		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
動向 関連 (沖縄)		食料品製造業(役員)	・新型コロナウイルス感染の拡大によるまん延防止等重点措置の再適用など不安要素があるが、新型コロナウイルスと共存しながらの経済活動が普通になっていくことを期待している。
		建設業(経営者)	・相談に来た客の仮契約、申込みの比率が高くなっている。
		輸送業(代表者)	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては石垣島の陸上自衛隊関連工事が本格化している。宮古島の公共工事は一段落しているが、民需部門では大型ホテル等が出ている。軽石問題は少しずつ改善されつつあるが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響が残っている。
		*	*
		窯業土石業(取締役)	・生産量、受注量共に大きな変化はなく推移するとみられるが、原材料の価格高騰による利益率の低下が懸念される。
		広告代理店(営業担当)	・新型コロナウイルスに加えてロシアのウクライナ侵攻に端を発したインフレの影響もあり、県内企業も今後の消費への影響を危惧していることから、販促活動を見直す動きがある。
	x	会計事務所(所長)	・ウクライナ情勢が直接的、間接的に経済、生活へ影響を与えることが考えられる。
雇用 関連 (沖縄)		-	-
		人材派遣会社(総務担当)	・まん延防止等重点措置の解除で景気が良くなるとみられるが、解除後の新規感染者数が増加傾向にあるのが懸念要因である。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	・3月から求人企業の動きが増加する。
		職業安定所(職員)	・人手不足もあいまって、求人の条件の改善がみられる。
		学校[専門学校](就職担当)	・Web開発の求人数が増えており、それに伴うデザイナーの募集が出てくることが見込める。
		求人情報誌製作会社(営業)	・3月を求人数増加のピークとしてみており、そこから4~5月と緩やかに減少していくと予測している。3か月後は、今月とほぼ同数が微増するかとみている。
		学校[大学](就職支援担当)	・県内でのまん延防止等重点措置は解除されたが、旅行者を受け入れる観光サービス業などは新型コロナウイルスの影響を受ける状況がこの先も続くものとみられる。雇用状況の改善に即結び付くとは言えない。
x	-	-	